

Express5800シリーズ

Atrust Device Manager 2.09.001 ユーザーズガイド

目次

| | |
|---|----|
| 目次..... | 2 |
| 本書で使う表記..... | 6 |
| 本文中の記号..... | 6 |
| 本文中の用語..... | 6 |
| 第 1 章 概要..... | 7 |
| 1. はじめに..... | 8 |
| 2. 新機能および修正された問題..... | 9 |
| 2.1 システム要件..... | 10 |
| 2.2 サポートされるエンドポイントデバイス..... | 10 |
| 2.3 サポートされるオペレーティングシステム..... | 10 |
| 2.4 ハードウェア最小要件..... | 11 |
| 3. ネットワーク要件..... | 12 |
| 3.1 使用するポート..... | 12 |
| 3.2 ADM サーバーの複数台設置について..... | 12 |
| 3.3 DHCP サーバーの導入について..... | 12 |
| 3.4 Wake on LAN について..... | 13 |
| 3.5 VPN 環境での利用について..... | 13 |
| 3.6 無線 LAN 環境での利用について..... | 13 |
| 3.7 IEEE802.1x 認証について..... | 13 |
| 3.8 マルチキャスト配信について..... | 13 |
| 第 2 章 セットアップ..... | 14 |
| 1. インストール..... | 15 |
| 2. Atrust – Multicast サービスの停止..... | 20 |
| 3. 初回起動時の設定..... | 21 |
| 4. アンインストール..... | 22 |
| 第 3 章 ADM の使い方..... | 23 |
| 1. インターフェース..... | 24 |
| 1.1 インターフェースの概要..... | 24 |
| 1.2 使用可能なタスク一覧..... | 25 |
| 2. 「システム」タブ..... | 26 |
| 2.1 「システム」タブの概要..... | 26 |
| 2.2 管理者アカウントの管理..... | 28 |
| 2.2.1 管理者アカウントの追加..... | 28 |
| 2.2.2 管理者アカウントの削除..... | 28 |
| 2.2.3 管理者アカウントの編集..... | 29 |
| 2.3 ファームウェアの管理..... | 30 |
| 2.3.1 ファームウェアファイルのインポート..... | 30 |
| 2.3.2 ファームウェアの削除..... | 31 |
| 2.3.3 ファームウェアのスキャン..... | 31 |
| 2.4 WES パッケージの管理..... | 32 |
| 2.4.1 WES パッケージファイルのインポート..... | 32 |
| 2.4.2 WES パッケージの削除..... | 33 |
| 2.4.3 WES パッケージのスキャン..... | 33 |
| 2.5 スナップショットの管理..... | 34 |
| 2.5.1 スナップショットのエクスポート..... | 34 |
| 2.5.2 スナップショットファイルのインポート..... | 34 |
| 2.5.3 スナップショットの削除..... | 34 |
| 2.5.4 スナップショットのスキャン..... | 35 |
| 2.6 証明書の管理..... | 36 |
| 2.6.1 証明書のインポート..... | 36 |
| 2.6.2 証明書の削除..... | 37 |
| 2.7 配置サーバーの管理..... | 38 |
| 2.7.1 内部サーバーを使用..... | 38 |

| | | |
|--------|-----------------------------------|----|
| 2.7.2 | 外部サーバーを使用 | 39 |
| 2.8 | サービス IP アドレスの選択 | 40 |
| 2.9 | 自動ログアウトの設定 | 40 |
| 2.10 | 自動登録の設定 | 41 |
| 2.10.1 | ADM 側の自動登録設定 | 41 |
| 2.10.2 | ACS 側の自動登録設定 | 42 |
| 2.10.3 | DHCP サーバーの設定 | 43 |
| 2.10.4 | DNS サーバーの設定 | 46 |
| 2.11 | 管理端末でのパスワード保護の設定 | 48 |
| 2.11.1 | パスワード保護の設定 | 48 |
| 2.11.2 | パスワードの変更 | 50 |
| 2.12 | 管理データベースの設定 | 51 |
| 2.12.1 | ローカルデータベースの使用 | 51 |
| 2.12.2 | 外部データベースの使用 | 52 |
| 2.13 | インタフェース言語の選択 | 53 |
| 2.14 | 管理データベースのバックアップ | 53 |
| 2.15 | データベースアーカイブファイルの管理 | 54 |
| 2.15.1 | データベースアーカイブファイルのダウンロード | 54 |
| 2.15.2 | データベースアーカイブファイルのアップロード | 54 |
| 2.15.3 | データベースアーカイブファイルの削除 | 55 |
| 2.15.4 | データベースアーカイブファイルの復元 | 55 |
| 2.16 | タスクスケジュール | 56 |
| 3. | 「スキャン」タブ | 60 |
| 3.1 | 「スキャン」タブの概要 | 60 |
| 3.2 | シンククライアントの検出と管理 | 61 |
| 3.3 | ローカルネットワークをスキャン | 62 |
| 3.4 | IP 範囲でスキャン | 63 |
| 3.5 | IP 範囲のリストの管理 | 64 |
| 3.5.1 | IP 範囲のリストの作成 | 64 |
| 3.5.2 | IP 範囲のリストの管理 | 64 |
| 3.5.3 | IP 範囲のリストでスキャン | 65 |
| 3.6 | パスワード保護された端末を含むスキャン | 66 |
| 4. | 「シンククライアント」タブ | 67 |
| 4.1 | 「シンククライアント」タブの概要 | 67 |
| 4.2 | シンククライアントグループの管理 | 69 |
| 4.2.1 | シンククライアントグループの作成 | 69 |
| 4.2.2 | シンククライアントグループ名の変更 | 70 |
| 4.2.3 | シンククライアントグループの削除 | 70 |
| 4.2.4 | シンククライアントグループの移動 | 71 |
| 4.2.5 | シンククライアントグループからシンククライアントを削除 | 72 |
| 4.3 | ステータスアイコン | 73 |
| 4.4 | プロファイルのリモート管理とローカル管理 | 74 |
| 4.4.1 | US320f のプロファイル設定項目 | 74 |
| 4.4.2 | US310e のプロファイル設定項目 | 75 |
| 4.4.3 | US120f のプロファイル設定項目 | 76 |
| 4.4.4 | グループプロファイルと個別プロファイル | 77 |
| 4.4.5 | 設定のロック | 77 |
| 4.5 | プロファイルグループの管理 | 78 |
| 4.5.1 | プロファイルグループの作成 | 78 |
| 4.5.2 | プロファイルグループ名の変更 | 79 |
| 4.5.3 | プロファイルグループの削除 | 79 |
| 4.6 | グループプロファイルの管理 | 80 |
| 4.6.1 | グループプロファイルの作成と適用 | 80 |
| 4.6.2 | グループプロファイルの編集 | 83 |
| 4.6.3 | グループプロファイルのコピー | 85 |
| 4.6.4 | グループプロファイルの移動 | 88 |
| 4.6.5 | グループプロファイルの削除 | 88 |
| 4.7 | 個別プロファイルの管理 | 89 |
| 4.8 | ハイブリッドプロファイルの使用 | 91 |
| 4.9 | プロファイルの反映 | 93 |
| 4.9.1 | シンククライアントへプロファイルを反映する | 93 |




| | | |
|--------|--|-----|
| 4.9.2 | シンククライアントグループへプロファイルを反映する | 94 |
| 4.9.3 | すべてのシンククライアントグループへプロファイルを反映する | 95 |
| 4.10 | プロファイルの取得 | 96 |
| 4.10.1 | シンククライアントからプロファイルを取得する | 96 |
| 4.10.2 | シンククライアントグループからプロファイルを取得する | 97 |
| 4.10.3 | すべてのシンククライアントグループからプロファイルを取得する | 98 |
| 4.11 | 証明書の反映 | 100 |
| 4.12 | メッセージの送信 | 102 |
| 4.13 | 基本情報の編集または表示 | 103 |
| 4.14 | 再起動 | 104 |
| 4.14.1 | シンククライアントを再起動する | 104 |
| 4.14.2 | シンククライアントグループを再起動する | 105 |
| 4.14.3 | すべてのシンククライアントグループを再起動する | 105 |
| 4.15 | シャットダウン | 106 |
| 4.15.1 | シンククライアントをシャットダウン | 106 |
| 4.15.2 | シンククライアントグループをシャットダウンする | 107 |
| 4.15.3 | すべてのシンククライアントグループをシャットダウンする | 108 |
| 4.16 | Wake On LAN | 109 |
| 4.16.1 | シンククライアントを Wake On LAN する | 109 |
| 4.16.2 | シンククライアントグループを Wake On LAN する | 110 |
| 4.16.3 | すべてのシンククライアントグループを Wake On LAN する | 111 |
| 4.17 | ファームウェア更新 | 112 |
| 4.17.1 | シンククライアントのファームウェアを更新する | 112 |
| 4.17.2 | シンククライアントグループのファームウェアを更新する | 114 |
| 4.18 | WES パッケージのインストールとアンインストール | 116 |
| 4.19 | スナップショットの取得 | 118 |
| 4.20 | スナップショットのインストール | 120 |
| 4.21 | シャドウ機能の使用 | 122 |
| 4.22 | シンククライアントデータのエクスポート | 124 |
| 4.23 | クイックサーチを使用したプロファイル、シンククライアント、イベントログの検索 | 125 |
| 4.24 | フィルターを使用したシンククライアントの検索 | 126 |
| 4.24.1 | フィルターの追加 | 126 |
| 4.24.2 | フィルターの使用 | 127 |
| 4.24.3 | フィルターの削除 | 127 |
| 4.24.4 | フィルターの編集 | 128 |
| 5. | 「ログ」タブ | 129 |
| 5.1 | 「ログ」タブの概要 | 129 |
| 5.2 | イベントログの表示 | 130 |
| 5.3 | イベントログのエクスポート | 131 |
| 5.4 | イベントログの消去 | 132 |
| 6. | 「アバウト」タブ | 133 |
| 6.1 | 「アバウト」タブの概要 | 133 |
| 6.2 | ADM に関する情報の表示 | 134 |
| 6.3 | ADM の問い合わせに関する情報の表示 | 134 |
| 6.4 | ソフトウェアライセンス契約の表示 | 134 |
| 第 4 章 | ADM の応用的な使い方 | 135 |
| 1. | オートセットアップのファイルサーバーとして利用する | 136 |
| 2. | US120f にカスタム壁紙を設定する | 140 |
| 第 5 章 | 注意／制限事項 | 144 |
| 1. | 注意事項 | 145 |
| 1.1 | ADM と ACS とのプロファイルの同期について | 145 |
| 1.2 | ADM の管理登録と解除について | 145 |
| 1.3 | スナップショットについて | 146 |
| 1.3.1 | システム準備ツール (sysprep) による端末固有情報の初期化について | 146 |
| 1.3.2 | ドメイン参加について | 147 |
| 1.3.3 | スナップショットのエクスポートについて | 147 |
| 1.4 | ACS プロファイルの引き継ぎについて | 147 |
| 1.5 | ライセンス認証(アクティベーション)の解除について | 147 |
| 1.6 | ADM 管理コンソールへのアクセスについて | 147 |

| | | |
|-------------|-----------------------------|-----|
| 1.7 | VNC(リモートシャドウ)について | 148 |
| 1.8 | ADM のバックアップと復元について | 148 |
| 1.9 | 配置サーバーへのファイルインポートについて | 148 |
| 1.10 | 外部データベースの利用について | 148 |
| 1.11 | その他の注意事項 | 149 |
| 2. | 制限事項 | 150 |
| 2.1 | ADM の制限事項 | 150 |
| 2.2 | US320f の制限事項 | 150 |
| 2.3 | US310e の制限事項 | 151 |
| 2.4 | US120f の制限事項 | 151 |

本書で使う表記

本文中の記号

本書では、安全にかかわる注意記号のほかに 3 種類の記号を使用しています。これらの記号には以下の意味があります。

| | |
|---|--|
|  | ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことを示しています。記載の手順に従わないときは、ハードウェアの故障、データの損失など、 重大な不具合が起きるおそれがあります。 |
|  | ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことを示しています。 |
|  | 知っておくと役に立つ情報、便利なことを示しています。 |

本文中の用語

本書では、ADM のインターフェースに表示される名称や一般的な解釈と異なる用語で説明する場合があります。本書で使用する用語とその説明を以下に記載します。

| 用語 | 左記の用語に類似する表現 | 説明 |
|---------------|---------------------------|--|
| ADM | | Atrust Device Manager の略称です。 |
| ADM サーバー | | ADM をホストするサーバーです。 |
| シンククライアント | エンドポイントデバイス 端末 デバイス | データ保存領域を持たない端末です。クライアント業務はサーバー側で実行され、端末では処理結果の表示、キーボードとマウスからのデータの入力処理を行います。ADM で管理可能な NEC のシンククライアントは、US320f, US120f, US310e です。 |
| シンククライアントグループ | | シンククライアントをまとめて管理する構成単位です。 |
| グループプロファイル | | シンククライアントグループへ適用可能なプロファイルです。ADM 上で管理されます。 |
| プロファイルグループ | | グループプロファイルをまとめて管理する構成単位です。 |
| 個別プロファイル | | 特定のシンククライアントにのみ適用されるプロファイルです。 |
| ハイブリッドプロファイル | | グループプロファイルと個別プロファイルとの組み合わせでシンククライアントに適用されるプロファイルです。 |
| ファームウェア | | シンククライアント用の OS イメージの総称です。 |
| WES パッケージ | WES パッケージファイル | 任意のソフトウェアやパッチを ADM から配信可能な形式としてパッケージ化したファイルです。 |
| スナップショット | スナップショットファイル | 任意のシンククライアント端末から ADM 等で取得した OS イメージの総称です。 |
| 内部サーバー | | ADM をインストールしたコンピューターです。 |
| 外部サーバー | | ADM サーバーとは別のコンピューターです。 |
| 管理データベース | | ADM の設定を格納するデータベースです。 |
| ローカルデータベース | | ADM サーバー上のデータベース管理システムです。 |
| 外部データベース | | ADM サーバーとは別のコンピューターに構築したデータベース管理システムです。 |

第1章 概要

本章では、Atrust Device Manager (ADM) の概要とシステム要件を示します。

1. はじめに

デスクトップの仮想化は、IT インフラストラクチャーの設計と実装を再考するための新しい視点を提供します。デスクトップ仮想化インフラストラクチャーでは、クライアントは煩雑なデスクトップではなく、サーバーから提供される配信サービスにユーザーがアクセスするための単なるエンドポイントデバイスとなります。

デスクトップ仮想化テクノロジーの導入には、以下の利点があります。

- ・ アプリケーション / デスクトップへのオンデマンドアクセス
- ・ 作業環境の集中管理
- ・ エンドポイントソフトウェア / ハードウェアの問題の大幅な減少
- ・ システム保守の簡素化
- ・ システムセキュリティの向上
- ・ 低コストのエンドポイントデバイスを使用したスケーラビリティの向上

デスクトップ仮想化テクノロジーを導入した場合、デスクトップ仮想化インフラストラクチャー内の多数のエンドポイントデバイスを管理するための強力なソフトウェアが必要です。Atrust Device Manager (ADM) は、このニーズを満たすように設計されています。

ADM を使用することで、以下のメリットがあります。

- ・ シンククライアントをリモートから展開、管理、更新できます。
- ・ 1 台のコンピューターから複数のユーザーを支援できます。
- ・ 柔軟でセキュアな仕組みにより、シンククライアントをグループ単位で管理や更新ができます。
- ・ ユーザーによる問題の解決やシンククライアント設定の指定をリモートから支援できます。

ADM の主な機能は次のとおりです。

- ・ 多数のクライアントへのカスタム設定のプッシュ送信
- ・ クライアントのファームウェアの更新とソフトウェアパッケージのインストール
- ・ 一括展開用のクライアントスナップショットの作成およびシステムのバックアップと復元
- ・ ローカルネットワークを介したクライアントの再起動、電源遮断
- ・ 自動実行タスクのスケジューリング
- ・ ユーザーによるトラブルシューティングのリモート支援
- ・ 自動的に取得したクライアント情報によるクライアントの識別と IT 資産の管理
- ・ ゼロクライアント管理の支援



チェック

ゼロクライアントは、オペレーティングシステムがプリインストールされていないエンドポイントデバイスです。US320f / US310e / US120f はシンククライアントであり、ゼロクライアントではありません。弊社リリースの ADM は、ゼロクライアントの管理をサポートしません。

2. 新機能および修正された問題

この製品リリースでの新機能、および強化された機能は以下のとおりです。

US320f をサポート

ADM の管理対象デバイスとして US320f をサポートしました。

2.1 システム要件

ADM をインストールして操作するためのシステム要件は、以下のとおりです。

2.2 サポートされるエンドポイントデバイス

ADM は、以下のエンドポイントデバイスおよびファームウェアバージョンをサポートしています。

US320f

- ・ 1.04-INTL

US310e

- ・ 1.10-INTL
- ・ 1.20-INTL
- ・ 1.30-INTL

US120f

- ・ 8.43-FAKC
- ・ 8.51-CAKD



- ・ 本書のバージョンの ADM とファームウェアバージョンが 1.20-INTL 以下の US310e との組み合わせで使用した場合、ADM の一部機能に対応できません。US310e のファームウェアバージョンを 1.30-INTL にアップグレードするか、1.20-INTL に US310e WE8S 1.20-INTL アップデートパッケージ Ver.1.3 for ADM を適用することを推奨します。
- ・ 1 つのシンクライアントグループに登録するシンクライアント数は 1,000 台以下としてください。
- ・ 1 つのプロファイルグループに登録するシンクライアント数は 1,000 台以下としてください。



- ・ 上の一覧は、サポートされているシンクライアントを網羅しているわけではありません。今後、新しく開発されたモデルが追加されることもあります。
- ・ 各種モデルの詳細な仕様は、弊社の Web サイト (<http://jpn.nec.com/thinclient/support/index.html>) を参照してください。

2.3 サポートされるオペレーティングシステム

ADM は、以下のオペレーティングシステムへのインストールをサポートしています。

- ・ Windows 7 SP1
- ・ Windows 8 / 8.1
- ・ Windows 10
- ・ Windows Server 2008R2
- ・ Windows Server 2012 / 2012 R2
- ・ Windows Server 2016
- ・ Windows Server 2019



ADM をインストールするサーバーは、サービスを ADM の専用にする必要があります。追加の機能を実行するサーバーには ADM をインストールしないでください。以下は追加の機能の一例です。

- ・ ドメインコントローラー
- ・ バックアップコントローラー
- ・ メールサーバー
- ・ Web サーバー
- ・ DHCP サーバー
- ・ MSMQ サーバー
- ・ アプリケーションサーバー など

2.4 ハードウェア最小要件

ADM をインストールするには、以下のハードウェア要件を満たす必要があります。

- Pentium 4、1.0 GHz プロセッサまたは同等のプロセッサ
- 512 MB の空きシステムメモリ容量
- 2 GB の空きディスク容量 (インストール用)／100 GB 以上の空きディスク容量 (ファームウェアとスナップショットの管理用)
- 100 Mbps の Ethernet ネットワークアダプター／ネットワークインタフェースカード

3. ネットワーク要件

ADM が動作するためのネットワーク要件は、以下のとおりです。

3.1 使用するポート

下の表は、ADM がシンククライアントと通信するために使用するポートの一覧です。

| ADM のバックグラウンドサービスと使用するポート | | | | | |
|---------------------------|-----------------------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| No | サービス名 | 送信元 | 送信元ポート | 送信先 | 送信先ポート |
| 1 | Atrust – Apache 2.2 (ローカルのみ使用) | ADM | Any | ADM | TCP/10443 |
| 2 | Atrust – Apache 2.2 | Thin Client | Any | ADM | TCP/10080 |
| 3 | | ADM | TCP/10080 | Thin Client | Any |
| 4 | Atrust - Multicast | Thin Client | Any | ADM | Both/10081 |
| 5 | | ADM | Both/10081 | Thin Client | Any |
| 6 | Atrust - PostgreSQL (ローカルのみ使用) | ADM | Any | ADM | TCP/5432 |
| 7 | Atrust Device Manager | ADM | UDP/Any | Thin Client | UDP/10005 |
| 8 | | Thin Client | UDP/10005 | ADM | UDP/Any |
| 9 | | ADM | TCP/Any | Thin Client | TCP/10005 |
| 10 | | Thin Client | TCP/Any | ADM | TCP/10005 |
| 11 | | Thin Client | TCP/10005 | ADM | TCP/Any |
| 12 | | ADM | Both/Any | ADM | Both/10006 |
| 13 | | Thin Client | Any | ADM | TCP/10007 |
| 14 | | ADM | TCP/10007 | Thin Client | Any |
| 15 | VNC | ADM | Any | Thin Client | TCP/5900 |
| 16 | | Thin Client | TCP/5900 | ADM | Any |



- ・ ADM が使用するポートは ADM をインストールする時に Windows ファイアーウォールの例外に自動登録されます。手動で登録する必要はありません。
- ・ 使用するポートの変更はサポートされません。



- ・ サービス名は Windows サービスの管理コンソールで確認できます。
- ・ Any は OS により割り当てられる任意の空きポート番号を使用することを示しています。
- ・ Both は TCP / UDP どちらも使用することを示しています。

3.2 ADM サーバーの複数台設置について

ADM サーバーは同じセグメントに 1 台のみ構築してください。同じセグメントに複数の ADM サーバーを構築すると ADM に予期しない動作が発生する可能性があります。

3.3 DHCP サーバーの導入について

シンククライアントは、ファームウェア／スナップショットのイメージファイルを ADM サーバーからダウンロードまたはアップロードするために UEFI ブートを行い、ネットワークリンクを確立する必要があります。その際、US310e では DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる必要があります。US310e がファームウェア／スナップショットのイメージングを行うには DHCP サーバーの導入は必須です。それらを除く機能については、DHCP サーバーの導入は必須ではありません。

一方、US320f と US120f では、UEFI ブート時に OS 内の固定 IP 情報を使用できるため、DHCP サーバーの導入は必須ではありません。

3.4 Wake on LAN について

ADM サーバーと異なるセグメントに所属するシンククライアントに対して、Wake on LAN を送信することはできません。Wake on LAN の使用するマジック・パケットはレイヤー 2 ブロードキャストのため、異なるセグメントに配置したコンピューターに対して送信できないためです。



US120f は、サスペンドの状態から Wake on LAN で復帰することはできません。



Wake on LAN は有線 LAN の機能です。無線 LAN では使用できません。

3.5 VPN 環境での利用について

シンククライアント上の VPN ソフトウェアを使用したネットワークアドレス変換 (NAT) を実装するリモートアクセス VPN 環境において、ADM の使用はサポートされません。



シンククライアント上でネットワークアドレス変換 (NAT) を行わない、VPN ソフトウェアを実装したルーター同士で構成されたサイト間 VPN の場合はサポートされます。

3.6 無線 LAN 環境での利用について

無線 LAN では、以下の機能は使用できません。

- ・ ファームウェア更新
- ・ スナップショットの取得
- ・ スナップショットのインストール
- ・ Wake on LAN

上記を除く機能は使用できます。

3.7 IEEE802.1x 認証について

有線／無線 LAN で IEEE802.1x (EAP-PEAP、EAP-TLS 等) ユーザー認証を行う環境において、ファームウェアの更新およびスナップショットの取得／インストールはできません。ファームウェアおよびスナップショットのイメージファイルを ADM サーバーから取得するために、シンククライアントは UEFI ブート時にネットワークリンクを確立する必要がありますが、IEEE802.1x 認証に対応していません。

3.8 マルチキャスト配信について

ファームウェアの更新とスナップショットの取得／インストールの方法は、ネットワーク環境によって違いがあります。

ADM サーバーと同じセグメントに所属するシンククライアント：マルチキャスト (1 対多) 配信を行います。

ADM サーバーと異なるセグメントに所属するシンククライアント：ユニキャスト (1 対 1) 配信が行われます。

ADM サーバーと異なるセグメントに所属するシンククライアントへのマルチキャスト配信はサポートされません。



本書のバージョンの ADM が管理するシンククライアントに US320f が含まれる場合は、Atrust - Multicast サービスを停止する必要があります。Atrust - Multicast サービスを停止すると、ファームウェアの更新およびスナップショットの取得／インストールにはユニキャストが使用され、マルチキャストは使用できません。詳細は、本書の「第 2 章 2 Atrust - Multicast サービスの停止」を参照してください。

第2章 セットアップ

本章では、ADM のセットアップ手順を示します。

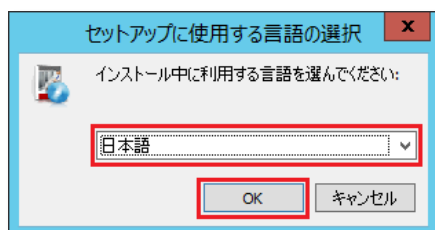
1. インストール

ADM をインストールするには、以下の手順を実行してください。



- ・古いバージョンの ADM からアップグレードする場合は、ADM のアンインストールは不要です。ADM は、新しいプログラムをインストールするだけで、新しいバージョンにアップグレードできます。
- ・ADM をホストするサーバーには、固定 IP アドレスを割り当てることを強くお勧めします。

1. ADM をインストールするコンピューターに固定 IP アドレスを割り当てます。
2. ADM のインストーラーをダウンロードし、コンピューター内の任意の場所に格納します。
3. 管理者アカウントでコンピューターにサインインし、ADM のインストーラーをダブルクリックします。
4. インストール時に使用する言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



5. 「セットアップウィザード」が表示されます。「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



6. 必要なプログラムをインストールするために再起動を求めるメッセージが表示されます。「すぐに再起動(Y)」ラジオボタンをクリックしてオンにし、「完了(F)」ボタンをクリックします。



7. 再起動後、「セットアップウィザード」が再度表示されます。「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



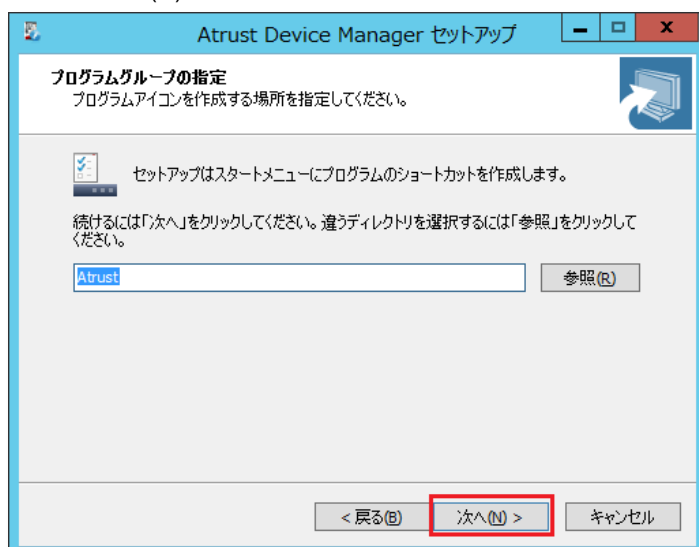
8. 「使用許諾契約書の同意」ウィンドウが表示されます。この契約を読み、同意する場合は「同意する(A)」ラジオボタンをクリックしてオンにし、「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



9. デフォルトのインストールフォルダーを使用するか、「参照(R)」ボタンをクリックして適切なフォルダーを指定し、「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



10. デフォルトの「スタートメニュー」フォルダーを使用するか、プログラムのショートカット用に新しいフォルダーを入力して作成します。
「参照」ボタンをクリックし、既存のフォルダーを選択することもできます。
完了後、「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



11. デスクトップ上にアイコンを作成するかどうかを選択し、「次へ(N) >」ボタンをクリックします。

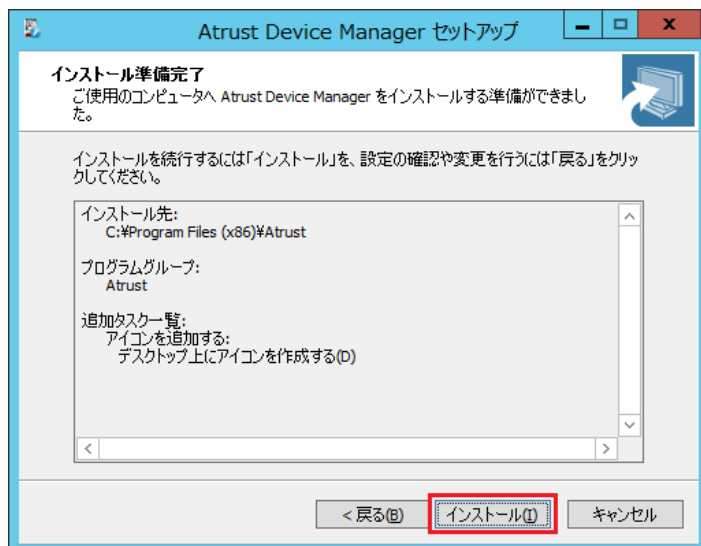


12. デフォルトのデータベースの管理者パスワードを変更する場合は、チェックしてパスワードを入力します。「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



- ・ データベースの管理者は、ADM のデータベースにフルアクセスできるユーザーです。
- ・ デフォルトのパスワードは「secret」です。

13. 「インストール(I)」ボタンをクリックします。



14. 「完了(E)」ボタンをクリックします。

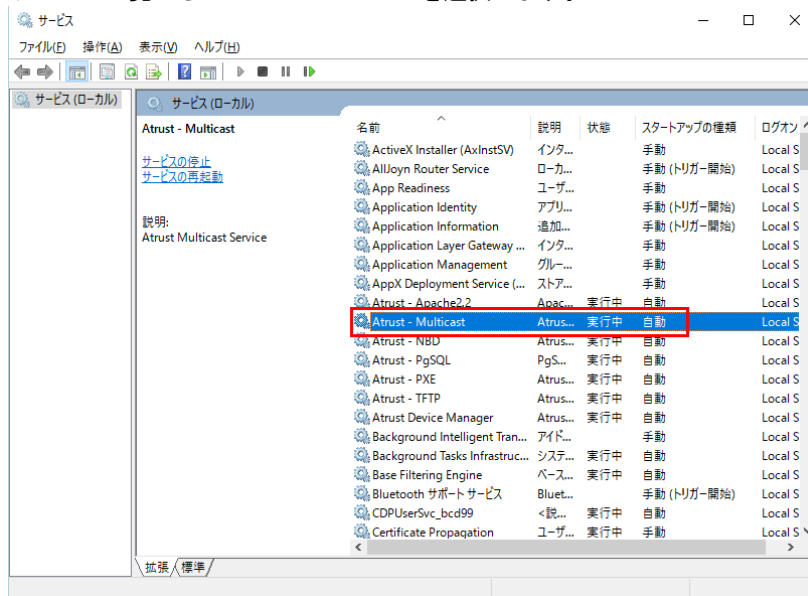


2. Atrust - Multicast サービスの停止

ADM で US320f を管理する場合、Atrust - Multicast サービスを停止する必要があります。管理するシンククライアントに US320f が含まれない場合は、本サービスを停止する必要はありません。

以下の手順を実行して Atrust - Multicast サービスを停止してください。

1. 「コントロールパネル」→「管理ツール」をクリックします。
2. 「管理ツール」→「サービス」をクリックします。
3. サービス一覧から「Atrust - Multicast」を選択します。



4. 右クリックメニュー内の「プロパティ」をクリックします。
5. [全般] タブ内の「停止」ボタンをクリックします。
6. [スタートアップの種類] のリストボックスから「手動」または「無効」を選択します。
7. 「適用」のボタンをクリックします。
8. 「OK」ボタンをクリックします。
9. [サービス] ウィンドウを終了します。

3. 初回起動時の設定

初めて ADM を起動する際に、サービス IP アドレスの選択と ADM の管理者アカウントを作成する必要があります。以下の手順を実行してください。

1. ADM サーバーで ADM を起動します。
2. サービス IP アドレスの選択と管理者アカウントの作成を求めるダイアログが表示されます。ドロップダウンメニューをクリックし、IP アドレス一覧から適切な IP アドレスを選択します。
3. 適切なアカウント名とパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックします。



未接続の LAN ポートは、使用可能な IP アドレスの一覧でアドレス値 0.0.0.0 を使用して表示される場合があります。

4. ADM のログイン画面が表示されます。

4. アンインストール

ADM サーバーから ADM をアンインストールするには、以下の手順を実行してください。



ADM をアンインストールすると、管理デバイス情報、プロファイル情報、CA (Certificate Authority) ファイル等、すべての設定が削除されます。

1. 「コントロールパネル」で Atrust Device Manager をアンインストールします。
2. 画面に表示される指示に従い、アンインストールを完了します。

第3章 ADM の使い方

本章では、ADM でシンクライアントを管理する手順を示します。

1. インタフェース

ADM を使用することで、以下のメリットがあります。

- ・ シンククライアントをリモートから展開、管理、更新できます。
- ・ 1 台のコンピューターから複数のユーザーを支援できます。
- ・ 柔軟でセキュアな仕組みにより、簡単にすばやくグループ単位でシンククライアントの管理や更新ができます。
- ・ ユーザーによる問題の解決やシンククライアント設定の管理をリモートから支援できます。

1.1 インタフェースの概要

本書では、ADM 管理コンソールでの手順を説明します。

ADM 管理コンソールにアクセスするには、以下の手順を実行してください。

1. ADM サーバーで ADM を起動します。
2. アカウント情報を入力し、「Enter」キーを押すか「ログイン」をクリックします。「Atrust デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

図 1 インタフェースの概要



| インタフェース要素 | | |
|-----------|---------------|--|
| 番号 | 名称 | 説明 |
| 1 | 「シンククライアント」タブ | シンククライアントを表示、設定および管理する場合にクリックします。 |
| 2 | 「スキャン」タブ | ローカルネットワーク上で管理対象になっていないシンククライアントを検索する場合にクリックします。 |
| 3 | 「システム」タブ | ファームウェアの管理やタスクスケジュールの設定、ADM のシステム設定を行う場合にクリックします。 |
| 4 | 「ログ」タブ | イベントログを表示する場合にクリックします。 |
| 5 | 「アバウト」タブ | ADM の情報を表示する場合にクリックします。 |
| 6 | 「ログアウト」ボタン | ADM からログアウトする場合にクリックします。 |
| 7 | 管理 / 情報エリア | 必要なタスクを実行する、適切な設定を指定する、または選択したタブで入手できる関連情報を表示する場合に選択します。 |
| 8 | ナビゲーションエリア | タブの下にある特定の項目、オプション、またはタスクを選択する場合にクリックします。 |
| 9 | メッセージエリア | 管理活動についてのメッセージを表示する場合にクリックします。 |

1.2 使用可能なタスク一覧

以下の表に、各タブで提供される機能を示します。詳しくは、対応する以下の参照先を参照してください。

| タブ | 機能一覧 | 参照先 |
|-----------|---|-----------------------|
| システム | <ul style="list-style-type: none"> ・管理者アカウントの管理 ・ファームウェアの管理 ・WES パッケージの管理 ・スナップショットの管理 ・証明書の管理 ・配置サーバーの管理 ・ADM の設定 ・管理データベースのバックアップ ・データベースアーカイブファイルの管理 ・管理データベースの復元 ・タスクスケジュール | 第 3 章 2 「システム」タブ |
| スキャン | <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルネットワーク全範囲指定によるシンククライアントの検索 ・IP アドレス範囲の指定によるシンククライアントの検索 ・あらかじめ設定されている IP 範囲のリストを使用したシンククライアントの検索 ・「パスワード保護」された端末を含む検索 | 第 3 章 3 「スキャン」タブ |
| シンククライアント | <ul style="list-style-type: none"> ・シンククライアントグループの管理 ・ステータスアイコン ・プロファイルグループの管理 ・グループプロファイルの管理 ・個別プロファイルの管理 ・ハイブリッドプロファイルの反映 ・プロファイルの反映 ・プロファイルの取得 ・証明書の反映 ・メッセージの送信 ・再起動 ・シャットダウン ・Wake On LAN ・ファームウェア更新 ・WES パッケージのインストールとアンインストール ・スナップショットの取得 ・スナップショットのインストール ・シャドウ機能の使用 ・シンククライアントデータのエクスポート ・クイックサーチを使用したプロファイル／シンククライアント／ログの検索 ・フィルターを使用したシンククライアントの検索 | 第 3 章 4 「シンククライアント」タブ |
| ログ | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントログの表示 ・イベントログのエクスポート ・イベントログの消去 | 第 3 章 5 「ログ」タブ |
| アバウト | <ul style="list-style-type: none"> ・ADM に関する情報の表示 ・Atrust 社への問い合わせに関する情報の表示 ・ソフトウェアライセンス契約の表示 | 第 3 章 6 「アバウト」タブ |

2. 「システム」タブ

「システム」タブでは、ADM の基本的な管理環境を構成できます。「システム」タブの機能にアクセスするには、ADM 管理コンソールで本タブをクリックします。

2.1 「システム」タブの概要

図 2 「システム」タブの概要



| 番号 | 使用可能なタスク | 参照先 |
|----|---------------------|-------------------------|
| 1 | 管理者アカウントの追加 | 第3章 2.2 管理者アカウントの管理 |
| 2 | 管理者アカウントの削除 | |
| 3 | 管理者アカウントの編集 | |
| 4 | ファームウェアファイルのインポート | 第3章 2.3 ファームウェアの管理 |
| 5 | ファームウェアの削除 | |
| 6 | ファームウェアのスキャン | |
| 7 | WES パッケージファイルのインポート | 第3章 2.4 WES パッケージの管理 |
| 8 | WES パッケージの削除 | |
| 9 | WES パッケージのスキャン | |
| 10 | スナップショットのエクスポート | 第3章 2.5 スナップショットの管理 |
| 11 | スナップショットファイルのインポート | |
| 12 | スナップショットの削除 | |
| 13 | スナップショットのスキャン | 第3章 2.6 証明書の管理 |
| 14 | 証明書のインポート | |
| 15 | 証明書の削除 | 第3章 2.7 配置サーバーの管理 |
| 16 | 内部サーバーの使用 | |
| 17 | 外部サーバーの使用 | 第3章 2.8 サービス IP アドレスの選択 |
| 18 | サービス IP アドレスの選択 | |
| 19 | 自動ログアウトの設定 | 第3章 2.9 自動ログアウトの設定 |
| 20 | ADM 側の自動登録設定 | 第3章 2.10 自動登録の設定 |
| 20 | ACS 側の自動登録設定 | |
| 21 | DHCP サーバーの設定 | |
| 21 | DNS サーバーの設定 | |
| 21 | DNS サーバーの設定 | |

| 番号 | 使用可能なタスク | 参照先 |
|----|------------------------|-----------------------------|
| 22 | パスワード保護の設定 | 第3章 2.11 管理端末でのパスワード保護の設定 |
| 24 | パスワードの変更 | |
| 25 | ローカルデータベースの使用 | 第3章 2.12 管理データベースの設定 |
| 26 | 外部データベースの使用 | |
| 27 | インターフェース言語の選択 | 第3章 2.13 インターフェース言語の選択 |
| 28 | 管理データベースのバックアップ | 第3章 2.14 管理データベースのバックアップ |
| 29 | データベースアーカイブファイルのダウンロード | 第3章 2.15 データベースアーカイブファイルの管理 |
| 30 | データベースアーカイブファイルのアップロード | |
| 31 | データベースアーカイブファイルの削除 | |
| 32 | データベースアーカイブファイルの復元 | |
| 33 | 自動実行タスクのスケジューリング | 第3章 2.16 タスクスケジュール |

2.2 管理者アカウントの管理

ADM の管理者アカウントを作成および管理します。



初めて ADM を起動した際に、管理者アカウントの作成を求められます。

2.2.1 管理者アカウントの追加

管理者アカウントを追加するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [管理者アカウント] をクリックします。
3. 管理エリアにアカウント一覧が表示されます。「追加」をクリックして、「追加」ダイアログを開きます。

+ 追加 - 削除 編集

| ユーザ名 | コメント | 最終ログイン | 権限 |
|---------------|------|---------------------|-------|
| Administrator | | 2017-02-27 09:04:34 | Admin |

4. 適切なユーザー / アカウント名とパスワードを入力します。「権限」ドロップダウンメニューをクリックすると、Admin (管理者ユーザー) または User (一般ユーザー) のどちらかを選択できます。管理者ユーザーは ADM にフルアクセスできるのに対し、一般ユーザーは「シンクライアント」および「ログ」タブだけを表示することができます。

5. 「追加」ボタンをクリックします。新しく追加したアカウントがアカウント一覧に表示されます。

2.2.2 管理者アカウントの削除

管理者アカウントを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [管理者アカウント] をクリックします。
3. 管理エリアにアカウント一覧が表示されます。
4. 削除するアカウントを選択します。
5. アカウント一覧の上にある「削除」をクリックします。
6. 確認のための「削除」ダイアログが表示されます。
7. 「はい」ボタンをクリックします。
8. 選択したアカウントがアカウント一覧から削除されます。

2.2.3 管理者アカウントの編集

既存の管理者アカウントを編集するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [管理者アカウント] をクリックします。
3. 管理エリアにアカウント一覧が表示されます。
4. 編集するアカウントを選択します。
5. アカウント一覧の上にある「編集」をクリックします。
6. 「編集」をクリックして、「編集」ウィンドウを開きます。「インフォメーション」フィールドでパスワードまたはコメントを編集します。
7. 「修正」ボタンをクリックします。

2.3 ファームウェアの管理

ADM では、シンククライアントのファームウェアをリモートから更新できます。作業を進める前に、シンククライアントのモデルに合ったファームウェアファイルを ADM にインポートする必要があります。



シンククライアントのファームウェアをリモートから更新する手順の詳細は、本書の「第3章 4.17 ファームウェア更新」を参照してください。

2.3.1 ファームウェアファイルのインポート

ADM にファームウェアファイルをインポートするには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [ファームウェア] をクリックします。
3. 管理エリアにファームウェア一覧が表示されます。

🔍 ファームウェアのスキャン - ファームウェアを削除 📁 ファームウェアのインポート

| 名前 | プラットフォーム | バージョン | モデル |
|---------------------|-----------|-------|--------|
| ARM LINUX 8.43-FAKC | ARM Linux | 8.43 | US120f |

4. ファームウェア一覧の上にある「ファームウェアのインポート」をクリックします。
5. 「ファームウェアのインポート」ダイアログが表示されます。

6. 「Browse...」ボタンをクリックします。
7. ファームウェアファイルを指定し、「開く」ボタンをクリックします。
ADM はファイルチェックを自動で実行し、シンククライアントにとって有効なファームウェアファイルであり、かつファームウェア一覧に重複がないことを確認します。
8. 「インポート」ボタンをクリックし、選択したファームウェアファイルのインポートを開始します。

9. 完了後、インポートしたファームウェアがファームウェア一覧に表示されます。

🔍 ファームウェアのスキャン - ファームウェアを削除 📁 ファームウェアのインポート

| 名前 | プラットフォーム | バージョン | モデル |
|---------------------|-----------------------------|-------|--------|
| ARM LINUX 8.43-FAKC | ARM Linux | 8.43 | US120f |
| WE8S 1.30-INTL | Windows Embedded 8 Standard | 1.30 | US310e |

2.3.2 ファームウェアの削除

ADM からファームウェアを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [ファームウェア] をクリックします。
3. 管理エリアにファームウェア一覧が表示されます。
4. 削除するファームウェアを選択します。
5. ファームウェア一覧の上にある「ファームウェアを削除」をクリックします。
6. 確認のための「ファームウェアを削除」ダイアログが表示されます。
7. 「削除」ボタンをクリックします。
8. 完了後、選択したファームウェアがファームウェア一覧から削除されます。

2.3.3 ファームウェアのスキャン

ファームウェアのスキャン機能は、内部サーバーまたは外部サーバーに配置したファームウェアの検索に役立ちます。この機能が必要なシナリオは 2 つあります。ひとつめのシナリオは、外部サーバーに配置したファームウェアでシンクライアントを更新する場合です。このシナリオでは、ADM 管理コンソールで使用可能なファームウェアの一覧が、外部サーバーに配置したファームウェアの一覧と同期していない場合があります。ファームウェアのスキャン機能は、内部サーバーと外部サーバーに配置したファームウェアの一覧を同期できます。



ADM で外部サーバーに配置したファームウェアを使用するための設定手順の詳細は、本書の「第 3 章 2.7 配置サーバーの管理」を参照してください。

ふたつめのシナリオは、別の ADM サーバーからファームウェアのファイルセットをコピーした場合です。コピーしたファームウェアは、ファームウェア一覧に表示されない場合があります。



ADM のインストール先がデフォルトの場合、インポートしたファームウェアファイルは、C:\Program Files (x86)\Atrust\Firmware の最上位の専用フォルダーに保存されます。

どちらのシナリオでも、ファームウェア一覧を内部サーバーまたは外部サーバーと同期するために以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [ファームウェア] をクリックします。
3. 管理エリアにファームウェア一覧が表示されます。
4. ファームウェア一覧の上にある「ファームウェアのスキャン」をクリックします。
5. 完了後、ファームウェア一覧が、内部サーバーまたは外部サーバーと同期します。

2.4 WES パッケージの管理

WES (Windows Embedded Standard) パッケージを使用すると、WES ベースのシンククライアントに対してアプリケーションを配信することができます。



シンククライアントに WES パッケージを配信する手順の詳細は、本書の「第3章 4.18 WES パッケージのインストールとアンインストール」を参照してください。

2.4.1 WES パッケージファイルのインポート

ADM に WES パッケージファイルをインポートするには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [WES パッケージ] をクリックします。
3. 管理エリアに WES パッケージ一覧が表示されます。

🔍 パッケージをスキャン - パッケージを削除する ➡ パッケージのインポート

| 名前 | カテゴリ | バージョン | 必須ファームウェア | プラットフォーム |
|-----------------------------|-------------|-------|-----------|-----------------------------|
| VMware Horizon Client 3.5.2 | Application | 1.1 | 1.20-INTL | Windows Embedded 8 Standard |

4. WES パッケージ一覧の上にある「パッケージのインポート」をクリックします。
5. 「パッケージのインポート」ダイアログが表示されます。

6. 「Browse...」ボタンをクリックして WES パッケージファイルを指定し、「開く」ボタンをクリックします。

ADM はファイルチェックを自動的に実行し、WES ベースのシンククライアントにとって有効な WES パッケージファイルであり、かつ WES パッケージ一覧に重複がないことを確認します。

7. 「インポート」ボタンをクリックし、WES パッケージファイルのインポートを開始します。

8. 完了後、インポートした WES パッケージが WES パッケージ一覧に表示されます。

🔍 パッケージをスキャン - パッケージを削除する ➡ パッケージのインポート

| 名前 | カテゴリ | バージョン | 必須ファームウェア | プラットフォーム |
|-------------------------------|-------------|-------|-----------|-----------------------------|
| VMware Horizon Client 3.5.2 | Application | 1.1 | 1.20-INTL | Windows Embedded 8 Standard |
| Citrix Receiver 4.4 with SSON | Application | 1.2 | 1.20-INTL | Windows Embedded 8 Standard |

2.4.2 WES パッケージの削除

ADM から WES パッケージを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [WES パッケージ] をクリックします。
3. 管理エリアに WES パッケージ一覧が表示されます。
4. 削除する WES パッケージを選択します。
5. WES パッケージ一覧の上にある「パッケージを削除する」をクリックします。
6. 確認のための「パッケージを削除する」ダイアログが表示されます。
7. 「削除」ボタンをクリックします。
8. 選択したパッケージファイルが、WES パッケージ一覧から削除されます。

2.4.3 WES パッケージのスキャン

WES パッケージのスキャン機能は、内部サーバーまたは外部サーバーに配置した WES パッケージの検索に役立ちます。この機能が必要なシナリオは 2 つあります。ひとつめのシナリオは、外部サーバーに配置した WES パッケージでシンクライアントを更新する場合です。このシナリオでは、ADM 管理コンソールで使用可能な WES パッケージの一覧が、外部サーバーに配置した WES パッケージ一覧と同期していない場合があります。WES パッケージのスキャン機能で、内部サーバーと外部サーバーに配置した WES パッケージ一覧を同期できます。



ADM で外部サーバーに配置した WES パッケージを使用するための設定手順は、本書の「第 3 章 2.7 配置サーバーの管理」を参照してください。

ふたつめのシナリオは、別の ADM サーバーから WES パッケージのファイルセットをコピーした場合です。コピーした WES パッケージが WES パッケージ一覧に表示されない場合があります。



ADM のインストール先がデフォルトの場合、インポートしたパッケージは、C:\Program Files (x86)\Atrust\packages の最上位の専用フォルダーに保存されます。

WES パッケージ一覧を内部サーバーまたは外部サーバーと同期するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [WES パッケージ] をクリックします。
3. 管理エリアに WES パッケージ一覧が表示されます。
4. WES パッケージ一覧の上にある「パッケージをスキャン」をクリックします。
5. 完了後、WES パッケージ一覧が内部サーバーまたは外部サーバーと同期します。

2.5 スナップショットの管理

スナップショットとは、特定の時点におけるシンククライアントのシステムコピーです。複数のシンククライアントへの一括展開に使用できます。



US120f は、スナップショットに対応していません。



シンククライアントのスナップショットを作成する手順の詳細は、本書の「第3章 4.19 スナップショットの取得」を参照してください。

2.5.1 スナップショットのエクスポート

スナップショットを ADM からエクスポートするには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [スナップショット] をクリックします。
3. 管理エリアにスナップショット一覧が表示されます。
4. エクスポートするスナップショットをクリックして選択します。
5. スナップショット一覧の上にある「スナップショットをエクスポート」をクリックします。
6. 確認のための「スナップショットをエクスポート」ダイアログが表示されます。
7. 「エクスポート」ボタンをクリックします。
8. エクスポートしたファイルを開くか保存するかを選択を求めるウィンドウが表示されます。
9. 「Save File」をクリックして選択した後、「OK」ボタンをクリックします。
10. 開かれたウィンドウで、エクスポートしたファイルの保存先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

2.5.2 スナップショットファイルのインポート

スナップショットファイルを ADM にインポートするには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [スナップショット] をクリックします。
3. 管理エリアにスナップショット一覧が表示されます。
4. スナップショット一覧の上にある「スナップショットをインポート」をクリックします。
5. 「スナップショットをインポート」ダイアログが表示されます。
6. 「Browse...」ボタンをクリックしてインポートするスナップショットファイルを指定し、「Open」ボタンをクリックします。
ADM はファイルチェックを自動的に実行し、ファイルが有効なスナップショットファイルであり、かつスナップショット一覧に重複がないことを確認します。
7. 「インポート」ボタンをクリックし、適切なスナップショットファイルのインポートを開始します。
8. 完了後、スナップショット一覧にインポートしたスナップショットが表示されます。

2.5.3 スナップショットの削除

スナップショットを ADM から削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [スナップショット] をクリックします。
3. 管理エリアにスナップショット一覧が表示されます。
4. 削除するスナップショットを選択します。
5. スナップショット一覧の上にある「スナップショットの削除」をクリックします。
6. 確認のための「スナップショットの削除」ダイアログが表示されます。
7. 「削除」ボタンをクリックします。
8. 選択したスナップショットがスナップショット一覧から削除されます。

2.5.4 スナップショットのスキャン

スナップショットのスキャン機能は、内部サーバーまたは外部サーバーに配置したスナップショットの検索に役立ちます。この機能が必要なシナリオは 2 つあります。ひとつめのシナリオは、外部サーバーに配置したスナップショットでシンクライアントを復元する場合です。このシナリオでは、ADM 管理コンソールで使用可能なスナップショット一覧が外部サーバーに配置したスナップショット一覧と同期していない場合があります。スナップショットのスキャン機能は、内部サーバーと外部サーバーに配置したスナップショットの一覧を同期できます。



外部サーバーに配置したスナップショットを使用するための ADM の設定手順の詳細は、本書の「第 3 章 2.7 配置サーバーの管理」参照してください。

ふたつめのシナリオは、別の ADM サーバーからスナップショットのファイルセットをコピーした場合です。コピーしたスナップショットがスナップショット一覧に表示されない場合があります。



ADM のデフォルトのインストールフォルダーは、C:\Program Files (x86)\Atrust です。ADM を使用して作成またはインポートしたすべてのスナップショットは、C:\Program Files (x86)\Atrust\snapshot の最上位の専用フォルダーに保存されます。

スナップショット一覧を内部サーバーまたは外部サーバーと同期するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [スナップショット] をクリックします。
3. 管理エリアにスナップショット一覧が表示されます。
4. スナップショット一覧の上にある「スナップショットをスキャン」をクリックします。
5. 完了後、スナップショット一覧が内部サーバーまたは外部サーバーと同期します。

2.6 証明書の管理

シンクライアントに反映させる証明書の管理ができます。



証明書の反映は US120f のみでサポートされる機能です。US320f と US310e ではサポートされません。証明書の反映については、本書の「第 3 章 4.11 証明書の反映」を参照してください。

2.6.1 証明書のインポート


証明書を ADM にインポートするには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [証明書] をクリックします。
3. 管理エリアに証明書一覧が表示されます

証明書を削除  証明書をインポート

| 発行先 | 発行元 | 有効期限 | 有効 |
|-----|-----|------------|-------|
| | | 2020-09-15 | Valid |

4. 証明書一覧の上にある「証明書をインポート」をクリックします。
5. 「証明書をインポート」ダイアログが表示されます。



証明書をインポート

ファイル名: Browse...

発行先:

発行元:

有効期限:

注意: PEMまたはDERフォーマット証明書を選択してください。(証明書の上限は16です)

キャンセル

6. 「Browse...」ボタンをクリックして証明書ファイルを指定し、「開く」をクリックします。
インポート可能な証明書のファイル形式は、PEM または DER です。
ADM はファイルチェックを自動的に実行し、インポート可能なファイル形式であり、かつ証明書一覧に重複がないことを確認します。
7. 「インポート」ボタンをクリックし、証明書ファイルのインポートを開始します。

証明書をインポート

ファイル名: Browse...

発行先:

発行元:

有効期限:

インポート キャンセル

8. 完了後、インポートした証明書ファイルが証明書一覧に表示されます。

— 証明書を削除 証明書をインポート

| 発行先 | 発行元 | 有効期限 | 有効 |
|--------------|--------------|------------|-------|
| XXXXXXXXXXXX | XXXXXXXXXXXX | 2020-09-15 | Valid |
| XXXX-XXXX | XXXX-XXXX | 2025-11-30 | Valid |

2.6.2 証明書の削除

ADM にインポートした証明書ファイルを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [証明書] をクリックします。
3. 管理エリアに証明書一覧が表示されます
4. 削除したい証明書ファイルを選択します。
5. 証明書一覧の上にある「証明書を削除」をクリックします。
6. 確認のための「証明書を削除」ダイアログが表示されます。
7. 「削除」ボタンをクリックします。
8. 選択した証明書ファイルが証明書一覧から削除されます。

2.7 配置サーバーの管理

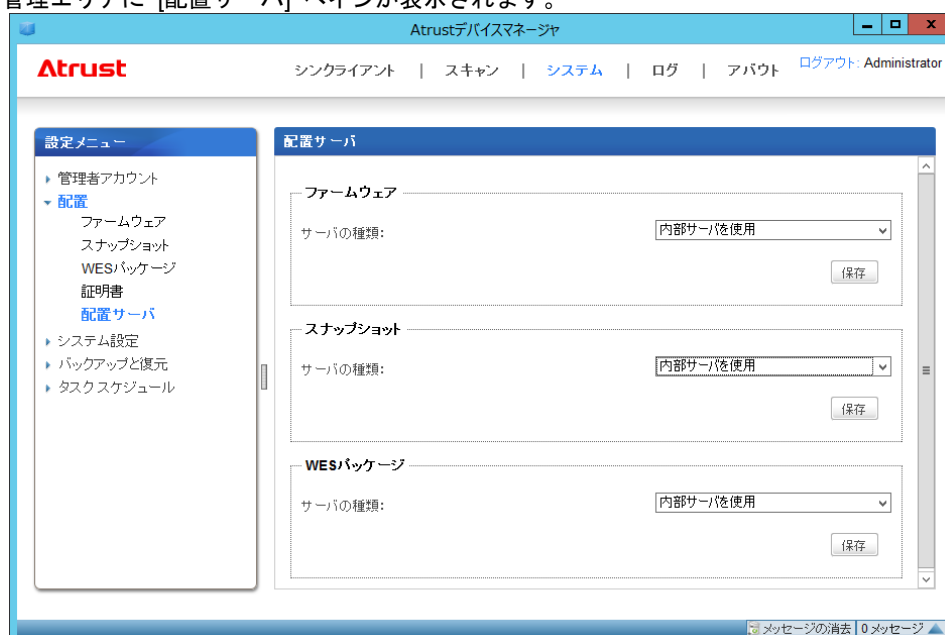
ADM を使用すると、リモートコンピューターからシンクライアントの展開、保守、およびアップグレードを実行できます。すべての必要なファイル(ファームウェア、スナップショット、パッケージファイル)の格納先(配置サーバー)は ADM がインストールされているコンピューター内、または必要なファイルが格納されている別のコンピューターも利用することができます。

| 配置サーバーの指定 | | |
|-----------|---|-------------------------------------|
| オプション | 説明 | 注記 |
| 内部サーバーを使用 | ADM がインストールされているコンピューター内に必要なファイルをインポートする場合に選択します。 | デフォルトの設定値です。 |
| 外部サーバーを使用 | 別のコンピューターから必要なファイルを取得する場合に選択します。 | 別の ADM サーバーに必要なファイルをインポートまたはコピーします。 |

2.7.1 内部サーバーを使用

内部サーバーを使用するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [配置サーバ] をクリックします。
3. 管理エリアに [配置サーバ] ペインが表示されます。



4. 各セクション (ファームウェア、スナップショット、WES パッケージ) でドロップダウンメニューをクリックし、「内部サーバを使用」を選択します。
5. 「保存」ボタンをクリックします。

2.7.2 外部サーバーを使用

外部サーバーを使用するには、以下の手順を実行してください。



- ・ 外部サーバーとして設定するコンピューターには、ADM がインストールされている必要があります。
- ・ ファームウェア/スナップショット/ WES パッケージの URL に https (SSL) は指定できません。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [配置] → [配置サーバ] をクリックします。
3. 管理エリアに [配置サーバ] ペインが表示されます。
4. 1 つのセクション (ファームウェア、スナップショット、WES パッケージ) でドロップダウンメニューをクリックし、「外部サーバを使用」を選択します。新しい設定フィールドが表示されます。本書では例として [ファームウェア] を設定します。

5. [ファームウェア (スナップショット / WES パッケージ) の URL] で、デフォルトの URL の "YourServerIP" を外部サーバーの IP アドレスに置き換えます。
6. ADM のインストール時にデフォルトのデータベースの管理者パスワードを設定した場合は、デフォルトのアカウント情報を入力します。デフォルトアカウント情報 (ユーザー名「user」、パスワード「secret」) を入力し、「保存」をクリックして適用します。

7. 「保存」ボタンをクリックします。

2.8 サービス IP アドレスの選択

ADM のサービス IP アドレスを選択するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [システム設定] → [一般設定] をクリックします。
3. 管理エリアに [Atrust デバイスマネージャ] ペインが表示されます。
4. [IPv4 アドレス] のドロップダウンリストをクリックし、適切な IP アドレスを選択します。

The screenshot shows the 'Atrust デバイスマネージャ' (Atrust Device Manager) interface. Under the 'IPv4 アドレス:' label, there is a dropdown menu currently displaying '192.168.5.48'. To the right of the dropdown is a '保存' (Save) button.

5. 「保存」ボタンをクリックします。



- ・ ADM サーバーの IP アドレスを変更すると、ADM へのログイン時に新しいサービス IP アドレスの選択を促されます。

2.9 自動ログアウトの設定

ADM では、自動ログアウトを設定して ADM のセキュリティを強化することができます。自動ログアウトを設定すると、アイドル状態のまま特定の時間を経過すると、ADM から自動的にログアウトします。デフォルトでは、自動ログアウトは設定されていません。

ADM の自動ログアウトを設定するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [システム設定] → [一般設定] をクリックします。
3. 管理エリアに [自動ログアウト] ペインが表示されます。
4. [指定時間後に自動ログアウト] のドロップダウンメニューをクリックして、アイドル時間を選択します。

The screenshot shows the '自動ログアウト' (Auto Logout) section of the Atrust Device Manager. It features a label '指定時間後に自動ログアウト:' followed by a dropdown menu set to '設定しない' (Not set). A '保存' (Save) button is located to the right.

5. 「保存」ボタンをクリックします。

2.10 自動登録の設定

本機能を使用すると、シンククライアントがオンラインのときに、ADM がシンククライアントを管理端末として自動的に登録することができます。自動登録されたシンククライアントは、[シンククライアント] - <Ungrouped> グループに登録されます。ADM に自動登録されたシンククライアントは、[説明] に “Auto-registered” という値が設定されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル | 説明 |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|---------------------|--------|-----------------|
| | Atrust-033EB2 | 192.168.7.111 | 00:1F:D8:03:3E:B2 | US120f | ARM Linux 8.43-FAKC | N/A | Auto-registered |



- ・本機能は US320f、US120f でサポートされます。US310e は自動登録に対応していません。
- ・本機能を使用するには、シンククライアント側の設定ツール Atrust Client Setup (ACS) の [システム] - [詳細] - [自動登録を有効にする] 設定が有効である必要があります。ADM サーバー側のみの設定では、本機能は動作しません。
- ・デフォルトでは、自動登録機能は無効になっています。

本機能を有効にするための手順は、以下のとおりです。

- i. (必須) ADM サーバーとシンククライアントで自動登録を有効にします
 - 2.10.1 ADM 側の自動登録設定
 - 2.10.2 ACS 側の自動登録設定
- ii. (選択) DHCP サーバーまたは DNS サーバーのいずれか一方を設定します
 - 2.10.3 DHCP サーバーの設定
 - 2.10.4 DNS サーバーの設定

2.10.1 ADM 側の自動登録設定

自動登録を設定するには、以下の手順を実行してください。

- [システム] タブをクリックします。
- ナビゲーションエリアから [システム設定] → [一般設定] をクリックします。
- 「自動登録を有効にする」にチェックを入れます。

自動登録

☒ 自動登録を有効にする

保存

- 「保存」ボタンをクリックします。

自動登録

☒ 自動登録を有効にする

自動登録設定は成功しました。 保存

- 以上で ADM 側の設定は完了です。

2.10.2 ACS 側の自動登録設定

本書では、例として US120f の ACS での設定画面を記載します。US320f も設定手順は同じです。

1. 「システム」 - 「詳細」 - 「自動登録を有効にする」にチェック入れます。



2. 「保存」ボタンをクリックします。



3. 以上で ACS 側の設定は完了です。

2.10.3 DHCP サーバーの設定

自動登録機能を使用するには、DHCP サーバーまたは DNS サーバーいずれか一方で設定を行う必要があります。DHCP サーバーの設定を行うには、以下の手順を実施してください。

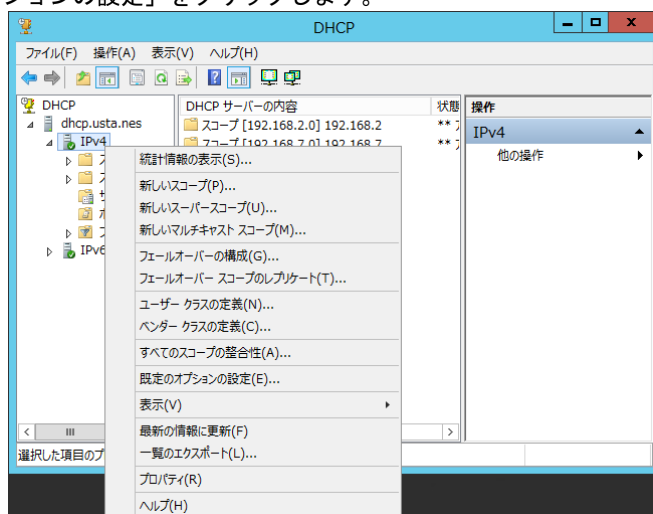


本書では、例として Windows Server 2012 R2 で構築された DHCP サーバーに対する設定手順を記載しています。

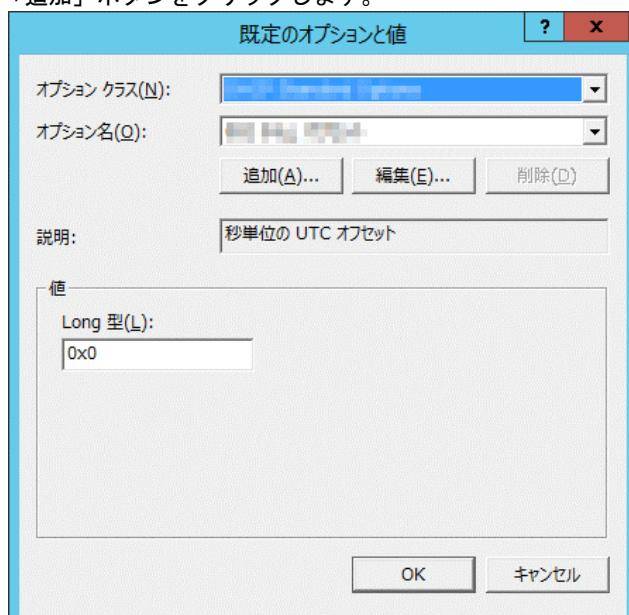
1. 管理者アカウントで DHCP サーバーにサインインします。
2. [スタート] – [すべてのアプリ] – [管理ツール] – [DHCP] を選択します。



3. [DHCP] ウィンドウが起動します。左ペイン内の [IPv4] を選択し、右クリックメニュー内の「既定のオプションの設定」をクリックします。



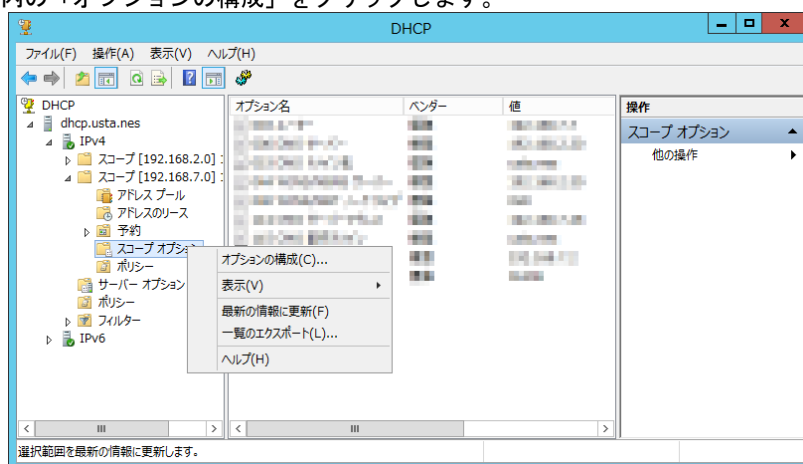
4. 「追加」 ボタンをクリックします。



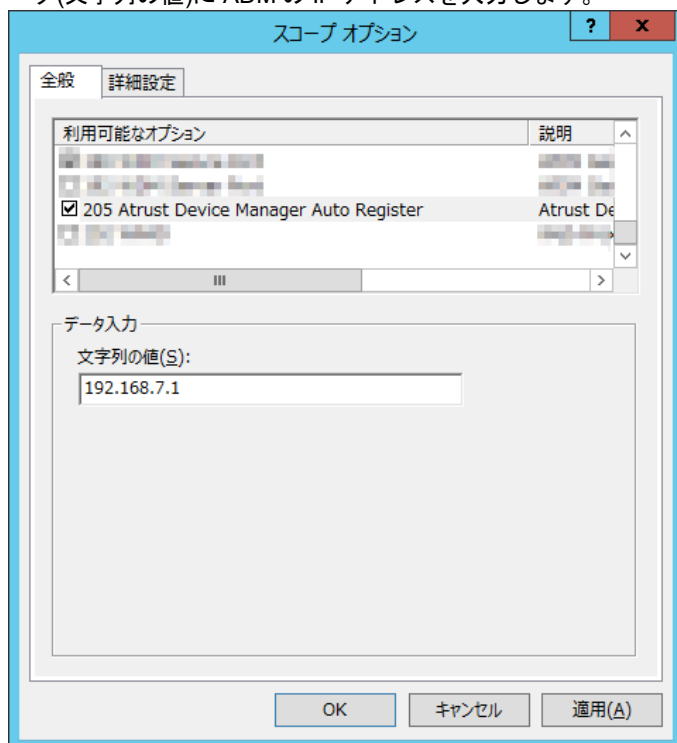
5. [オプションの種類] ウィンドウで、以下の情報を入力します。
 - ・ 名前 : <任意の名前>
 - ・ データ型 : 文字列
 - ・ コード : 205
 - ・ 説明 : <任意>

6. 「OK」 ボタンをクリックします。
7. [既定のオプションと値] ウィンドウで「OK」 ボタンをクリックします。

8. 「DHCP」 ウィンドウの左ペイン内の [スコープ] - [スコープオプション] を選択し、右クリックメニュー内の「オプションの構成」をクリックします。



9. [全般] タブ - [利用可能なオプション] の一覧から、手順 3.~7. で登録した「205」にチェックを入れ、データ(文字列の値)に ADM の IP アドレスを入力します。



10. 「適用」 ボタンをクリック後、「OK」 ボタンをクリックします。

2.10.4 DNS サーバーの設定

自動登録機能を使用するには、DHCP サーバーまたは DNS サーバーいずれか一方の設定を行う必要があります。DNS サーバーの設定を行うには、以下の手順を実施してください。

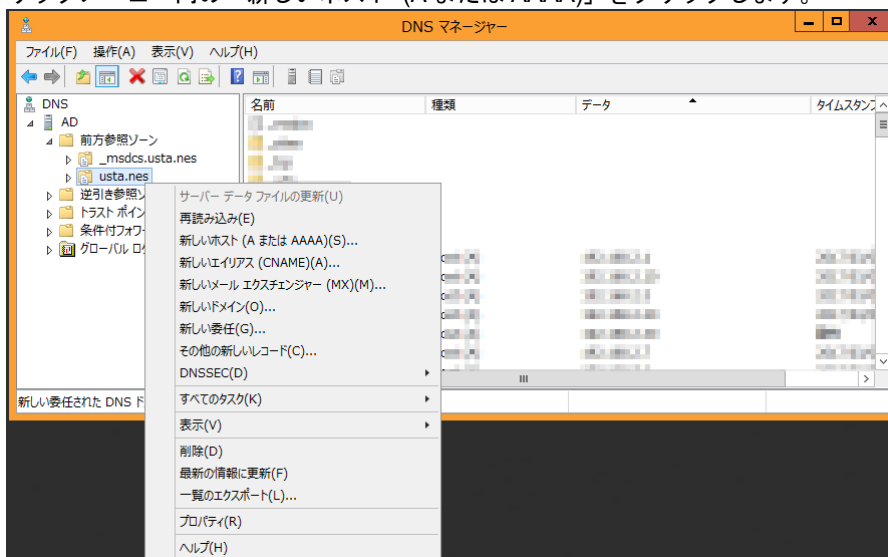


本書では、例として Windows Server 2012 R2 で構築された DNS サーバーに対する設定手順を記載しています。

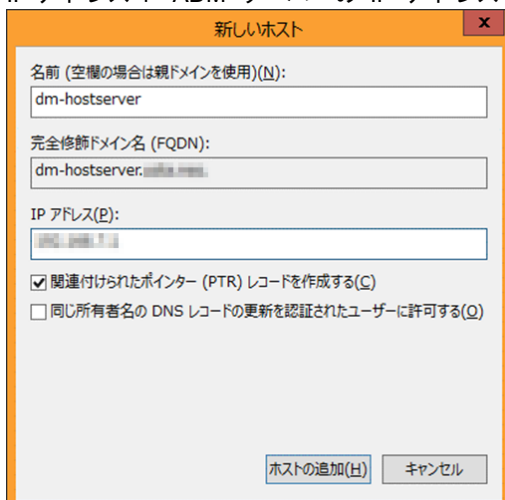
1. 管理者アカウントで DNS サーバーにサインインします。
2. [スタート] – [すべてのアプリ] – [管理ツール] – [DNS] を選択します。



3. [DNS マネージャー] が起動します。左ペイン内の [前方参照ゾーン] - <ドメインノード>を選択し、右クリックメニュー内の「新しいホスト (A または AAAA)」をクリックします。



4. [新しいホスト] ウィンドウで、以下の情報を入力します。
名前 : dm-hostserver
IP アドレス : <ADM サーバーの IP アドレス>



5. 「ホストの追加」ボタンをクリックします。

6. ホストレコードが正しく作成された旨のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



7. 「新しいホスト」ウィンドウの「完了」ボタンをクリックします。

A screenshot of the '新しいホスト' (New Host) dialog box with an orange title bar and a close button (X) in the top right corner. The dialog contains several input fields and checkboxes. The first field is labeled '名前 (空欄の場合は親ドメインを使用)(N):' (Name (if blank, use parent domain)(N):). The second field is labeled '完全修飾ドメイン名 (FQDN):' (Fully qualified domain name (FQDN):). The third field is labeled 'IP アドレス(P):' (IP address(P):). Below these fields are two checkboxes: the first is checked and labeled '関連付けられたポインター (PTR) レコードを作成する(C)' (Create associated pointer (PTR) record(C)), and the second is unchecked and labeled '同じ所有者名の DNS レコードの更新を認証されたユーザーに許可する(Q)' (Allow authenticated user to update DNS records with same owner name(Q)). At the bottom, there are two buttons: 'ホストの追加(H)' (Add host(H)) and '完了' (Finish).

2.11 管理端末でのパスワード保護の設定

ADM で管理登録した端末を別の ADM からスキャン機能で検出されるのを制限したい場合に本機能を使用します。本機能を使用することによって、管理登録済みの端末の管理を別の ADM から上書き登録されるのを防止できます。

本機能を使用してパスワード保護されたシンククライアントは、ADM のスキャン機能でパスワードの入力なしに検出されなくなります。パスワード保護されたシンククライアントを ADM のスキャン機能で検出したい場合は「パスワード保護された端末を含む」スキャンを実行します。

パスワード保護されたシンククライアントのスキャンおよび登録については、本書の「第3章 3.6 パスワード保護された端末を含むスキャン」を参照してください。



本機能は US320f、US120f でサポートされます。US310e は対応していません。



- ・ US310e は、ADM で管理登録済みである場合、別の ADM から管理を上書き登録することはできません。
- ・ 「パスワード保護」を設定後に、新しく管理登録されたシンククライアントは「パスワード保護」が自動的に適用されます。
- ・ ADM に登録されたすべてのシンククライアントに対して、パスワード保護の設定が送信されます。管理端末にパスワード保護に対応していない US310e が含まれている場合は、US310e へのパスワードの適用に失敗したメッセージが表示されますが問題ありません。

2.11.1 パスワード保護の設定

パスワード保護を設定するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [システム設定] → [一般設定] をクリックします。
3. 「パスワード保護を有効にする」にチェックを入れます。

管理端末でのパスワード保護

☐ パスワード保護を有効にする

保存

4. パスワードの設定ダイアログが表示されます。パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

パスワードを設定してください

パスワード:

パスワードの確認:

*パスワードには、英字、数字、および特殊文字を含めることができます。

*4~20文字でなければなりません。

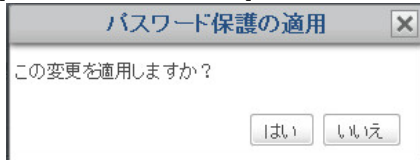
5. 「保存」ボタンをクリックします。

管理端末でのパスワード保護

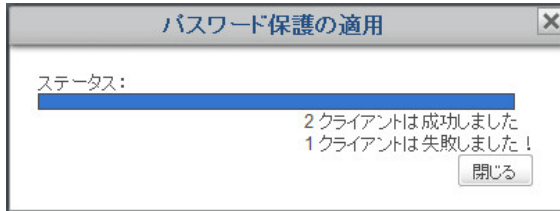
☒ パスワード保護を有効にする

保存

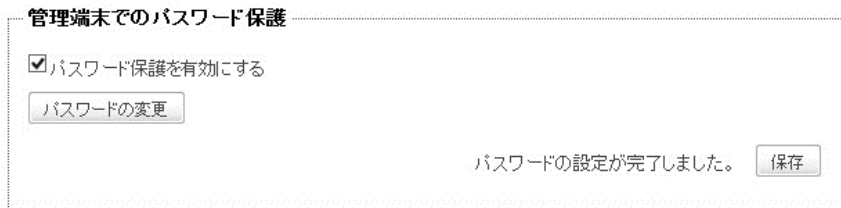
6. [パスワード保護の適用] ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。



7. 適用結果がダイアログに表示されます。結果を確認後、「閉じる」ボタンをクリックします。



8. “パスワードの設定が完了しました” というメッセージが表示されていることを確認します。



2.11.2 パスワードの変更

既にパスワード保護を設定済みの管理端末のパスワードを変更するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [システム設定] → [一般設定] をクリックします。
3. 「パスワードの変更」ボタンをクリックします。

管理端末でのパスワード保護

☒ パスワード保護を有効にする

4. パスワードの設定ダイアログが表示されます。変更するパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

パスワードを設定してください

パスワード:

パスワードの確認:

* パスワードには、英字、数字、および特殊文字を含めることができます。

* 4~20文字でなければなりません。

5. 「保存」ボタンをクリックします。

管理端末でのパスワード保護

☒ パスワード保護を有効にする

6. [パスワード保護の適用] ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

パスワード保護の適用

この変更を適用しますか？

7. 適用結果がダイアログに表示されます。結果を確認後、「閉じる」をクリックします。

パスワード保護の適用

ステータス:

2クライアントは成功しました
1クライアントは失敗しました！

8. “パスワードの設定が完了しました” というメッセージが表示されていることを確認します。

管理端末でのパスワード保護

☒ パスワード保護を有効にする

パスワードの設定が完了しました。

2.12 管理データベースの設定

ADM の管理データベースの格納先は、ADM がインストールされているコンピューター、または別のコンピューターの 2 通りあります。デフォルトでは、ADM がインストールされているコンピューターに管理データベースは格納されます。



サポートする外部データベースは、MsSQL (Microsoft SQL Server) です。その他のデータベース (PostgreSQL、MySQL、Oracle) は事前に検証して問題がないことを確認してください。

2.12.1 ローカルデータベースの使用

ローカルデータベースを使用するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [システム設定] → [外部データベース] をクリックします。
3. 管理エリアに「データベース」ペインが表示されます。
4. [外部データベースを使用] ドロップダウンメニューをクリックして、「いいえ」を選択します。

データベース

外部データベースを使用: いいえ

保存

5. 「保存」ボタンをクリックします。

2.12.2 外部データベースの使用

外部データベースを使用するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [システム設定] → [外部データベース] をクリックします。
3. 管理エリアに「データベース」ペインが表示されます。
4. [外部データベースを使用] ドロップダウンメニューをクリックして、「はい」を選択します。
5. 新しいフィールドを含む新しいセクションが、設定用に表示されます。

データベース

外部データベースを使用: はい

設定

データベースタイプ: PostgreSQL

サーバアドレス: *

ポート番号: *5432

データベース名: *

認証

ユーザ名: *

パスワード: *

データベースのチェック

6. 「設定」セクションでドロップダウンメニューをクリックしてデータベース管理システムの種類を選択し、データベースサーバーの IP アドレス、ポート番号、およびデータベースの名前を入力します。
7. 「認証」セクションで、データベースにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
8. 「データベースのチェック」をクリックし、リモートデータベースに接続します。

2.13 インタフェース言語の選択

ADM のインタフェース言語を選択するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [システム設定] → [言語] をクリックします。
3. 管理エリアに [言語] ペインが表示されます。
4. [言語を選択してください] ドロップダウンリストをクリックし、使用可能な言語からインタフェース言語を選択します。
5. 「保存」ボタンをクリックします。

2.14 管理データベースのバックアップ

ADM の管理データベースをバックアップするには、以下の手順を実行してください。
本節では、管理データベースがローカルデータベースである場合を説明します。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [バックアップと復元] をクリックします。
3. 管理エリアに [内部データベースバックアップ] ペインが表示されます。
4. [ファイル名] にバックアップファイルのプリフィックスを入力します。

内部データベースバックアップ

ディレクトリ: C:\Program Files (x86)\Atrust\%dbarchive%

ファイル名: *ADM

バックアップ



バックアップファイルは、[ディレクトリ] に設定されているパスに出力されます。
バックアップファイルの名前を変更する場合は、[ファイル名] を変更します。

5. 「バックアップ」をクリックし、管理データベースとクライアント証明書のコピーを格納します。
6. 完了後、[内部データベースアーカイブ管理] ペインの [アーカイブファイルを選択] ドロップダウンメニューの一番上にバックアップファイルが表示されます。

内部データベースアーカイブ管理

アーカイブファイルを選択: ADM_2019-12-03-14-14.zip

ダウンロード アップロード 削除 復元

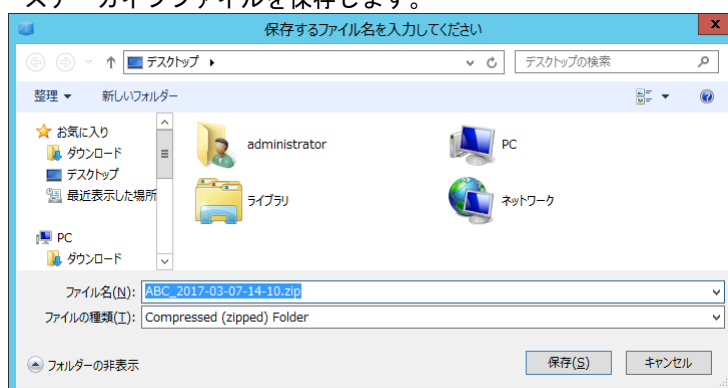
2.15 データベースアーカイブファイルの管理

本機能では、「第3章 2.14 管理データベースのバックアップ」でバックアップしたアーカイブファイルの管理や ADM の復元ができます。

2.15.1 データベースアーカイブファイルのダウンロード

データベースアーカイブファイルを ADM からダウンロードするには、以下の手順を実行してください。

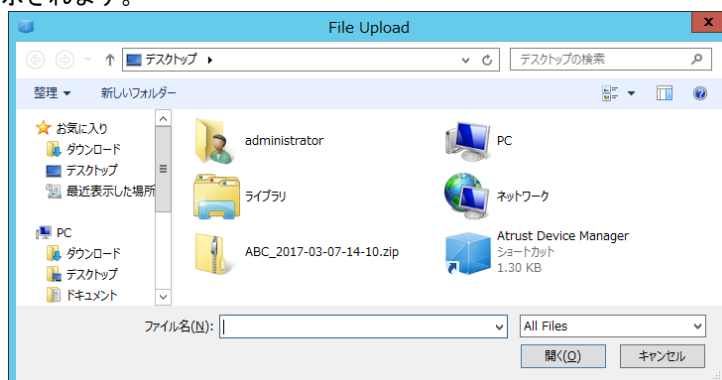
1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [バックアップと復元] をクリックします。
3. 管理エリアに [内部データベースアーカイブ管理] ペインが表示されます。
4. [アーカイブファイルを選択] ドロップダウンメニューからダウンロードするデータベースアーカイブファイルを選択します。
5. 「ダウンロード」ボタンをクリックします。
6. データベースアーカイブファイルの保存先を選択するダイアログが表示されます。任意の場所にデータベースアーカイブファイルを保存します。



2.15.2 データベースアーカイブファイルのアップロード

データベースアーカイブファイルを ADM へアップロードするには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [バックアップと復元] をクリックします。
3. 管理エリアに [内部データベースアーカイブ管理] ペインが表示されます。
4. 「アップロード」ボタンをクリックすると、データベースアーカイブファイルを選択するダイアログが表示されます。



5. アップロードするデータベースアーカイブファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。
6. [アーカイブファイルを選択] ドロップダウンメニューにファイルが追加されます。

2.15.3 データベースアーカイブファイルの削除

データベースアーカイブファイルを ADM から削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [バックアップと復元] をクリックします。
3. 管理エリアに [内部データベースアーカイブ管理] ペインが表示されます。
4. [アーカイブファイルを選択] ドロップダウンメニューをクリックし、削除するデータベースアーカイブファイルを選択します。
5. 「削除」ボタンをクリックします。

2.15.4 データベースアーカイブファイルの復元

データベースアーカイブファイルから ADM を復元するには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [バックアップと復元] をクリックします。
3. 管理エリアに [内部データベースアーカイブ管理] ペインが表示されます。
4. [アーカイブファイルを選択] ドロップダウンメニューをクリックし、復元するデータベースアーカイブファイルを選択します。

内部データベースアーカイブ管理

アーカイブファイルを選択:

ADM_2019-12-03-14-14.zip ▼

ダウンロード アップロード 削除 復元

5. 「復元」ボタンをクリックします。

2.16 タスクスケジュール

ADM では、特定の時点でタスクを自動実行するスケジュールを作成し、管理対象デバイスの保守タスクをスケジュールリングして自動的に実行できます。

自動実行タスクをスケジュールリングするには、以下の手順を実行してください。

1. [システム] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [タスクスケジュール] をクリックします。
3. 管理エリアにタスク一覧が表示されます。

+ 追加 編集 - 削除 ログの表示

| | スケジュール | コメント | 次のスケジュール | 前のスケジュール | ステータス |
|---|--------|-------|------------------|------------------|-------------|
| ✓ | 一回 | test | 2014-12-04 10:15 | 2014-12-04 10:15 | Send Finish |
| ✓ | 一回 | test2 | 2014-11-25 11:40 | 2014-11-25 11:40 | Send Finish |

4. タスク一覧の上にある「追加」をクリックします。
5. 管理エリアに [タスクスケジュールを追加] ペインが表示されます。

タスクスケジュールを追加

☒ タスクスケジュールを有効にする

スケジュール

詳細

実行: 日単位

実行間隔: 1 日

開始日: 2015-1-28 選択

開始時刻: 00 : 00

コメント:

前回:

次回:

前回の結果:

保存 キャンセル

6. [スケジュール] タブでは、タスクのスケジュールを設定します。
 [タスクスケジュールを有効にする] チェックボックス
 オン: タスクを有効にします
 オフ: タスクを無効にします
 [実行]: 一回/日単位/週単位/月単位から、タスクの実行間隔の概要を設定します
 [実行間隔]: タスクの実行間隔を設定します
 この項目は、[実行] で“一回”以外を選択した場合に表示されます
 [開始日]: タスクの開始日を設定します
 [開始時刻]: タスクの開始時刻を設定します



開始日以降は、[実行間隔] の設定に従って周期的にタスクを実行させることができます。

[コメント]: タスクに関するコメントを入力できます

タスクスケジュールを追加

☒ タスクスケジュールを有効にする

スケジュール

詳細

実行: 日単位

実行間隔: 1 日

開始日: 2015-1-28 選択

開始時刻: 00 : 00

コメント: End Session and Refresh Endpoints before Afternoon Opening Time

前回:

次回:

前回の結果:

保存 キャンセル

7. [詳細] タブで「追加」をクリックし、処理を指定します。

タスクスケジュールを追加

☒タスクスケジュールを有効にする

スケジュール 詳細

+ 追加 ✎ 編集 - 削除

| オーダー | モジュール | アクション | コメント | オーダー |
|------|-------|-------|------|------|
| | | | | |

コメント: End Session and Refresh Endpoints before Afternoon Opening Time

前回:
次回:
前回の結果:

保存 キャンセル

8. [追加] ウィンドウで、処理を設定します。

[有効にする] チェックボックス

オン: タスク実行時に、この処理は実行されます

オフ: タスク実行時に、この処理は実行されません

[オーダー]: タスクの中で実行される処理の順番を設定します

[モジュール]: 処理の概要を選択します

- ・ クライアント: 制御
- ・ タスク: ウェイト
- ・ タスク: 内部データベースをバックアップ

[アクション]: [モジュール] で「クライアント: 制御」を選択した場合に表示されます
以下の処理をタスクから実行できます。

- ・ Wake-On-LAN
- ・ 再起動
- ・ シャットダウン
- ・ メッセージ送信
- ・ ファームウェア更新



- ・ 電源オフ状態のシンククライアントに対してタスクは実行できません。このため、シンククライアントに対してタスクを実行するには、シンククライアントに電源が投入されている前提であるか、はじめに起動 (Wake-On-LAN) を実行する必要があります。
- ・ タスクの各処理は、待ち時間なしで続けて実行します。処理の完了までに時間を要することが予想される場合は、次の処理の前に「タスク: ウェイト」を実行します。

一例として、シンククライアント (US120f) のファームウェア更新を実行するタスクは、以下のようになります。

| オーダー | モジュール | アクション |
|------|------------|-------------|
| 1 | クライアント: 制御 | Wake-On-LAN |
| 2 | タスク: ウェイト | 2 分 |
| 3 | クライアント: 制御 | ファームウェア更新 |
| 4 | タスク: ウェイト | 5 分 |
| 5 | クライアント: 制御 | シャットダウン |

ネットワーク環境やシンククライアントのモデルに合わせて、「タスク: ウェイト」の待ち時間を調整する必要があります。

[クライアント]: [モジュール] で「クライアント: 制御」を選択した場合に表示されます

シンククライアントグループ、またはシンククライアントを個別に指定して、タスクの実行対象を設定します

[ウェイト]: [モジュール] で「タスク: ウェイト」を選択した場合に表示されます

設定した時間を経過するまで、次の処理を待機します

[コメント]: 処理に対するコメントを入力できます。

追加

有効にする: ☒

オーダー:

モジュール: クライアント:制御 ▼

アクション: メッセージ送信 ▼

メッセージ

待機時間: 秒

メッセージ:

クライアント

☐ グループ

☒ クライアント

| | | |
|-------------------------------------|---------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | atrust-013E11 | US310e |
| <input checked="" type="checkbox"/> | atrust-013DC4 | US310e |
| <input type="checkbox"/> | atrust-013E19 | US310e |
| <input type="checkbox"/> | atrust-013DD0 | US310e |
| <input type="checkbox"/> | atrust-013E22 | US310e |

コメント:

追加

有効にする: ☒

オーダー:

モジュール: タスク:ウェイト ▼

ウェイト 分

コメント:

追加

有効にする: ☒

オーダー:

モジュール: クライアント:制御 ▼

アクション: シャットダウン ▼

クライアント

☐ グループ

☒ クライアント

| | | |
|-------------------------------------|---------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | atrust-013E11 | US310e |
| <input checked="" type="checkbox"/> | atrust-013DC4 | US310e |
| <input type="checkbox"/> | atrust-013E19 | US310e |
| <input type="checkbox"/> | atrust-013DD0 | US310e |
| <input type="checkbox"/> | atrust-013E22 | US310e |

コメント:

9. 「OK」 ボタンをクリックします。

10. 完了後、処理一覧に処理が追加されます。

タスクスケジュールを追加

☒タスクスケジュールを有効にする

スケジュール 詳細

+ 追加 編集 - 削除

| モジュール | アクション | コメント | オーダー |
|-------|---------|------------------------|------|
| 制御 | メッセージ送信 | Notify endpoints users | 1 |

コメント:

前回:

次回:

前回の結果:

保存 キャンセル

11. 「保存」ボタンをクリックします。
12. タスク一覧にタスクが追加されます。

+ 追加 編集 - 削除 ログの表示

| | スケジュール | コメント | 次のスケジュール | 前のスケジュール | ステータス |
|---|--------|-------|------------------|------------------|-------------|
| ✓ | 一回 | test | 2014-12-04 10:15 | 2014-12-04 10:15 | Send Finish |
| ✓ | 一回 | test2 | 2014-11-25 11:40 | 2014-11-25 11:40 | Send Finish |

3. 「スキャン」タブ

「スキャン」タブでは、ADM に管理登録されていないローカルネットワーク内のシンククライアントを検出できます。

3.1 「スキャン」タブの概要

図3 「スキャン」タブの概要



| 番号 | 使用可能なタスク | 参照先 |
|----|---------------------|-----------------------------|
| 1 | ローカルネットワークをスキャン | 第3章 3.3 ローカルネットワークをスキャン |
| 2 | IP 範囲でスキャン | 第3章 3.4 IP 範囲でスキャン |
| 3 | IP 範囲のリストの作成 | 第3章 3.5 IP 範囲のリストの管理 |
| 4 | IP 範囲のリストの管理 | |
| 5 | IP 範囲のリストでスキャン | |
| 6 | パスワード保護された端末を含むスキャン | 第3章 3.6 パスワード保護された端末を含むスキャン |

3.2 シンククライアントの検出と管理

出荷時のシンククライアントは、ADM によって管理されていません。ADM でシンククライアントを管理するには、管理対象ではないシンククライアントをローカルネットワークから検出し、ADM の管理対象に追加する必要があります。

既に ADM で管理されているシンククライアントを、別の ADM から検出した場合、管理登録の可否は対象の機種が「管理端末でのパスワード保護」の機能を持つかどうかに依存します。

パスワード保護機能を持たないシンククライアント（US310e）は、既に ADM に管理登録されている場合、別の ADM から管理登録することはできません。これはパスワード保護機能を持たないシンククライアントが、管理者の意図しないサーバーからシンククライアントをリモート操作されないためのセキュリティ上の仕様です。一方、パスワード保護機能を持つシンククライアント（US320f、US120f）は、既に ADM に管理登録された状態であっても、別の ADM から管理登録することができます。つまり、パスワード保護機能を持つシンククライアントを、パスワード保護機能を利用しないまま運用すると、管理者が意図しないサーバーからシンククライアントをリモート操作される可能性があることに注意が必要です。

ADM で US320f または US120f を管理する場合は、ADM のパスワード保護を有効にすることを推奨します。詳細は、本書の「第 3 章 2.11 管理端末でのパスワード保護の設定」を参照してください。



デフォルト設定（自動登録が無効）のシンククライアントは、電源を投入しても ADM に自動登録されません。シンククライアントと ADM でそれぞれ自動登録の設定を有効にすることで、ADM にシンククライアントを自動登録することができます。詳細は、本書の「第 3 章 2.10 自動登録の設定」を参照してください。

ローカルネットワークでシンククライアントを検索する場合、[スキャン] タブで提供されている複数のシンククライアント検出オプションを使用できます。

下の表は、ローカルネットワークでシンククライアントを検出するための必要条件と方法を示しています。

| モデル | 必要条件 | 方法 |
|--------|--|--------|
| US320f | ・シンククライアントがローカルネットワークに接続されていること ・シンククライアントの電源が投入されていること | 手動スキャン |
| US310e | ・シンククライアントがローカルネットワークに接続されていること ・シンククライアントの電源が投入されていること | 手動スキャン |
| US120f | ・シンククライアントがローカルネットワークに接続されていること ・シンククライアントの電源が投入されていること | 手動スキャン |



ADM の管理対象にシンククライアントを追加した後は、シンククライアントのリモート管理を開始できます。シンククライアントのリモート管理手順について詳しくは、本書の「第 3 章 4.4 プロファイルのリモート管理とローカル管理」を参照してください。

スキャン機能で検出したシンククライアントをシンククライアントグループに追加することで、ADM はシンククライアントを管理することができます。デフォルトのシンククライアントグループは Ungrouped です。シンククライアントグループは、後で変更できます。

シンククライアントグループを新規作成するには、本書の「第 3 章 4.2 シンククライアントグループの管理」を参照してください。

3.3 ローカルネットワークをスキャン

ローカルネットワークの全範囲をスキャンして、管理対象になっていないシンククライアントの検出と管理対象への追加を行うには、以下の手順を実行してください。

1. [スキャン] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [ローカルネットワークをスキャン] ラジオボタンをクリックしてオンにします。

3. 「スキャンの開始」ボタンをクリックします。
4. 完了後、検出されたシンククライアントが管理エリアに一覧表示されます。

+ グループに追加 Ungrouped ▼ ☐ すべての選択を解除 ☐ すべての選択

| 名前 | IP | Macアドレス | モデル | ファームウェア | 管理登録 |
|---------------|---------------|-------------------|--------|---------------------|------|
| Atrust-033EB2 | 192.168.7.117 | 00:1F:D8:03:3E:B2 | US120f | ARM Linux 8.43-FAKC | No |
| atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.20-INTL | No |

5. シンククライアント一覧から管理対象に追加したいシンククライアントを選択します。
6. シンククライアント一覧の上にあるドロップダウンメニューから追加先のシンククライアントグループを選択し、「グループに追加」をクリックします。



1 つのシンククライアントグループに登録するクライアント数は、1,000 台以下としてください。

7. シンククライアントグループ (Ungrouped を含む) への追加が成功すると、シンククライアントは ADM で管理されます。

3.4 IP 範囲でスキャン

指定した範囲の IP アドレスでスキャンして、管理対象になっていないシンククライアントの検出と管理対象への追加を行うには、以下の手順を実行してください。

1. [スキャン] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [IP 範囲でスキャン] ラジオボタンをクリックしてオンにします。
3. IP 範囲フィールドが表示されます。

4. 適切な IP 範囲を入力し、「スキャンの開始」ボタンをクリックします。
5. 完了後、検出されたシンククライアントが管理エリアに一覧表示されます。

| 名前 | IP | Macアドレス | モデル | ファームウェア | 管理登録 |
|---------------|---------------|-------------------|--------|---------------------|------|
| Atrust-033EB2 | 192.168.7.117 | 00:1F:D8:03:3E:B2 | US120f | ARM Linux 8.43-FAKC | No |
| atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.20-INTL | No |

6. シンククライアント一覧から管理対象に追加したいシンククライアントを選択します。
7. シンククライアント一覧の上にあるドロップダウンメニューから追加先のシンククライアントグループを選択し、「グループに追加」をクリックします。



1 つのシンククライアントグループに登録するクライアント数は 1,000 台以下としてください。

8. シンククライアントグループ (Ungrouped を含む) への追加が成功すると、シンククライアントは ADM で管理されます。

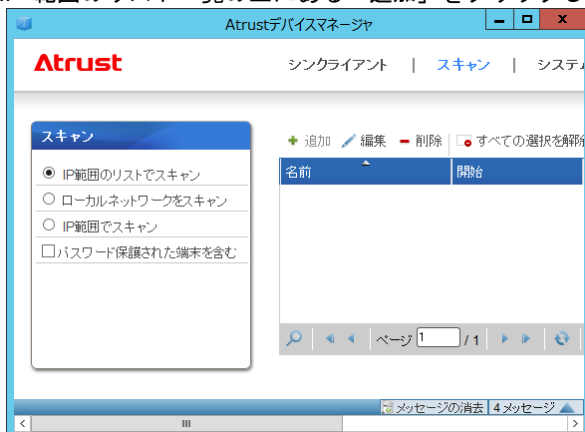
3.5 IP 範囲のリストの管理

ローカルネットワークに対して複数の IP 範囲を定義し、特定の IP アドレス範囲内で管理対象になっていないシンクライアントを検出することができます。

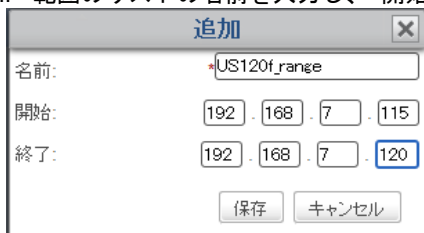
3.5.1 IP 範囲のリストの作成

IP 範囲のリストを作成するには、以下の手順を実行してください。

1. [スキャン] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [IP 範囲のリストでスキャン] ラジオボタンをクリックしてオンにします。
3. IP 範囲のリスト一覧の上にある「追加」をクリックします。



4. 「追加」ダイアログが表示されます。
5. IP 範囲のリストの名前を入力し、「開始」および「終了」フィールドに IP アドレスを指定します。



6. 「保存」ボタンをクリックして、IP 範囲のリストを追加します。
7. 手順 3.～5. を繰り返し、他の IP 範囲のリストを追加します。

3.5.2 IP 範囲のリストの管理

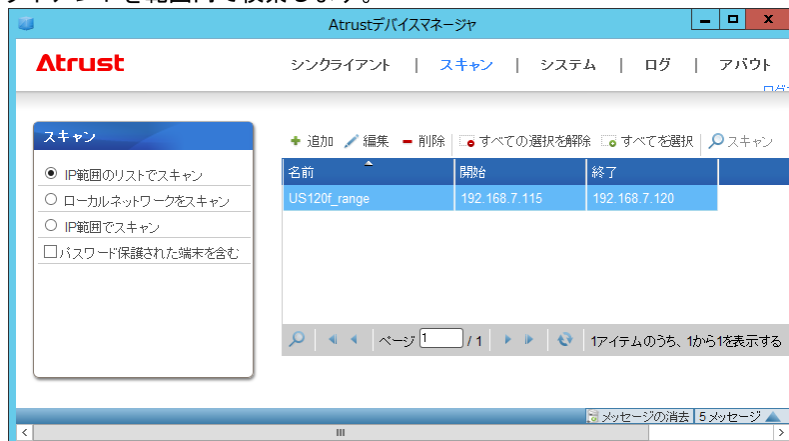
IP 範囲のリストを管理するには、以下の手順を実行してください。

1. [スキャン] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [IP 範囲のリストでスキャン] ラジオボタンをクリックしてオンにします。
3. 管理エリアに IP 範囲のリストが表示されます。
4. IP 範囲のリスト一覧の上にある「追加」、「編集」、または「削除」をクリックし、IP 範囲のリストを変更します。

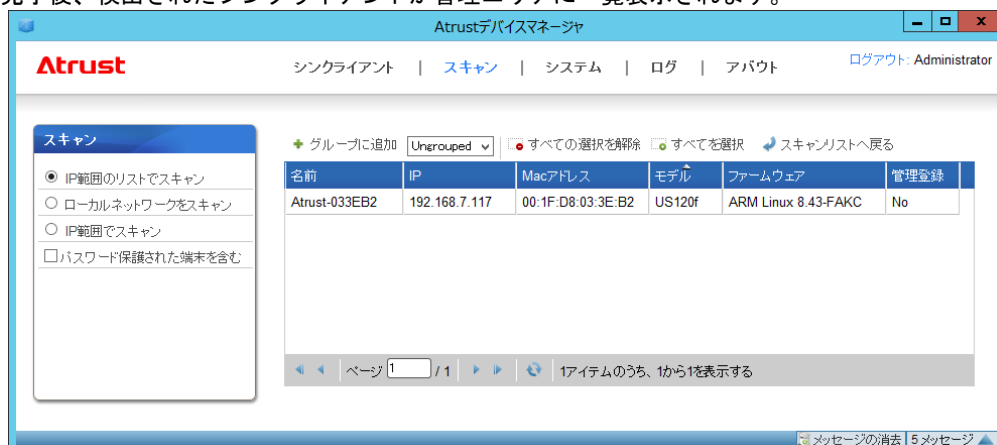
3.5.3 IP 範囲のリストでスキャン

あらかじめ設定した IP 範囲のリストを使用して、管理対象になっていないシンククライアントを検出と管理対象への追加を行うには、以下の手順を実行してください。

1. [スキャン] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [IP 範囲のリストでスキャン] ラジオボタンをクリックしてオンにします。
3. 管理エリアに IP 範囲のリスト一覧が表示されます。
4. IP 範囲のリストをクリックして選択した後、「スキャン」をクリックして管理対象になっていないシンククライアントを範囲内で検索します。



5. 完了後、検出されたシンククライアントが管理エリアに一覧表示されます。



9. シンククライアント一覧から管理対象に追加したいシンククライアントを選択します。
10. シンククライアント一覧の上にあるドロップダウンメニューから追加先のシンククライアントグループを選択し、「グループに追加」をクリックします。

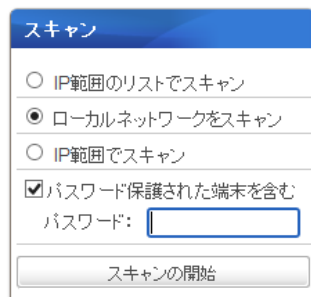


1 つのシンククライアントグループに登録するクライアント数は 1,000 台以下としてください。

6. シンククライアントグループ (Ungrouped を含む) への追加に成功すると、シンククライアントは ADM で管理されます。

3.6 パスワード保護された端末を含むスキャン

パスワード保護された端末を含んでスキャンを実行する場合にチェックを入れます。チェックを入れると、パスワードの入力エリアが表示されます。端末に設定されているパスワードを入力後、「スキャンの開始」ボタンをクリックします。



1 つのシンクライアントグループに登録するクライアント数は 1,000 台以下としてください。



- ・ 「パスワード保護された端末を含む」オプションは、各スキャンタスクと組み合わせて利用できます。
- ・ パスワード保護については、本書の「第 3 章 2.11 管理端末でのパスワード保護の設定」を参照してください。

4. 「シンククライアント」タブ

「シンククライアント」タブは、シンククライアントの表示、設定および管理に役立ちます。

4.1 「シンククライアント」タブの概要

図4 「シンククライアント」タブの概要



| 番号 | 使用可能なタスク | 参照先 |
|----|-------------------------------|--------------------------|
| 1 | シンククライアントグループの作成 | 第3章 4.2 シンククライアントグループの管理 |
| 2 | シンククライアントグループ名の変更 | |
| 3 | シンククライアントグループの削除 | |
| 4 | シンククライアントグループの移動 | |
| 5 | シンククライアントグループからシンククライアントを削除 | |
| 6 | プロフィールグループの作成 | 第3章 4.5 プロファイルグループの管理 |
| 7 | プロフィールグループ名の変更 | |
| 8 | プロフィールグループの削除 | |
| 9 | グループプロフィールの作成と適用 | 第3章 4.6 グループプロフィールの管理 |
| 10 | グループプロフィールの編集 | |
| 11 | グループプロフィールのコピー | |
| 12 | グループプロフィールの移動 | |
| 13 | グループプロフィールの削除 | |
| 14 | 個別プロフィールの管理 | 第3章 4.7 個別プロフィールの管理 |
| 15 | ハイブリッドプロフィールの使用 | 第3章 4.8 ハイブリッドプロフィールの使用 |
| 16 | シンククライアントへプロフィールを反映する | 第3章 4.9 プロファイルの反映 |
| 17 | シンククライアントグループへプロフィールを反映する | |
| 18 | すべてのシンククライアントグループへプロフィールを反映する | |

| 番号 | 使用可能なタスク | 参照先 |
|----|--|---|
| 19 | シンククライアントからプロファイルを取得する | 第3章 4.10 プロファイルの取得 |
| 20 | シンククライアントグループからプロファイルを取得する | |
| 21 | すべてのシンククライアントグループからプロファイルを取得する | |
| 22 | 証明書の反映 | 第3章 4.11 証明書の反映 |
| 23 | メッセージの送信 | 第3章 4.12 メッセージの送信 |
| 24 | シンククライアントの基本情報の編集または表示 | 第3章 4.13 基本情報の編集または表示 |
| 25 | シンククライアントを再起動する | 第3章 4.14 再起動 |
| 26 | シンククライアントグループを再起動する | |
| 27 | すべてのシンククライアントグループで再起動 | |
| 28 | シンククライアントをシャットダウンする | 第3章 4.15 シャットダウン |
| 29 | シンククライアントグループをシャットダウンする | |
| 30 | すべてのシンククライアントグループをシャットダウンする | |
| 31 | シンククライアントを Wake On LAN する | 第3章 4.16 Wake On LAN |
| 32 | シンククライアントグループを Wake On LAN する | |
| 33 | すべてのシンククライアントグループを Wake On LAN する | |
| 34 | シンククライアントのファームウェアを更新する | 第3章 4.17 ファームウェア更新 |
| 35 | シンククライアントグループでファームウェアを更新する | |
| 36 | WES パッケージのインストールとアンインストール | 第3章 4.18 WES パッケージのインストールとアンインストール |
| 37 | シンククライアントからスナップショットを取得する | 第3章 4.19 スナップショットの取得 |
| 38 | シンククライアントへスナップショットをインストール | 第3章 4.20 スナップショットのインストール |
| 39 | シャドウ機能の使用 | 第3章 4.21 シャドウ機能の使用 |
| 40 | シンククライアントデータのエクスポート | 第3章 4.22 シンククライアントデータのエクスポート |
| 41 | クイックサーチを使用したプロファイル、シンククライアント、イベントログの検索 | 第3章 4.23 クイックサーチを使用したプロファイル、シンククライアント、イベントログの検索 |
| 42 | フィルターの追加 | 第3章 4.24 フィルターを使用したシンククライアントの検索 |
| 43 | フィルターの使用 | |
| 44 | フィルターの削除 | |
| 45 | フィルターの編集 | |

4.2 シンククライアントグループの管理

管理しやすいようにクライアントをまとめるためのシンククライアントグループを作成できます。

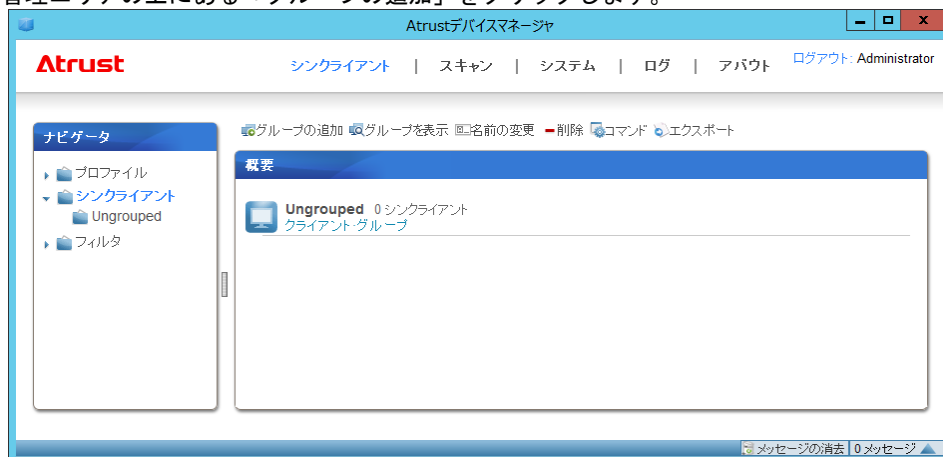


デフォルトのシンククライアントグループは、Ungrouped です。シンククライアントグループは、必要に応じて変更できます。

4.2.1 シンククライアントグループの作成

シンククライアントグループを作成するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] をクリックします。
3. 管理エリアの上にある「グループの追加」をクリックします。



4. 「シンククライアントグループの追加」ダイアログが表示されます。シンククライアントグループの名前を入力します。



5. 「OK」 ボタンをクリックします。
6. 新しく作成したシンククライアントグループがシンククライアントグループ一覧に表示されます。



4.2.2 シンククライアントグループ名の変更

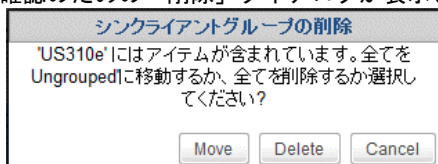
シンククライアントグループの名前を変更するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] をクリックします。
3. 管理エリアにシンククライアントグループ一覧が表示されます。
4. 名前を変更するシンククライアントグループをクリックして選択します。
5. シンククライアントグループ一覧の上にある「名前の変更」をクリックします。
6. 選択したシンククライアントグループの名前を変更する「名前の変更」ダイアログが表示されます。
7. シンククライアントグループの新しい名前を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

4.2.3 シンククライアントグループの削除

シンククライアントグループを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] をクリックします。
3. 管理エリアにシンククライアントグループ一覧が表示されます。
4. クライアントグループ一覧から、削除するシンククライアントグループをクリックして選択します。
5. シンククライアントグループ一覧の上にある「削除」をクリックします。
6. 確認のための「削除」ダイアログが表示されます。



- ・シンククライアントグループに登録されている管理端末を“Ungrouped”に移動させる場合は、[Move] をクリックします。
- ・シンククライアントグループに登録されている管理端末も含めて削除する場合は、[Delete] をクリックします。
- ・ADM からシンククライアントを削除すると、シンククライアントは ADM の管理から外れます。

7. シンククライアントグループが削除されます。

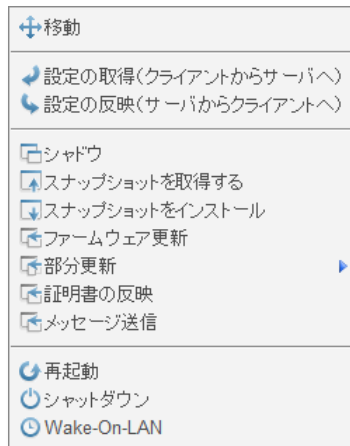
4.2.4 シンククライアントグループの移動

シンククライアントを別のシンククライアントグループへ移動するには、以下の手順を実行してください。

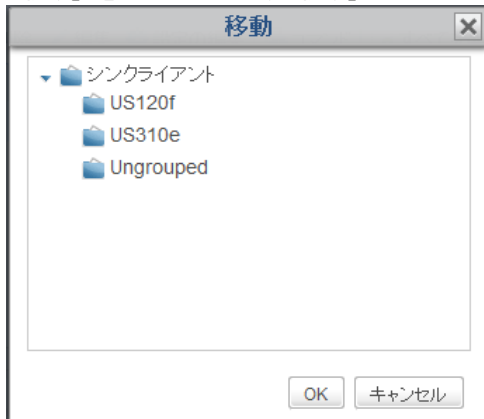


1 つのシンククライアントグループに登録するクライアント数は 1,000 台以下としてください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] をクリックします。
3. 移動させたいシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを展開します。
4. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。
5. シンククライアント一覧から移動させたいシンククライアントを選択します。シンククライアント一覧では、複数選択が可能です。「Ctrl」を押しながらシンククライアントを選択するか、「すべてを選択」を使用します。
6. シンククライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックして、「コマンド」メニューを開きます。



7. 「移動」をクリックして、「移動」ダイアログを開きます。



8. 移動先のシンククライアントグループを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

4.2.5 シンククライアントグループからシンククライアントを削除

シンククライアントグループからシンククライアントを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] をクリックします。
3. 削除するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを展開します。
4. シンククライアント一覧から削除するシンククライアントを選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「削除」をクリックします。
6. 確認のためのメッセージが表示されます。
7. 「OK」ボタンをクリックします。



ADM からシンククライアントを削除すると、シンククライアントは ADM の管理から外れます。

4.3 ステータスアイコン







シンククライアントグループまたはフィルターのシンククライアント一覧では、シンククライアントの現在の状態を示すアイコンが、各シンククライアントの左に表示されています。

| <div> <div>削除</div> <div>編集</div> <div>設定の編集</div> <div>コマンド</div> <div>すべてを選択</div> <div>すべての選択を解除</div> <div>エクスポート</div> </div> | | | | | | | |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|---------------------|--------|----|
| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル | 操作 |
|  | Atrust-033EB2 | 192.168.7.117 | 00:1F:D8:03:3E:B2 | US120f | ARM Linux 8.43-FAKC | N/A | |
|  | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A | |




フィルターを使用すると、ADM で特定の条件に合うシンククライアントだけを表示し、これらを管理できます。フィルター機能の詳細は、本書の「第3章 4.24 フィルターを使用したシンククライアントの検索」を参照してください。







ステータスアイコンは、シンククライアントの状態に応じて変化します。
以下の 6 種類のアイコンが提供されています。

| ステータスアイコンの理解 | | |
|--------------|---|--|
| 状態 | アイコン | 説明 |
| オンライン |  | シンククライアントの電源がオン、かつネットワークに接続された状態であることを示しています。 |
| オフライン |  | シンククライアントの電源がオフ、あるいはネットワーク上で検出されていない状態であることを示しています。 |
| 要再起動 |  | 変更内容を反映するため、シンククライアントの再起動が必要であることを示しています。 |
| 変更あり |  | ADM でプロファイルが変更されており、シンククライアントに設定内容を反映する必要があることを示します。 |
| 設定配信済み |  | ADM から設定内容をシンククライアントに配信したことを示します。 |
| 不明 |  | 以前管理登録されていたシンククライアントが、現在は管理登録されていないことを示します。 |



変更ありアイコン () のシンククライアントは、グループプロファイルまたは個別プロファイルに変更があり、シンククライアントへ設定内容の反映を待機している状態です。すみやかにシンククライアントへ設定の反映を実行してください。
ステータスアイコンが変更ありのシンククライアントから設定の取得を実行しないでください。



- Windows Embedded ベースのシンククライアントの場合、アイコンは W の文字のアイコンで示されます。 () ()
- Atrust OS (Linux) ベースのシンククライアントの場合、アイコンは L の文字のアイコンで示されます。 () ()
- 設定配信済みアイコン () は、ADM からシンククライアントに設定を配信したことを示すものです。適用の成功 / 失敗を示すものではありません。
- 設定配信済みアイコンは、適用の成否にかかわらず、ADM から設定変更をシンククライアントに送信したことを示します。適用の成否は、ADM 上のポップアップメッセージで確認できます。シンククライアント側で処理が実行されると、シンククライアントは次の状態に移行します。ADM では次の状態のステータスアイコンを表示します。
- シンククライアントにプロファイルの反映と再起動を実行後、ステータスアイコンが要再起動 () のままである場合があります。シンククライアントステータスのアイコンが更新されるまでにしばらく時間が掛かります。

4.4 プロファイルのリモート管理とローカル管理

シンククライアントのプロファイルは、リモートまたはローカルから設定できます。ADM では、ローカルネットワークを介してリモートからプロファイルを管理できます。シンククライアントの Atrust Client Setup (以降 ACS) を使用すると、プロファイルをローカルで管理できます。ACS は、US320f / US310e / US120f に組み込まれているツールです。



アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のための制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名には適用されません。



ローカルでのみ設定可能なプロファイル設定があります。これらの設定は、ACS を使用してローカルで指定します。

US320f / US310e / US120f で設定可能な項目が一部異なります。ADM から設定可能なシンククライアントの設定項目を以下に記載します。











4.4.1 US320f のプロファイル設定項目

ADM から US320f に対して設定可能な項目は以下のとおりです。

| タブ | 設定 | アイコン | 説明 |
|-------------|-------------|------|--|
| アプリケーション | リモートデスクトップ | | リモートデスクトップ接続を設定し、リモートデスクトップの接続エントリをローカルデスクトップに作成できます。 |
| | Citrix ICA | | Citrix ICA 接続を設定し、Citrix ICA 接続エントリをローカルデスクトップに作成できます。 |
| | VMware View | | VMware View 接続を設定し、VMware View 接続エントリをローカルデスクトップに作成できます。 |
| | ウェブブラウザ | | ブラウザ接続を設定し、ブラウザの接続エントリをローカルデスクトップに作成できます。また、ブラウザのグローバル設定を指定できます。 |
| ユーザインターフェース | デスクトップ | | ローカルデスクトップに表示するショートカットを指定できます。 |
| デバイス | USB ストレージ | | USB ストレージデバイスの設定を指定できます。 |
| | オーディオ | | オーディオデバイスの設定を指定できます。 |
| システム | パスワード | | ACS へのアクセス時にパスワードを必要とする設定やシャドウの設定を指定できます。 |
| | アプライアンスモード | | アプライアンスモードを設定できます。アプライアンスモードを有効にすると、シンククライアントは起動時に設定されたセッションに自動接続し、セッションからログオフすると、シンククライアントを自動でシャットダウンすることができます。 |
| システム | UWF | | Unified Write Filter (以降 UWF と表記) 設定を指定できます。 |
| | 詳細 | | 自動登録やステルスモードなどの詳細設定を指定できます。 |

4.4.2 US310e のプロファイル設定項目

ADM から US310e に対して設定可能な項目は以下のとおりです。

| タブ | 設定 | アイコン | 説明 |
|-------------|-------------|---|--|
| アプリケーション | リモートデスクトップ |  | リモートデスクトップ接続を設定し、リモートデスクトップの接続エントリーをローカルデスクトップに作成できます。 |
| | Citrix ICA |  | Citrix ICA の接続を設定し、Citrix ICA 接続エントリーをローカルデスクトップに作成できます。 |
| | VMware View |  | VMware View 接続を設定し、VMware View 接続エントリーをローカルデスクトップに作成できます。 |
| | ウェブブラウザ |  | ブラウザ接続を設定し、ブラウザの接続エントリーをローカルデスクトップに作成できます。また、ブラウザのグローバル設定を指定できます。 |
| ユーザインターフェース | デスクトップ |  | ローカルデスクトップに表示するショートカットを指定できます。 |
| デバイス | USB ストレージ |  | USB ストレージデバイスの設定を指定できます。 |
| | オーディオ |  | オーディオデバイスの設定を指定できます。 |
| システム | パスワード |  | ACS へのアクセス時にパスワードを必要とする設定やシャドウの設定を指定できます。 |
| | アプライアンスモード |  | アプライアンスモードを設定できます。アプライアンスモードを有効にすると、シンククライアントは起動時に設定されたセッションに自動接続し、セッションからログオフすると、シンククライアントを自動でシャットダウンすることができます。 |
| | UWF |  | UWF 設定を指定することができます。 |

4.4.3 US120f のプロファイル設定項目

ADM から US120f に対して設定可能な項目は以下のとおりです。

| タブ | 設定 | アイコン | 説明 |
|-------------|-------------|---|--|
| アプリケーション | リモートデスクトップ |  | リモートデスクトップ接続を設定し、リモートデスクトップの接続エントリをローカルデスクトップと「スタートメニュー」に作成できます。 |
| | Citrix ICA |  | Citrix ICA 接続を設定し、Citrix ICA 接続エントリをローカルデスクトップと「スタートメニュー」に作成できます。 |
| | VMware View |  | VMware View 接続を設定し、VMware View 接続エントリをローカルデスクトップと「スタートメニュー」に作成できます。 |
| | SSH |  | SSH 接続を設定し、SSH 接続エントリをローカルデスクトップと「スタートメニュー」に作成できます。 |
| ユーザインターフェース | 表示 |  | ディスプレイの設定を指定できます。 |
| | デスクトップ |  | ディスプレイとシステム言語の設定を指定できます。 |
| | キーボード |  | キーボードのレイアウト、キーボードの設定を指定できます。 |
| | マウス |  | マウスの設定を指定できます。 |
| | スクリーンセーバー |  | スクリーンセーバーの設定を指定できます。 |
| デバイス | USB ストレージ |  | USB ストレージデバイスの設定を指定できます。 |
| | オーディオ |  | オーディオデバイスの設定を指定できます。 |
| ネットワーク | Hosts |  | ホスト名への IP アドレスのマッピングを作成し、フェールオーバークラスター一覧を作成できます。 |
| | ワイヤレス |  | ワイヤレスネットワーク設定を指定できます。 |
| | プロキシ |  | プロキシ設定を指定できます。 |
| システム | 時刻設定 |  | タイムゾーンやタイムサーバーを設定できます。 |
| | パスワード |  | ACS へのアクセス時にパスワードを必要とする設定やシャドウの設定を指定できます。 |
| | アプライアンスモード |  | アプライアンスモードを設定できます。アプライアンスモードを有効にすると、シンククライアントは起動時に設定されたセッションに自動接続し、セッションからログオフすると、シンククライアントを自動でシャットダウンすることができます。 |
| | オートセットアップ |  | オートセットアップを有効化するとシンククライアントが起動時にプリセット設定を取得し、適切なユーザー環境に自動的に入ることができます。 |

| タブ | 設定 | アイコン | 説明 |
|------|--------|---|-----------------------------|
| システム | クイック接続 |  | クイック接続モードの設定を指定できます。 |
| | ターミナル |  | ターミナル機能を指定できます。 |
| | 詳細 |  | 自動登録やステルスモードなどの詳細設定を指定できます。 |

4.4.4 グループプロファイルと個別プロファイル




ADM は、シンククライアントにグループプロファイルか個別プロファイル、あるいは両方を組み合わせたクライアント設定を適用することができます。グループプロファイルとは、プロファイルグループ内で共有されるクライアント設定です。個別プロファイルとは、1 台のシンククライアントにだけ適用されるクライアント設定です。ハイブリッドプロファイルとは、グループプロファイルと個別プロファイルを組み合わせたクライアント設定を示します。



個別プロファイル用の「設定(シンククライアント)」ウィンドウは、グループプロファイル用の「設定(プロファイル)」ウィンドウとほとんど同じ見た目となりますが、機能は異なるため注意してください。



1 つのプロファイルグループに登録するクライアント数は 1,000 台以下としてください。

4.4.5 設定のロック

ADM では、設定をロックすることができます。ロックした設定をシンククライアントに反映させると、シンククライアント側の ACS の設定値の横に表示されているグレーの鍵アイコン () が、鍵のかかった青の鍵アイコン () またはオレンジの鍵アイコン () に変化します。

青の鍵アイコン () はグループプロファイルでロックされた設定であることを示し、オレンジの鍵アイコン () は個別プロファイルでロックされた設定であることを示します。

プロファイル設定をクライアントローカルの ACS で管理している場合は、設定値をロックすることはできません。

4.5 プロファイルグループの管理

プロファイルグループを利用すると、複数のシンククライアントに対してプロファイルをまとめて指定することができます。

4.5.1 プロファイルグループの作成

プロファイルグループを作成するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] をクリックします。
3. 管理エリアにプロファイルグループ一覧が表示されます。



Ungrouped は、システムデフォルトグループです。

4. プロファイルグループ一覧の上にある「グループの追加」をクリックします。
5. プロファイルグループ名を求める「プロファイルグループを追加」ダイアログが表示されます。
6. プロファイルグループの名前を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



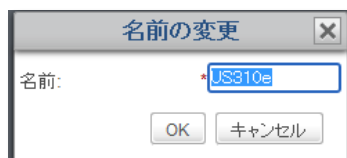
7. 新しく作成したプロファイルグループがプロファイルグループ一覧に表示されます。



4.5.2 プロファイルグループ名の変更

プロファイルグループ名を変更するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] をクリックします。
3. 管理エリアにプロファイルグループ一覧が表示されます。
4. プロファイルグループ一覧から名前を変更するプロファイルグループを選択します。
5. プロファイルグループ一覧の上にある「名前の変更」をクリックします。
6. 新しい名前を求める「名前の変更」ダイアログが表示されます。

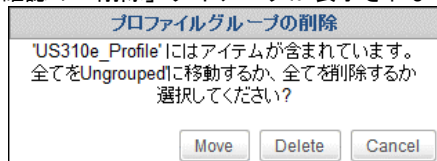


7. プロファイルグループの新しい名前を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

4.5.3 プロファイルグループの削除

プロファイルグループを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] をクリックします。
3. 管理エリアにプロファイルグループ一覧が表示されます。
4. プロファイルグループ一覧から削除するプロファイルグループを選択します。
5. プロファイルグループ一覧の上にある「削除」をクリックします。
6. 確認の「削除」ダイアログが表示されます。



- ・ プロファイルグループ内に登録されているグループプロファイルを “Ungrouped” に移動させる場合は、[Move] ボタンをクリックします。
- ・ プロファイルグループ内に登録されているグループプロファイルも含めて削除する場合は、[Delete] ボタンをクリックします。
- ・ グループプロファイルを削除すると、グループプロファイルに紐づいていたシンククライアントの設定が変更されます。

4.6 グループプロファイルの管理

グループプロファイルは、グループプロファイル内に追加したシンクライアントに共有されるプロファイルです。

4.6.1 グループプロファイルの作成と適用

グループプロファイルをシンクライアントに適用するには、以下の2つの手順が必要です。

手順1: グループプロファイルの作成

手順2: グループプロファイルを適用するシンクライアントの指定

手順1: グループプロファイルの作成

グループプロファイルを作成するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンクライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] を展開し、プロファイルグループを選択します。
3. プロファイル一覧の上にある「追加」をクリックします。



4. 名前、説明、プラットフォーム、モデルを指定する「追加」ダイアログが表示されます。アスタリスクの付いたフィールドは、入力必須です。

The '追加' (Add) dialog box contains the following fields:

- 名前 (Name): Required field (marked with an asterisk).
- 説明 (Description): Optional field.
- プラットフォーム (Platform): Dropdown menu with 'Windows Embedded 8 Standard' selected.
- モデル (Model): Dropdown menu with 'US310e' selected.
- Buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

5. 名前、説明を入力して、プラットフォーム、モデルを選択し、「保存」ボタンをクリックします。
6. グループプロファイル用の「設定(プロファイル)」ウィンドウが表示されます。



アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のみの制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名は適用されません。



- ・ 選択したプラットフォーム、モデルによっては「設定(プロファイル)」ウィンドウに表示される内容が上記の画像と異なる場合があります。本書では例としてモデルに US310e を選択しています。
- ・ グループプロファイル設定用の「設定(プロファイル)」ウィンドウは、シンククライアント上の ACS と同じです。このウィンドウを使用すると、グループプロファイルに登録したシンククライアントの設定を簡単に管理できます。

7. 「設定(プロファイル)」ウィンドウを使用して、グループプロファイルを編集します。
8. 設定完了後、ウィンドウを閉じます。
9. 新しく作成されたグループプロファイルが一覧に追加されます。

追加
 削除
 編集
 設定の編集
 移動
 コピー

| 名前 | プラットフォーム | モデル | 説明 | クライアントの数 |
|---------|-----------------------------|--------|-----|----------|
| ABCグループ | Windows Embedded 8 Standard | US310e | ABC | 0 |

手順 2: グループプロファイルを適用するシンククライアントの指定

グループプロファイルを適用するシンククライアントを指定するには、以下の手順を実行してください。

1. 新しく作成したグループプロファイルをクリックして選択します。
2. グループプロファイル一覧の上にある「編集」をクリックします。
3. 管理エリアに [使用可能なクライアント] と [プロファイル情報] ペインが表示されます。

4. [使用可能なクライアント] ペインの右上にある「クライアントの追加」 () をクリックします。
5. [クライアントを選択します] ウィンドウが表示されます。

6. 矢印をクリックしてツリーを展開し、グループプロファイルを適用するシンククライアントを選択します。グループプロファイルを適用するシンククライアントは、複数選択が可能です。シンククライアントグループ内のすべてのシンククライアントを選択するには、シンククライアントグループを選択します。シンククライアントグループの中から複数のシンククライアントを選択するには、「Ctrl」を押しながらシンククライアントを選択します。

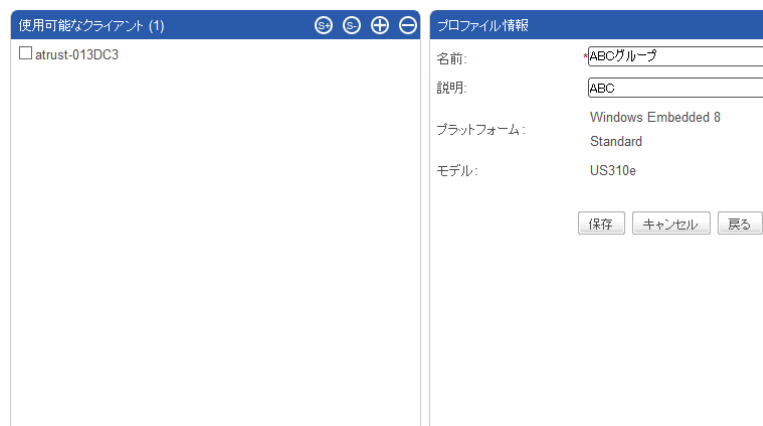


1 つのプロファイルグループに登録するクライアント数は 1,000 台以下としてください。



- ・ ツリービューには、[シンククライアント] タブで設定したシンククライアントグループと個々のシンククライアントが表示されます。シンククライアントグループの作成およびシンククライアントグループへのシンククライアントの追加手順の詳細は、本書の「第 3 章 4.2 シンククライアントグループの管理」と「第 3 章 3.2 シンククライアントの検出と管理」を参照してください。
- ・ 1 つのシンククライアントは、1 つのグループプロファイルだけに所属することができます。新しいグループプロファイルにシンククライアントを所属させると、元のグループプロファイルから自動的に削除されます。
- ・ シンククライアントをグループプロファイルに所属させても、クライアント設定は直ちに更新されません。更新を反映させるには、シンククライアントに「設定を反映」を実行する必要があります。設定によっては反映後にシンククライアントを再起動させる必要があります。プロファイルをシンククライアントに反映する手順の詳細は、本書の「第 3 章 4.9 プロファイルの反映」を参照してください。

7. 完了後、「OK」ボタンをクリックして使用可能なクライアントに追加します。
8. [プロファイル情報] ペインの「保存」ボタンをクリックします。



4.6.2 グループプロファイルの編集

グループプロファイルを編集するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンクライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] を展開し、編集するグループプロファイルが登録されているプロファイルグループを選択します。
3. 管理エリアにグループプロファイル一覧が表示されます。

追加
 削除
 編集
 設定の編集
 移動
 コピー

| 名前 | プラットフォーム | モデル | 説明 | クライアントの数 |
|---------|-----------------------------|--------|-----|----------|
| ABCグループ | Windows Embedded 8 Standard | US310e | ABC | 0 |

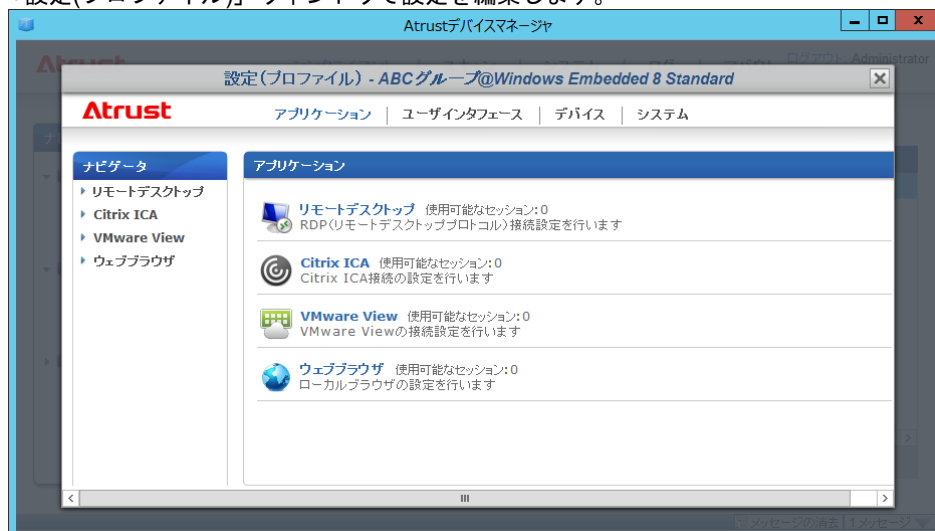
4. 編集するグループプロファイルを選択します。
5. 「設定の編集」をクリックしてグループプロファイルを編集、または「編集」をクリックしてグループプロファイルを適用するシンクライアントを編集します。




グループプロファイルを適用するシンクライアントを編集するには、各アイコン ()、()、()、() を使用します。変更後は、「保存」ボタンをクリックします。

| ボタン | 説明 |
|-----|--|
| | 使用可能なクライアント一覧のすべてのシンクライアントを選択する場合にクリックします。 |
| | 使用可能なクライアント一覧のシンクライアントの選択をすべて解除する場合にクリックします。 |
| | 新しいシンクライアントをグループプロファイルへ追加する場合にクリックします。 |
| | 選択したシンクライアントをグループプロファイルから削除する場合にクリックします。 |


6. 「設定(プロファイル)」ウィンドウで設定を編集します。



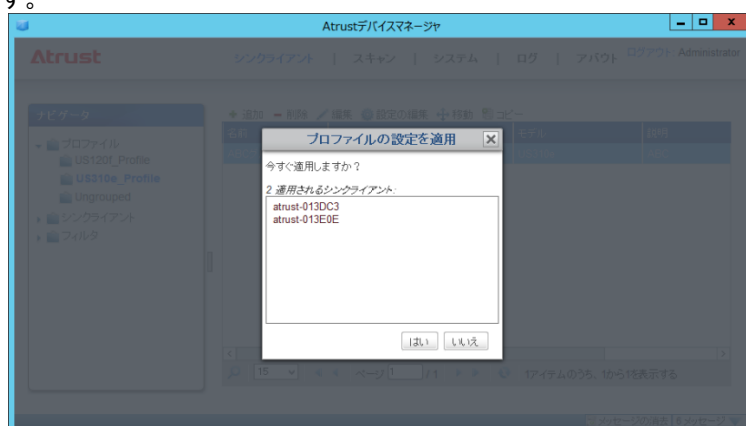
アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のみの制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名は適用されません。


7. 設定を編集するには、各設定項目の右にあるグレーのアイコン () をクリックし、その項目を有効化します。



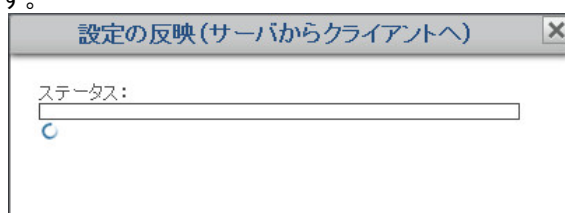
- ・項目を有効化すると、アイコンが青色 () になります。
- ・グループプロファイルをシンククライアントに反映させると、アイコンが青色になっている項目が ACS 上でロックされ、シンククライアント側で変更できなくなります。

8. 設定の編集後、設定ページの下にある「保存」ボタンをクリックし、変更した設定を保存します。
9. 手順 7.~8. を繰り返し、編集したい設定を変更します。
10. すべての編集が完了したら、「設定(プロファイル)」ウィンドウを終了します。
11. 「設定(プロファイル)」ウィンドウを終了すると、「プロファイルの設定を適用」ウィンドウが表示されます。

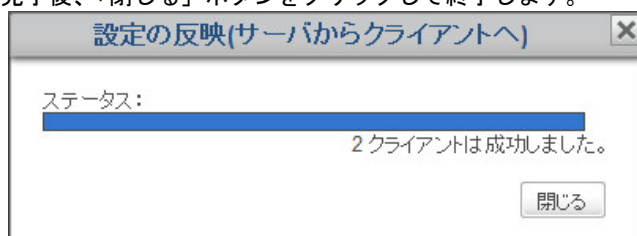


「いいえ」ボタンをクリックし、グループプロファイルの設定を適用しなかった場合、シンククライアントのステータスアイコンは変更あり () の状態になります。これはシンククライアントへの設定の反映を待機している状態です。すみやかにシンククライアントへ設定を反映してください。ステータスが変更ありのシンククライアントに対し、シンククライアントから設定の取得を実行しないでください。

12. 「はい」ボタンをクリックします。
13. 設定の反映の進捗と結果を示す「設定の反映(サーバーからクライアントへ)」ダイアログが表示されます。



14. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



15. 設定を反映させたシンククライアントの左に表示されているステータスアイコンで、シンククライアントのステータスを確認します。必要に応じてシンククライアントを再起動し、設定の反映を完了します。

4.6.3 グループプロファイルのコピー

グループプロファイルのコピーするには、以下の手順を実行してください。

1. [シンクライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] を展開し、コピーするグループプロファイルが登録されているプロファイルグループを選択します。
3. 管理エリアにグループプロファイル一覧が表示されます。

追加 削除 編集 設定の編集 移動 コピー

| 名前 | プラットフォーム | モデル | 説明 | クライアントの数 |
|---------|-----------------------------|--------|-----|----------|
| ABCグループ | Windows Embedded 8 Standard | US310e | ABC | 0 |

4. コピーするグループプロファイルを選択します。
5. グループプロファイル一覧の上にある「コピー」をクリックします。
6. 名前、説明、プロファイルグループを指定する「コピー」ダイアログが表示されます。アスタリスクの付いたフィールドは、入力必須です。

7. 名前、説明を入力し、コピー先のプロファイルグループを選択して「保存」ボタンをクリックします。本書ではコピー先のプロファイルグループとして Ungrouped を選択しています。

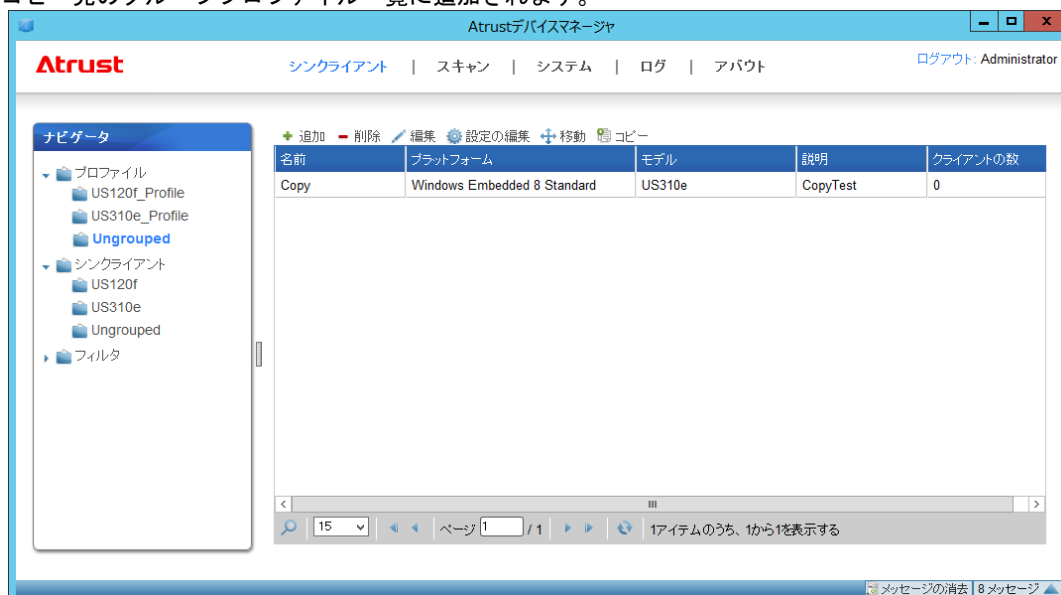
8. コピー先のグループプロファイル用の「設定(プロファイル)」ウィンドウが表示されます。



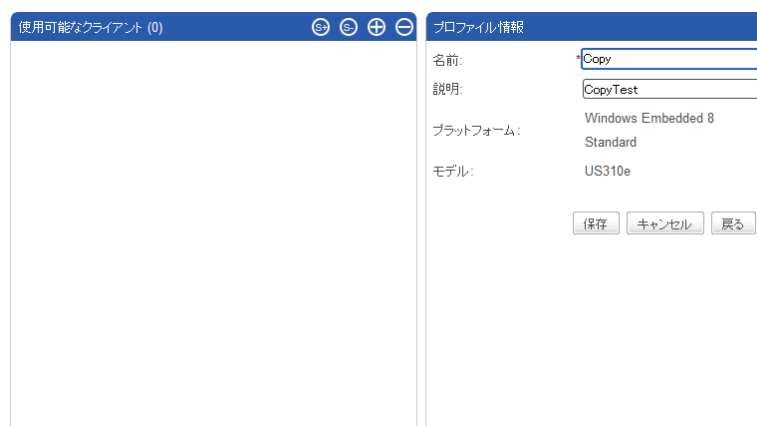


アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のための制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名は適用されません。

9. 設定の変更が完了後、ウィンドウを閉じます。
10. コピー先のグループプロフィール一覧に追加されます。

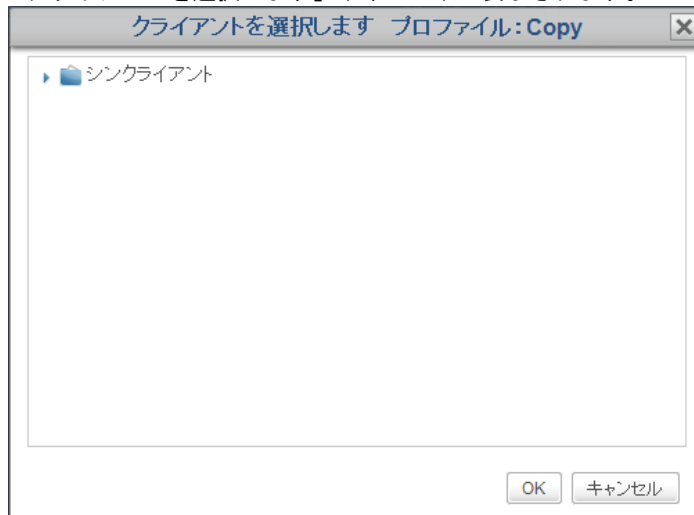


11. 新しく作成したグループプロフィールを選択します。
12. グループプロフィール一覧の上にある「編集」をクリックします。
13. 管理エリアに [プロフィール情報] と [使用可能なクライアント] ペインが表示されます。



14. [使用可能なクライアントペインの右上にある「クライアントの追加」(+) をクリックします。

15. 「クライアントを選択します」ウィンドウが表示されます。



16. 矢印をクリックしてツリーを展開し、グループプロファイルを適用するクライアントを選択します。



17. 完了後、「OK」ボタンをクリックします。

18. [プロファイル情報] ペインの「保存」ボタンをクリックし、使用可能なクライアントの設定を完了します。



4.6.4 グループプロファイルの移動

グループプロファイルを別のプロファイルグループに移動するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] を展開し、移動するグループプロファイルが登録されているプロファイルグループを選択します。
3. 管理エリアにグループプロファイル一覧が表示されます。

+ 追加
 - 削除
 ✎ 編集
 ⚙ 設定の編集
 ⇄ 移動
 📋 コピー

| 名前 | プラットフォーム | モデル | 説明 | クライアントの数 |
|---------|-----------------------------|--------|-----|----------|
| ABCグループ | Windows Embedded 8 Standard | US310e | ABC | 0 |

4. 移動するグループプロファイルを選択します。
5. グループプロファイル一覧の上にある「移動」をクリックします。
6. 「移動」ウィンドウが表示されます。

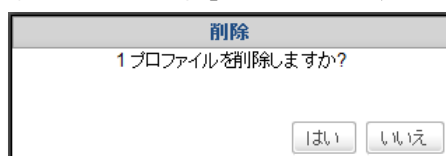


7. 移動先のプロファイルグループを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

4.6.5 グループプロファイルの削除

プロファイルグループからグループプロファイルを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [プロファイル] を展開し、削除するグループプロファイルが登録されているプロファイルグループを選択します。
3. 管理エリアにグループプロファイル一覧が表示されます。
4. 削除するグループプロファイルをクリックして選択します。
5. グループプロファイル一覧の上にある「削除」をクリックします。
6. 確認のための「削除」ダイアログが表示されます。



7. 「はい」ボタンをクリックします。



グループプロファイルを削除すると、グループプロファイルに所属していたシンククライアントのプロファイルが変更されます。

4.7 個別プロファイルの管理




個別プロファイルとは、1 台のシンククライアントにだけ適用されるシンククライアント設定です。シンククライアントに個別プロファイルを適用するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、シンククライアント設定を行うシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。
4. シンククライアント設定を行うシンククライアントをクリックして選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「設定の編集」をクリックします。
6. 個別プロファイル用の「設定(シンククライアント)」ウィンドウが表示されます。このウィンドウを使用して個別プロファイルを編集します。

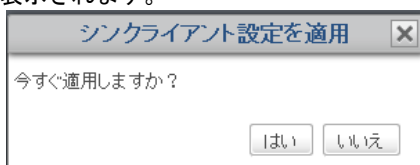


アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のみの制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名は適用されません。




- ・ 各設定項目近くにある鍵アイコンが青色 () になっている項目は、グループプロファイルで設定されています。「設定(シンククライアント)」ウィンドウで編集することはできません。
- ・ 各設定項目の右にあるグレーの鍵アイコン () をクリックすると、その項目をロックすることができます。項目をロックすると鍵アイコンがオレンジ色 () になります。
- ・ 個別プロファイルをシンククライアントに反映させると、鍵アイコンがオレンジ色になっている設定は、シンククライアント側の ACS から変更できなくなります。

7. 設定の編集後、設定ページの下にある「保存」ボタンをクリックし、変更した内容を保存します。
8. 手順 6.~7. を繰り返し、編集したい設定を変更します。
9. 完了後、ウィンドウを閉じます。
10. シンククライアント設定を適用するタイミング確認のための「シンククライアント設定を適用」ダイアログが表示されます。

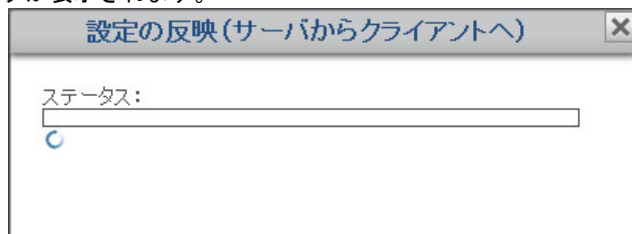


11. 「はい」ボタンをクリックして今すぐ適用するか、「いいえ」ボタンをクリックして後で適用します。ここでは「はい」ボタンをクリックします。

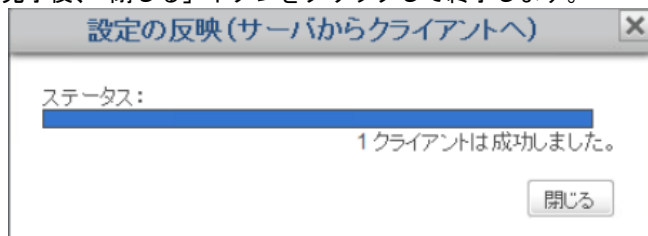


「いいえ」ボタンをクリックし、個別プロファイルの設定を反映しなかった場合、シンクライアントのステータスアイコンは変更あり () の状態になります。これはシンクライアントへ設定内容の反映を待機している状態です。すみやかにシンクライアントへ設定の反映を実行してください。ステータスが変更ありのシンクライアントに対し、シンクライアントから設定の取得を実行しないでください。

12. シンクライアント設定の反映の進捗と結果を示す「設定の反映(サーバーからクライアントへ)」ダイアログが表示されます。



13. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



14. シンクライアントの左に表示されているステータスアイコンで、シンクライアントのステータスを確認します。必要に応じてシンクライアントを再起動し、シンクライアント設定の反映を完了します。

4.8 ハイブリッドプロファイルの使用

ハイブリッドプロファイルは、グループプロファイルと個別プロファイルを組み合わせたものです。
ハイブリッドプロファイルの使用手順は、以下の 2 つの手順で簡単に示すことができます。

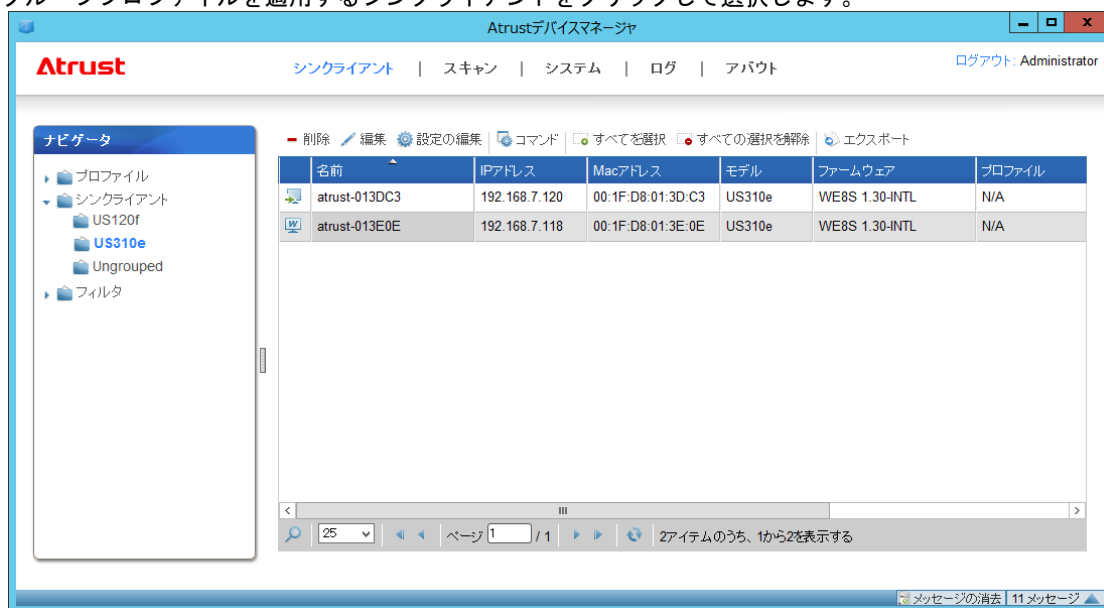
手順 1:シンククライアントへのグループプロファイルの適用

手順 2:シンククライアントへの個別プロファイルの適用

手順 1:シンククライアントへのグループプロファイルの適用

シンククライアントにグループプロファイルを適用するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、グループプロファイルを適用するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。
4. グループプロファイルを適用するシンククライアントをクリックして選択します。



5. シンククライアント一覧の上にある「編集」をクリックします。
6. 管理エリアに [シンククライアント情報] ペインが表示されます。



7. [プロファイル] ドロップダウンメニューをクリックして、適用するグループプロファイルを選択します。

シンククライアント情報 - (atrust-013E0E)

名前: atrust-013E0E

説明:

プロファイル: プロファイルはありません

資産 ID: ABCグループ

Copy

保存 キャンセル 戻る

IPアドレス: 192.168.7.118

MACアドレス: 00:1F:D8:01:3E:0E

シリアル番号: NA

モデル名: US310e

前回の起動時間: 2017-03-02 17:00:33

ファームウェア: WEBS 1.30-INTL

| 名前 | バージョン | インストールした日時 |
|---------------------------|-------|--------------------------------|
| Japanese Language Package | 1.4 | 2017-03-02 06:56:55(UTC+09:00) |

8. 「保存」ボタンをクリックします。



[シンククライアント]-[プロファイル] からグループプロファイルにシンククライアントを紐づけることもできます。詳しくは、本書の「第3章 4.5 プロファイルグループの管理」を参照してください。

手順2:シンククライアントへの個別プロファイルの適用

次に、シンククライアントに個別プロファイルを適用するには、以下の手順を実行してください。


1. シンククライアント一覧から個別プロファイルを適用するシンククライアントを選択します。
2. シンククライアント一覧の上にある「設定の編集」をクリックします。
3. 選択したシンククライアントの個別プロファイルを編集します。



アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のみの制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名は適用されません。

4. 完了後、ウィンドウを閉じます。
5. クライアント設定を適用するタイミング確認のための「シンククライアント設定を適用」ウィンドウが表示されます。
6. 「はい」ボタンをクリックして今すぐ適用するか、「いいえ」ボタンをクリックして後で適用します。



「いいえ」ボタンをクリックし、個別プロファイルの設定の適用しなかった場合、シンククライアントのステータスアイコンは変更あり () の状態になります。これはシンククライアントへ設定の反映を待機している状態です。すみやかにシンククライアントへ設定の反映を実行してください。ステータスが変更ありのシンククライアントに対し、シンククライアントから設定の取得を実行しないでください。

4.9 プロファイルの反映

「設定の反映」機能を使用すると、ADM のプロファイル設定をシンククライアント上の ACS 設定に同期できます。同期後は、ローカルネットワークを介して ADM からリモートでクライアント設定を管理できます。

選択したシンククライアントに電源が入っており、オンライン状態であることを確認します。電源が入っていない、あるいはオンライン状態ではないシンククライアントにはプロファイルを反映できません。シンククライアントの状態は、シンククライアントの左に表示されているステータスアイコンから確認できます。ステータスアイコンの詳細は、本書の「第3章 4.3 ステータスアイコン」を参照してください。

4.9.1 シンククライアントへプロファイルを反映する

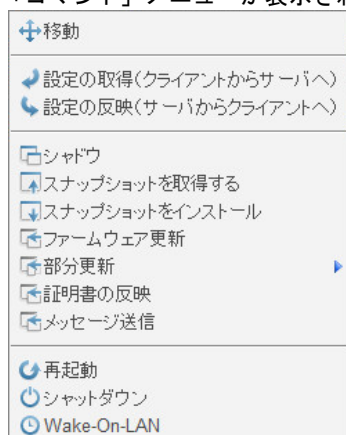
1 台のシンククライアントへプロファイルを反映するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、プロファイルを反映させるシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

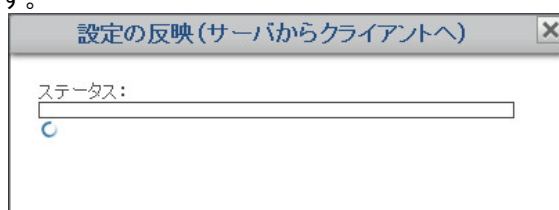
削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

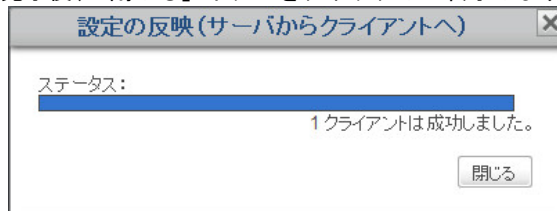
4. プロファイルを反映させるシンククライアントをクリックして選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。



7. 「設定の反映(サーバーからクライアントへ)」を選択します。
8. 確認のためのダイアログが表示されます。
9. 「OK」ボタンをクリックします。
10. [設定の反映] の進捗と結果を示す「設定の反映(サーバーからクライアントへ)」ダイアログが表示されます。



11. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。

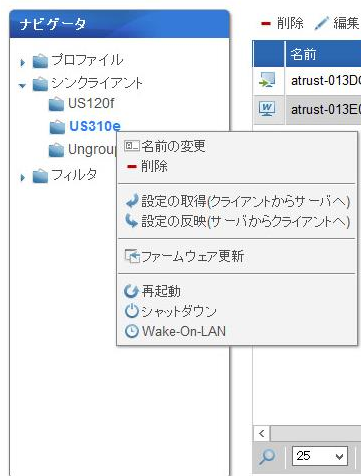


12. シンククライアントの左に表示されているステータスアイコンで、シンククライアントのステータスを確認します。必要に応じてシンククライアントを再起動し、プロファイルの反映を完了させます。

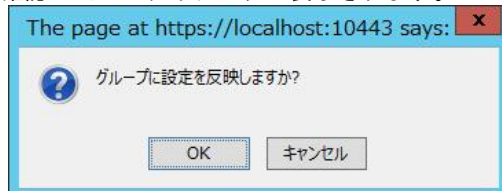
4.9.2 シンククライアントグループへプロファイルを反映する

- 1 つのシンククライアントグループへプロファイルを反映するには、以下の手順を実行してください。

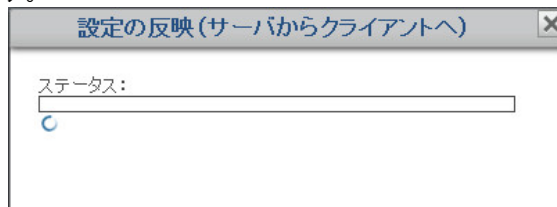
1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアからプロファイルを反映するシンククライアントグループを右クリックしてメニューを開き、「設定の反映(サーバからクライアントへ)」を選択します。



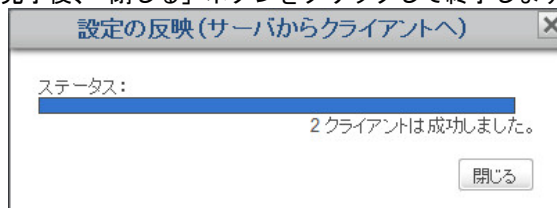
3. 確認のためのダイアログが表示されます。



4. 「OK」ボタンをクリックします。
5. [設定の反映] の進捗と結果を示す「設定の反映(サーバからクライアントへ)」ダイアログが表示されます。



6. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。

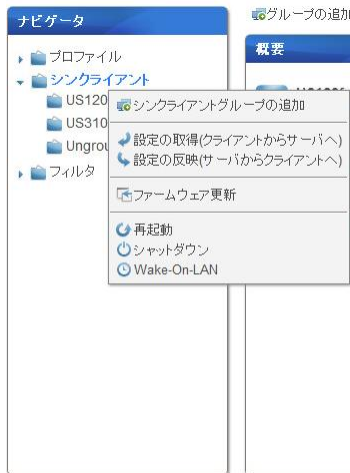


7. シンククライアントの左に表示されているステータスアイコンで、シンククライアントグループ内のシンククライアントのステータスを確認します。必要に応じてシンククライアントを再起動し、プロファイルの反映を完了させます。

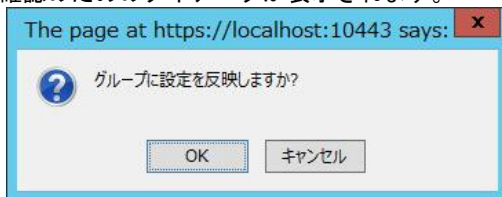
4.9.3 すべてのシンククライアントグループへプロファイルを反映する

すべてのシンククライアントグループへプロファイルを反映するには、以下の手順を実行してください。

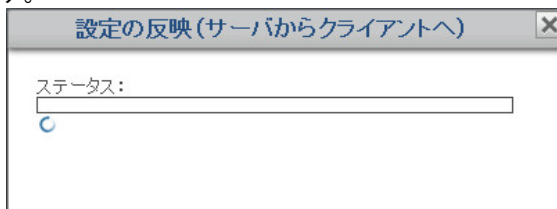
1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアの「シンククライアント」を右クリックして、メニューを開きます。



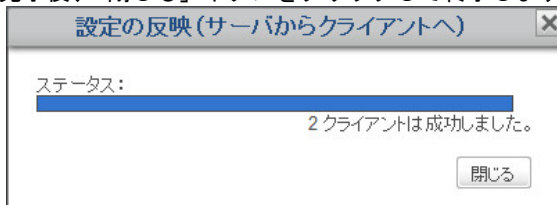
3. 「設定の反映(サーバからクライアントへ)」を選択します。
4. 確認のためのダイアログが表示されます。



5. 「OK」ボタンをクリックします。
6. [設定の反映] の進捗と結果を示す「設定の反映(サーバからクライアントへ)」ダイアログが表示されます。



7. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



8. シンククライアントの左に表示されているステータスアイコンで、シンククライアントのステータスを確認します。必要に応じてシンククライアントを再起動し、プロファイルの反映を完了させます。

4.10 プロファイルの取得


「設定の取得」機能を使用すると、シンククライアント上の ACS 設定を ADM のプロファイル設定に同期できます。同期後は、ローカルネットワークを介して ADM からリモートでシンククライアント設定を管理できます。

4.10.1 シンククライアントからプロファイルを取得する


1 台のシンククライアントからプロファイルを取得するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、プロファイルを取得するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

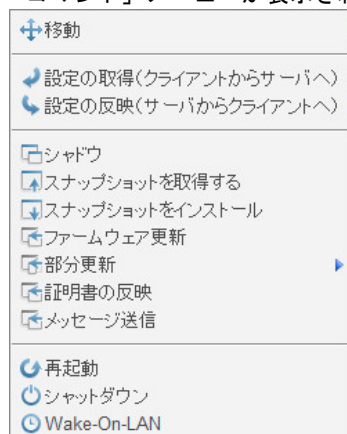
削除 編集 設定の編集 コマンド ☐ すべてを選択 ☐ すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル |
|---|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
|  | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
|  | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |



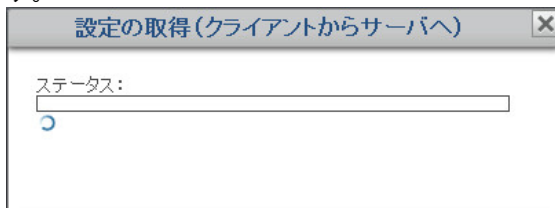
変更ありアイコン () のシンククライアントは、グループプロファイルまたは個別プロファイルに変更があった事を示し、シンククライアントへ設定の反映を待機している状態です。すみやかにシンククライアントへ設定の反映を実行してください。ステータスアイコンが変更ありのシンククライアントに対し、シンククライアントから設定の取得を実行しないでください。

4. プロファイルを取得するシンククライアントを選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

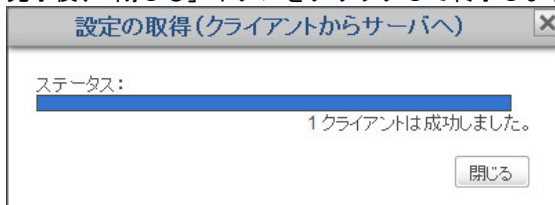


7. 「設定の取得(クライアントからサーバーへ)」を選択します。
8. 確認のためのダイアログが表示されます。
9. 「OK」 ボタンをクリックします。

10. [設定の取得] の進捗と結果を示す「設定の取得(クライアントからサーバー)」ダイアログが表示されます。



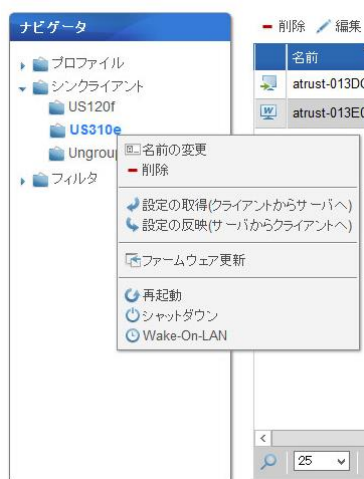
11. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。




4.10.2 シンクライアントグループからプロファイルを取得する

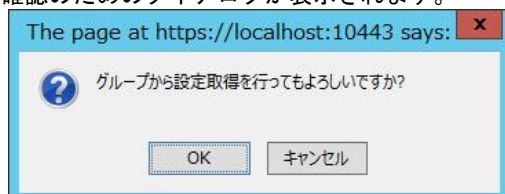
1 つのシンクライアントグループからプロファイルを取得するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンクライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアからプロファイルを取得するクライアントグループを右クリックしてメニューを開き、「設定の取得(クライアントからサーバー)」を選択します。



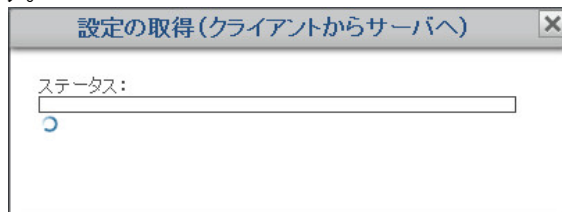
変更ありアイコン () のシンクライアントは、グループプロファイルまたは個別プロファイルに変更があった事示し、シンクライアントへ設定の反映を待機している状態です。すみやかにシンクライアントへ設定の反映を実行してください。ステータスアイコンが変更ありのシンクライアントに対し、シンクライアントから設定の取得を実行しないでください。

3. 確認のためのダイアログが表示されます。

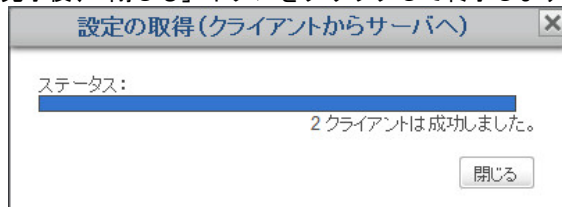


4. 「OK」ボタンをクリックします。

5. [設定の取得] の進捗と結果を示す「設定の取得(クライアントからサーバーへ)」ダイアログが表示されます。



6. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



4.10.3 すべてのシンクライアントグループからプロファイルを取得する


すべてのシンクライアントグループからプロファイルを取得するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンクライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアの「シンクライアント」を右クリックして、メニューを開きます。

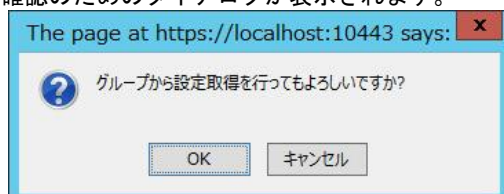


3. 「設定の取得(クライアントからサーバーへ)」を選択します。



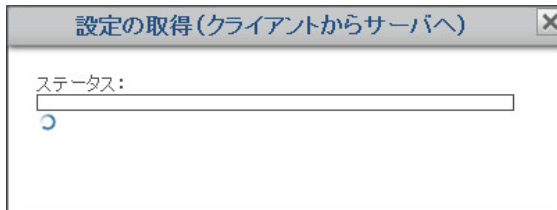
変更ありアイコン () のシンクライアントは、グループプロファイルまたは個別プロファイルに変更があった事を示し、シンクライアントへ設定の反映を待機している状態です。すみやかにシンクライアントへ設定の反映を実行してください。ステータスアイコンが変更ありのシンクライアントに対し、シンクライアントから設定の取得を実行しないでください。

4. 確認のためのダイアログが表示されます。

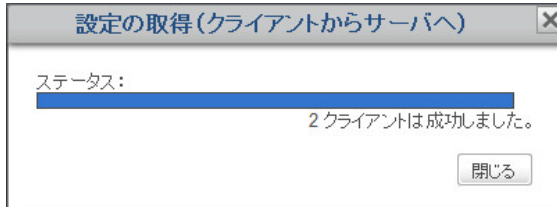


5. 「OK」ボタンをクリックします。

6. [設定の取得] の進捗と結果を示す「設定の取得(クライアントからサーバーへ)」ダイアログが表示されます。



7. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



4.1.1 証明書の反映

ADM にインポートした証明書をシンククライアントに反映することができます。本機能を利用するには、ADM に証明書をインポートする必要があります。証明書のインポートについては、本書の「第 3 章 2.6 証明書の管理」を参照してください。

選択したシンククライアントに電源が入っており、オンライン状態であることを確認します。電源が入っていない、あるいはオンライン状態ではない一部のシンククライアントには証明書を反映できません。シンククライアントの状態は、シンククライアントの左に表示されているステータスアイコンから確認できます。ステータスアイコンの詳細は、本書の「第 3 章 4.3 ステータスアイコン」を参照してください。



証明書の反映は US120f のみでサポートされる機能です。US320f / US310e ではサポートされません。

証明書をシンククライアントに反映するには、以下の手順を実行してください。



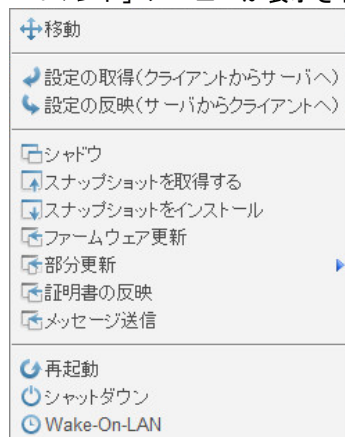
ADM にインポートされているすべての証明書がシンククライアントに反映されます。反映させる証明書を選択することはできません。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、証明書の反映を行うシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

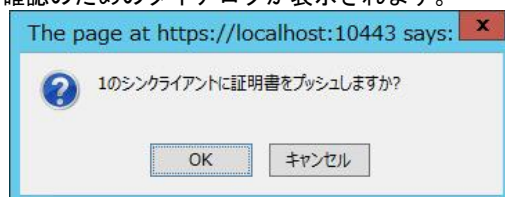
削除 編集 設定の編集 コマンド ☐ すべての選択 ☐ すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール |
|--|---------------|---------------|------------------|--------|---------------------|--------|
| | Atrust-033EB2 | 192.168.7.117 | 00:1F:D8:03:E:B2 | US120f | ARM Linux 8.43-FAKC | N/A |
| | Atrust-033ED2 | 192.168.7.111 | 00:1F:D8:03:E:D2 | US120f | ARM Linux 8.43-IACK | N/A |

4. 証明書を反映するシンククライアントを選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

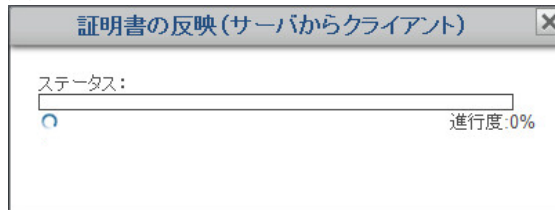


7. 「証明書の反映」を選択します。
8. 確認のためのダイアログが表示されます。

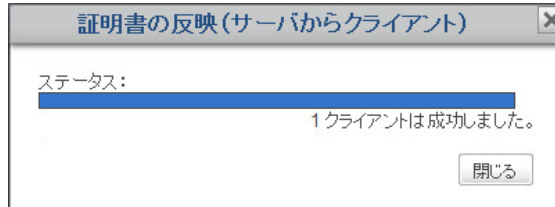


9. 「OK」ボタンをクリックします。

10. [証明書の反映] の進捗と結果を示す「証明書の反映(サーバからクライアント)」ダイアログが表示されます。



11. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



4.12 メッセージの送信

選択したシンククライアントに電源が入っており、オンライン状態であることを確認します。電源が入っていない、あるいはオンライン状態ではない一部のシンククライアントにはメッセージの送信はできません。シンククライアントの状態は、シンククライアントの左に表示されているステータスアイコンから確認できます。ステータスアイコンの詳細は、本書の「第3章 4.3 ステータスアイコン」を参照してください。

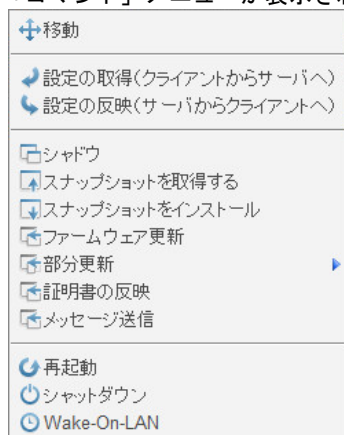
管理対象のシンククライアントにメッセージを送信するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、メッセージを送信するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール |
|---|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
|  | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
|  | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. メッセージを送信するシンククライアントをクリックして選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。



7. 「メッセージ送信」を選択します。
8. カウントダウンとメッセージ内容を入力するダイアログが表示されます。

9. データを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

10. シンククライアントにメッセージが送信されます。

4.1.3 基本情報の編集または表示

シンククライアントの基本情報を編集または表示するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、対象のシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド ☐ すべてを選択 ☐ すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. 対象のシンククライアントを選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「編集」をクリックします。
6. 管理エリアに [シンククライアント情報] ペインが表示されます。

シンククライアント情報 - (atrust-013E0E)

名前:
説明:
プロフィール:
資産 ID:

保存 キャンセル 戻る

IPアドレス:
MACアドレス:
シリアル番号:
モデル名:
前回の起動時間:
ファームウェア:
パッケージ:

| 名前 | バージョン | インストールした日時 |
|---------------------------|-------|--------------------------------|
| Japanese Language Package | 1.4 | 2017-03-02 06:56:55(UTC+09:00) |

7. シンククライアントの基本情報の確認や編集を行います。



- ・ [名前]、[説明]、[プロフィール]、[資産 ID] を変更することができます、変更後は、「保存」ボタンをクリックして変更内容を反映します。
- ・ [プロフィール] を設定すると、選択したプロフィールの使用可能なクライアントに追加されます。
- ・ シンククライアントの基本情報を確認するだけの場合は、確認後に「戻る」ボタンをクリックして、シンククライアント一覧に戻ります。

4.14 再起動

ローカルネットワークを介してシンククライアントを再起動することができます。クライアント設定の反映やクライアントのファームウェア更新時には、シンククライアントの再起動が必要な場合があります。

4.14.1 シンククライアントを再起動する

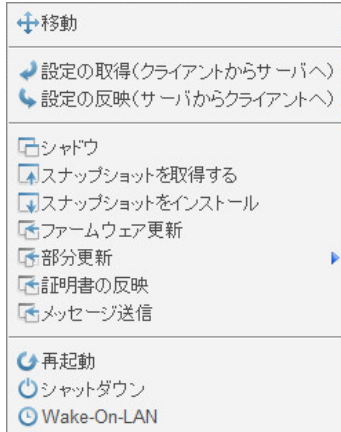
1 台のシンククライアントを再起動するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、再起動するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. 再起動するシンククライアントを選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

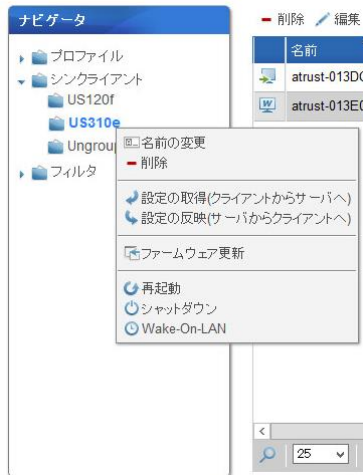


7. 「再起動」をクリックします。
8. 再起動するシンククライアントでは、警告メッセージが表示されます。
再起動が行われることをユーザーに知らせ、必要に応じて再起動をキャンセルできます。
9. 再起動後、ステータスアイコンによりシンククライアントが再度オンラインになったことを確認します。

4.14.2 シンククライアントグループを再起動する

シンククライアントグループを再起動するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから再起動するシンククライアントグループを右クリックしてメニューを開き、「再起動」を選択します。



3. シンククライアントグループに登録されたシンククライアントでは、警告メッセージが表示されます。再起動が行われることをユーザーに知らせ、必要に応じて再起動をキャンセルできます。
4. 再起動後、ステータスアイコンによりクライアントが再度オンラインになったことを確認します。

4.14.3 すべてのシンククライアントグループを再起動する

すべてのシンククライアントを再起動するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアの「シンククライアント」を右クリックして、メニューを開きます。



3. 「再起動」を選択します。
4. すべてのシンククライアントグループ内のシンククライアントで、警告メッセージが表示されます。再起動が行われることをユーザーに知らせ、必要に応じて再起動をキャンセルできます。
5. 再起動後、ステータスアイコンによりシンククライアントが再度オンラインになったことを確認します。

4.15 シャットダウン



ローカルネットワークを介してシンククライアントをシャットダウンすることができます。

4.15.1 シンククライアントをシャットダウン

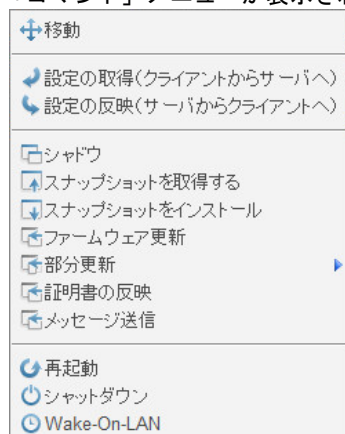
1 台のシンククライアントをシャットダウンするには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、シャットダウンするシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール |
|---|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
|  | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
|  | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. シャットダウンするシンククライアントを選択します。
5. クライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

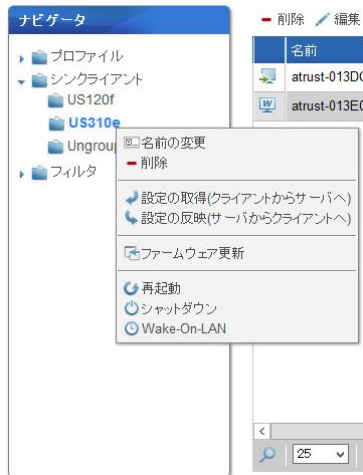


7. 「シャットダウン」をクリックします。
8. シャットダウンするシンククライアントでは、警告メッセージが表示されます。シャットダウンが行われることをユーザーに知らせ、必要に応じてシャットダウンをキャンセルできます。
9. シャットダウン後、ステータスアイコンによりシンククライアントがオフラインになったことを確認します。

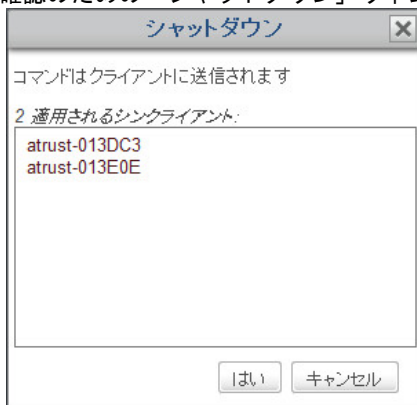
4.15.2 シンククライアントグループをシャットダウンする

シンククライアントグループをシャットダウンするには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアからシャットダウンするシンククライアントグループを右クリックしてメニューを開き、「シャットダウン」を選択します。



3. 確認のための「シャットダウン」ウィンドウが表示されます。



4. 「はい」ボタンをクリックします。
5. シンククライアントグループに登録されたシンククライアントでは、警告メッセージが表示されます。シャットダウンが行われることをユーザーに知らせ、必要に応じてシャットダウンをキャンセルできます。
6. シャットダウン後、ステータスアイコンによりシンククライアントグループ内の各シンククライアントがオフラインになったことを確認します。

4.15.3 すべてのシンククライアントグループをシャットダウンする

すべてのシンククライアントグループでシャットダウンするには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアの「シンククライアント」を右クリックして、メニューを開きます。



3. 「シャットダウン」を選択します。
4. 確認のための「シャットダウン」ウィンドウが表示されます。



6. すべてのシンククライアントグループ内のシンククライアントで、警告メッセージが表示されます。シャットダウンが行われることをユーザーに知らせ、必要に応じてシャットダウンをキャンセルできます。
5. シャットダウン後、ステータスアイコンによりクライアントがオフラインになったことを確認します。

4.16 Wake On LAN

Wake on LAN 機能は、ローカルネットワークを通して複数のシンククライアントを起動することができます。対象のシンククライアントが、電源コンセントとローカルネットワークに接続されている必要があります。



- ・ Wake on LAN は有線 LAN の機能です。無線 LAN では使用できません。
- ・ US120f では、Wake on LAN によるサスペンドからの復帰はサポートされません。

4.16.1 シンククライアントを Wake On LAN する

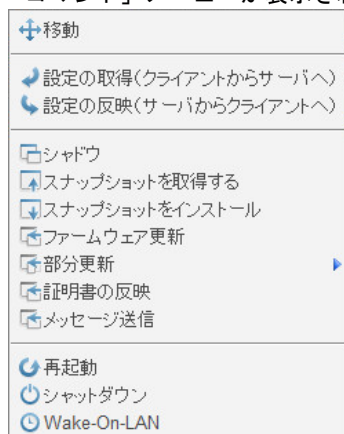
1 台のシンククライアントへ Wake On LAN を実行するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、Wake On LAN を実行するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. 対象のシンククライアントを選択します。
5. シンククライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

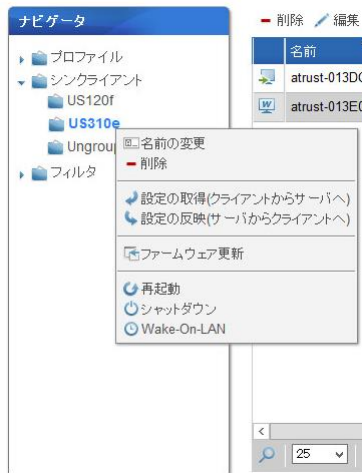


7. 「Wake-On-LAN」を選択します。
8. 選択したシンククライアントが起動します。
9. シンククライアントの起動後、ステータスアイコンによりシンククライアントがオンラインになったことを確認します。

4.16.2 シンククライアントグループを Wake On LAN する

シンククライアントグループへ Wake On LAN を実行するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから Wake On LAN するシンククライアントグループを右クリックしてメニューを開き、「Wake-On-LAN」を選択します。



3. 「Wake-On-LAN」を選択します。
4. 確認のための「Wake-On-LAN」ウィンドウが表示されます。

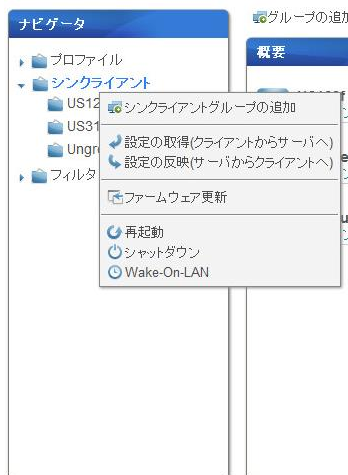


5. 「はい」 ボタンをクリックします。
6. シンククライアントグループ内のシンククライアントが起動します。
7. シンククライアントグループの起動後、ステータスアイコンによりシンククライアントがオンラインになったことを確認します。

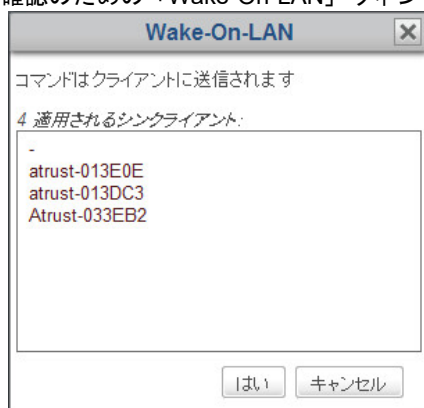
4.16.3 すべてのシンククライアントグループを Wake On LAN する

すべてのシンククライアントグループへ Wake On LAN を実行するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアの「シンククライアント」を右クリックして、メニューを開きます。



3. 「Wake-On-LAN」を選択します。
4. 確認のための「Wake-On-LAN」ウィンドウが表示されます。



5. 「はい」 ボタンをクリックします。
6. すべてのシンククライアントグループ内のシンククライアントが起動します。
7. ステータスアイコンによりシンククライアントがオンラインになったことを確認します。

4.17 ファームウェア更新

本機能では、ローカルネットワークを介してシンククライアントのファームウェアを更新することができます。



無線 LAN では、ファームウェアの更新はできません。



- ・ ADM にファームウェアファイルがインポートされている必要があります。ファームウェアファイルのインポートについては、本書の「第3章 2.3 ファームウェアの管理」を参照してください。
- ・ ADM からシンククライアントのファームウェアを更新しても、シンククライアント設定は消去されません。

4.17.1 シンククライアントのファームウェアを更新する

1 台のクライアントをファームウェア更新するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、ファームウェアを更新するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド ☐ すべてを選択 ☐ すべての選択を解除

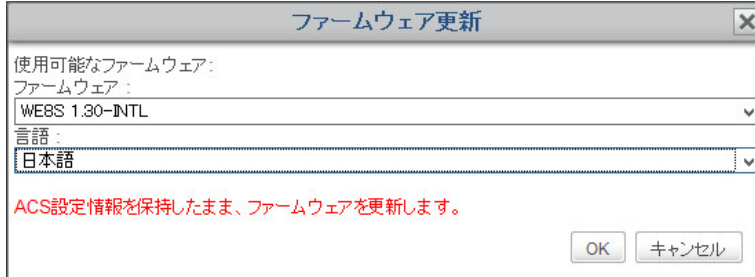
| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. ファームウェアを更新するシンククライアントを選択します。
5. クラウド一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

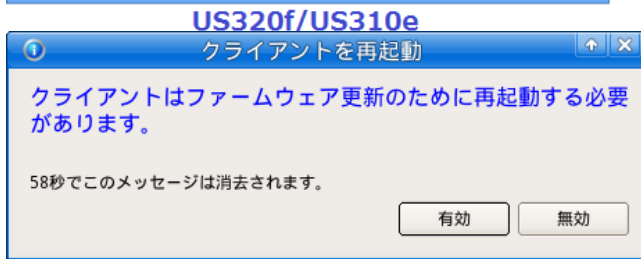
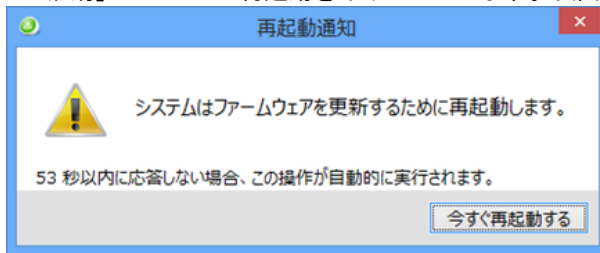


7. 「ファームウェア更新」を選択します。

8. ファームウェアと言語を選択する「ファームウェア更新」ダイアログが表示されます。



9. 適用するファームウェアと言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
10. 選択したシンククライアントでは、ファームウェアの更新が行われる警告メッセージが表示されます。
- US120f では、必要に応じてファームウェアの更新を保留することができます。
- 「有効」: US120f を今すぐ再起動し、ファームウェアを更新します。
- 「無効」: US120f の再起動をキャンセルします。次回起動時にファームウェアを更新します。



US120f

11. 再起動後、シンククライアントのファームウェアが更新されます。

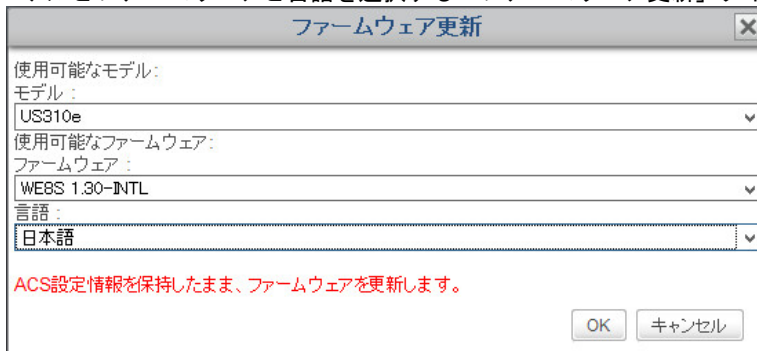
4.17.2 シンククライアントグループのファームウェアを更新する

シンククライアントグループのファームウェアを更新するには、以下の手順を実行してください。

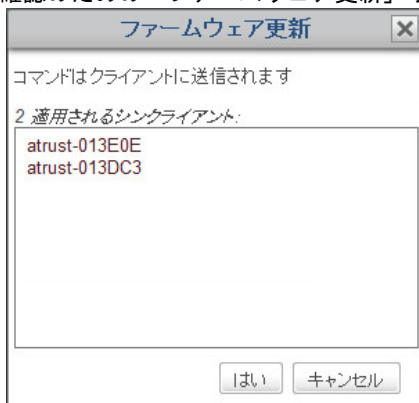
1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアからファームウェアを更新するシンククライアントグループを右クリックしてメニューを開き、「ファームウェア更新」を選択します。



3. モデルとファームウェアと言語を選択する「ファームウェア更新」ダイアログが表示されます。



4. 適用するモデル、ファームウェア、言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
5. 確認のための「ファームウェア更新」ウィンドウが表示されます。



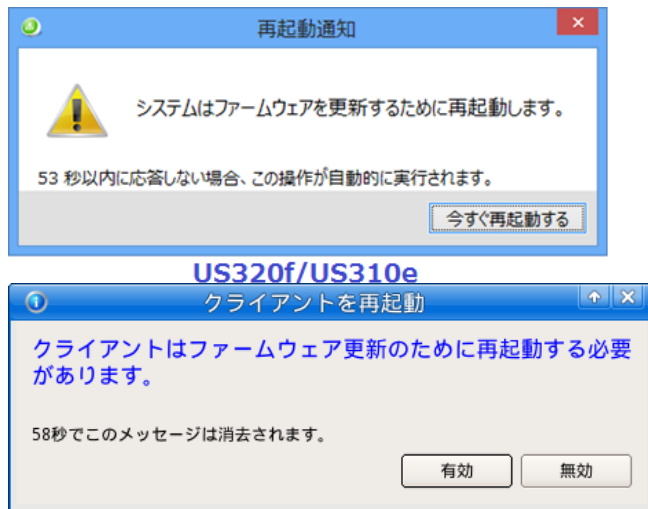
6. 「はい」ボタンをクリックします。

7. シンククライアントグループに登録されたシンククライアントでは、ファームウェアの更新が行われる警告メッセージが表示されます。

US120f では、必要に応じてファームウェアの更新を保留することができます。

「有効」: US120f を今すぐ再起動し、ファームウェアを更新します。

「無効」: US120f の再起動をキャンセルします。次回起動時にファームウェアを更新します。



US120f

8. 再起動後、シンククライアントのファームウェアが更新されます。

4.18 WES パッケージのインストールとアンインストール

シンクライアントに WES パッケージをインストール、またはアンインストールするには、以下の手順を実行してください。



US120f では、WES パッケージはサポートされません。



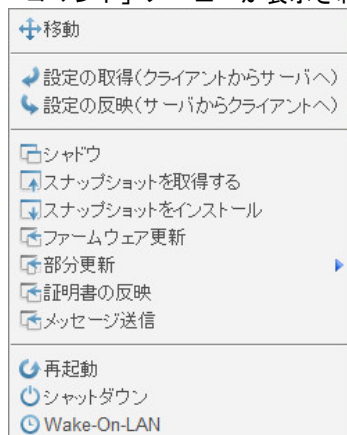
ADM に WES パッケージファイルがインポートされている必要があります。WES パッケージのインポートについては、本書の「第3章 2.4 WES パッケージの管理」を参照してください。

1. [シンクライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンクライアント] を展開し、WES パッケージのインストール、あるいはアンインストールを行うシンクライアントが登録されているシンクライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンクライアント一覧が表示されます。

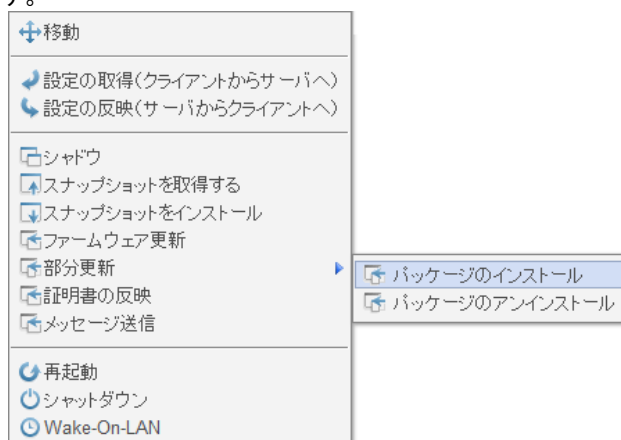
削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

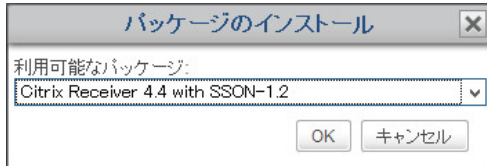
4. WES パッケージのインストール、あるいはアンインストールを行うシンクライアントを選択します。
5. クラウド一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。



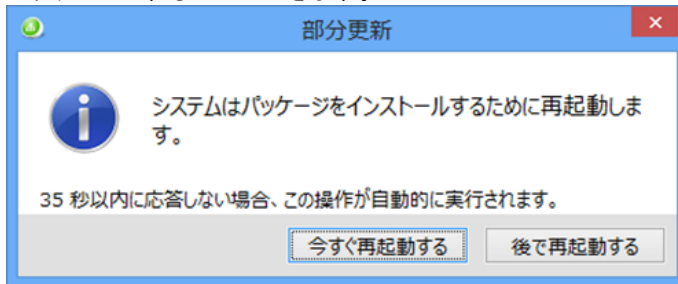
7. 「部分更新」 - 「パッケージのインストール」または「パッケージのアンインストール」をクリックします。



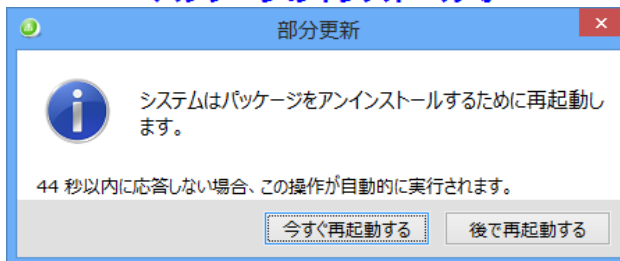
8. WES パッケージを選択するウィンドウが表示されます。選択したシンククライアントにインストール、またはアンインストールする WES パッケージを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



9. 選択したシンククライアントでは、WES パッケージのインストール、またはアンインストールを行う重要メッセージが表示されます。
WES パッケージのインストール、またはアンインストールをユーザーに通知し、ユーザーは必要に応じてキャンセルすることができます。



パッケージのインストール時



パッケージのアンインストール時

10. 再起動後、選択したシンククライアントに WES パッケージがインストール、またはアンインストールされます。



- ・ WES パッケージのインストール／アンインストールが完了するには、複数回の再起動が必要になる場合があります。
- ・ WES パッケージの配信の完了を ADM から確認するには、以下の手順を行います。
 1. シンククライアント一覧からシンククライアントを選択します
 2. 「編集」をクリックします
 3. クライアントの基本情報を表示します
 詳しくは、本書の「第 3 章 4.13 基本情報の編集または表示」を参照してください。

4.19 スナップショットの取得

スナップショットとは、特定の時点におけるシンククライアントのシステムコピーです。シンククライアントの一括展開に使用できます。



- ・ 無線 LAN では、スナップショットの取得はできません。
- ・ US120f では、スナップショットはサポートされません。

シンククライアントからスナップショットを取得するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、スナップショットを取得するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

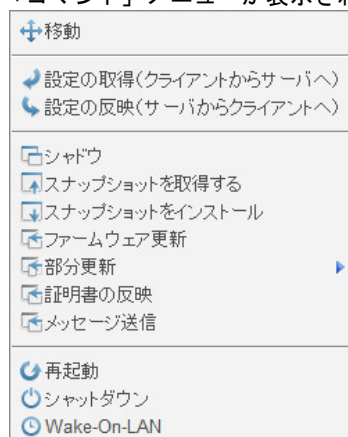
| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. スナップショットを取得するシンククライアントを選択します。



スナップショットの取得は 1 台ずつのみ実行できます。同時に複数のシンククライアントからスナップショットを取得することはできません。

5. クライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。



7. 「スナップショットを取得する」を選択します。

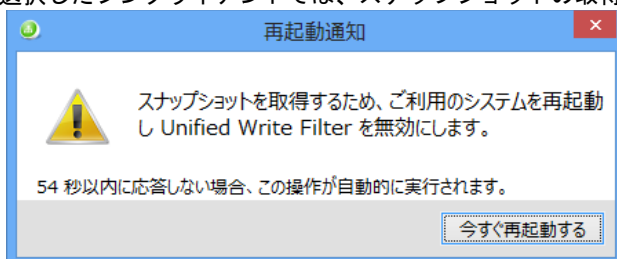
8. 「スナップショットを取得する」ダイアログが表示されます。

9. スナップショットの説明を入力し、「OK」をクリックします。



シンククライアントのビルトイン Administrator のパスワードをデフォルトパスワードから変更している場合は、「管理者用ユーザーのデフォルトパスワードが変更されています。(変更後のパスワードを入力してください。)」のチェックを有効にし、変更後のパスワードを入力します。

10. 選択したシンククライアントでは、スナップショットの取得が行われる警告メッセージが表示されます。



11. 再起動後、スナップショットの取得が開始されます。取得が完了するまでしばらくお待ちください。
12. スナップショットの取得完了後、スナップショット一覧に取得したスナップショットが追加されます。



- ・ スナップショット一覧にアクセスするには、[システム]-[配置]-[スナップショット] を選択します。
- ・ スナップショットの管理の詳細は、本書の「第3章 2.5 スナップショットの管理」を参照してください。

4.20 スナップショットのインストール

シンククライアントにスナップショットをインストールするには、以下の手順を実行してください。



- ・ 無線 LAN では、スナップショットのインストールはできません。
- ・ US120f では、スナップショットはサポートされません。



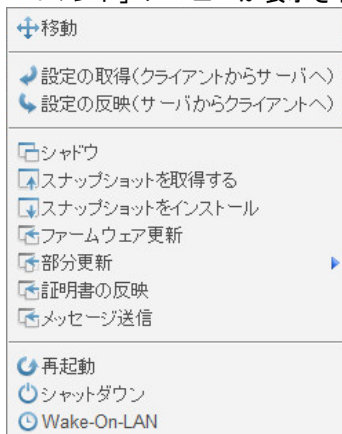
スナップショットのインストールを行うには、ADMにスナップショットがインポートされている、またはシンククライアントからスナップショットの取得を行う必要があります。スナップショットのインポートについては、本書の「第3章 2.5 スナップショットの管理」を参照してください。スナップショットの取得については、本書の「第3章 4.19 スナップショットの取得」を参照してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、スナップショットをインストールするシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

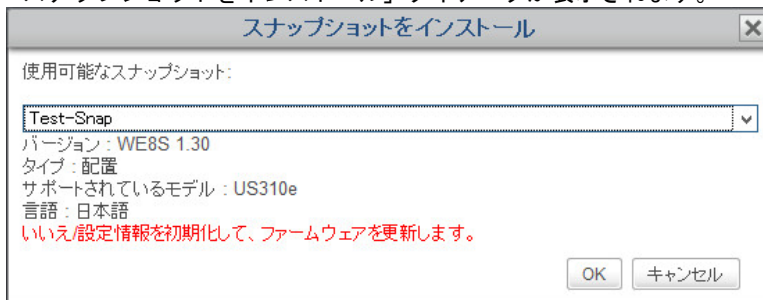
削除 編集 設定の編集 コマンド すべてを選択 すべての選択を解除 エクスポート

| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. スナップショットをインストールするシンククライアントを選択します。
5. クラウド一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

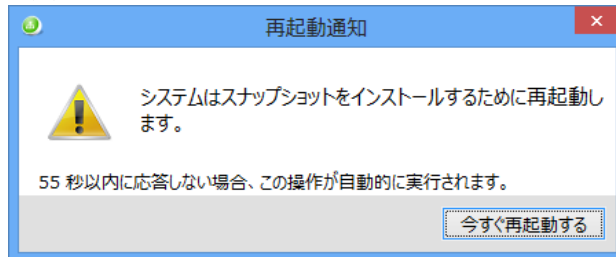


7. 「スナップショットをインストール」を選択します。
8. 「スナップショットをインストール」ダイアログが表示されます。



9. [使用可能なスナップショット] ドロップダウンメニューから、適用するスナップショットを選択します。
10. 「OK」ボタンをクリックします。

11. 選択したシンククライアントでは、スナップショットのインストールが行われる警告メッセージが表示されます。



12. 再起動後、スナップショットのインストールが開始されます。インストールが完了するまでしばらくお待ちください。

4.21 シャドウ機能の使用

シャドウ機能では、シンククライアントに接続し、シンククライアントのデスクトップやセッションを直接表示したり操作したりできます。シャドウ機能を使用すると、シンククライアントで発生した問題の解決や、シンククライアントのローカル設定を支援することができます。



シャドウ機能を使用するには、シンククライアント側の ACS でシャドウ機能が有効に設定されている必要があります。

シャドウ機能を使用してシンククライアントに接続するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、シャドウ機能で接続するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
3. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

削除 編集 設定の編集 コマンド ☐ すべてを選択 ☐ すべての選択を解除

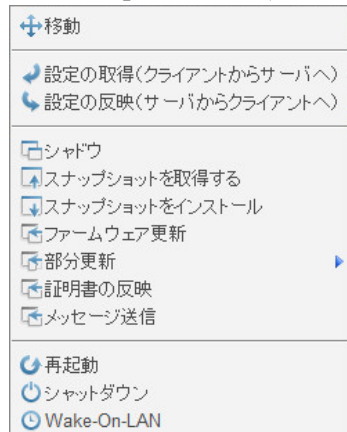
| | 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロファイル |
|--|---------------|---------------|-------------------|--------|----------------|--------|
| | atrust-013DC3 | 192.168.7.120 | 00:1F:D8:01:3D:C3 | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |
| | atrust-013E0E | 192.168.7.118 | 00:1F:D8:01:3E:0E | US310e | WE8S 1.30-INTL | N/A |

4. シャドウ機能で接続するシンククライアントを選択します。



- 複数のシンククライアントを指定して、シャドウ機能で同時に接続することはできません。
- シャドウ機能で接続中に、別のシンククライアントにシャドウ機能で接続することは可能です。

5. クライアント一覧の上にある「コマンド」をクリックします。
6. 「コマンド」メニューが表示されます。

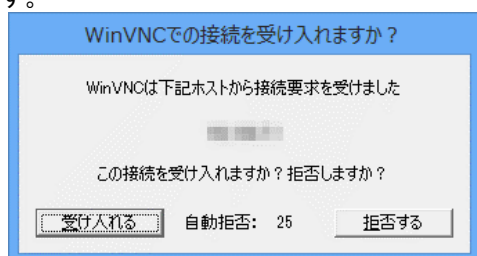


7. 「シャドウ」を選択します。
8. 「認証」ダイアログが表示されます。

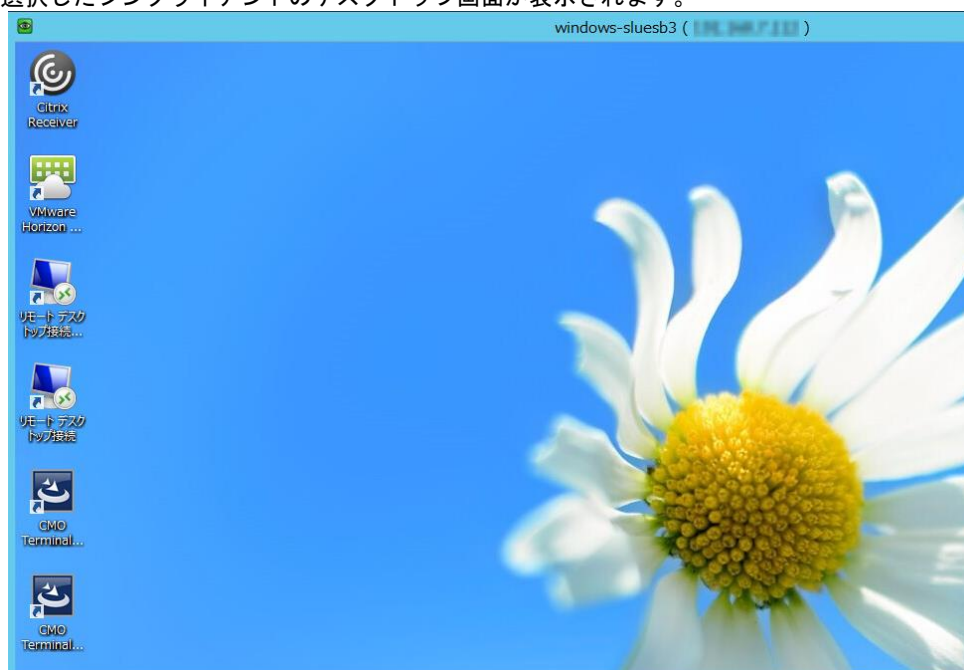


9. シャドウのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

10. 選択したシンクライアントでは、シャドウ接続の受け入れを選択するダイアログが表示されます。接続を受け入れて問題ない場合は、「受け入れる」ボタンをクリックします。本書では接続を受け入れます。



11. 選択したシンクライアントのデスクトップ画面が表示されます。



4.22 シンククライアントデータのエクスポート

シンククライアントグループ一覧とシンククライアント一覧では、管理対象のシンククライアントデータをエクスポートできます。

管理対象のシンククライアントデータをエクスポートするには、以下の手順を実行してください。

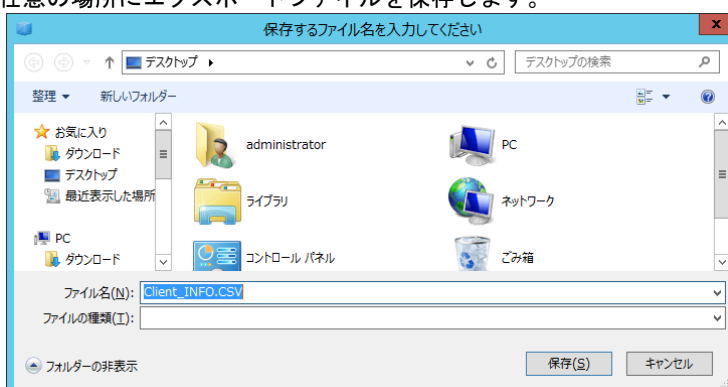
1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアからエクスポートするグループを選択します。
3. シンククライアントグループ一覧またはシンククライアント一覧の上にある「エクスポート」をクリックします。



4. エクスポート形式を指定するダイアログが表示されます。



5. [エクスポート] ドロップダウンメニューから、エクスポートファイルの形式 (CSV または XML) を選択します。
6. 選択後、「エクスポート」ボタンをクリックします。
7. エクスポートファイルの保存先を選択するダイアログが表示されます。任意の場所にエクスポートファイルを保存します。



4.2.3 クイック検索を使用したプロファイル、シンククライアント、イベントログの検索

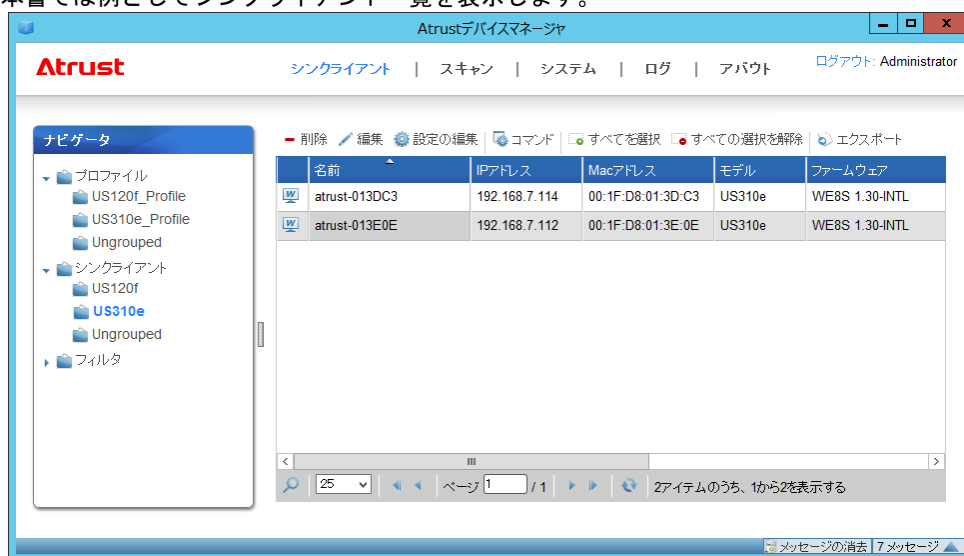
プロファイル一覧、シンククライアント一覧、ログ一覧では、クイック検索を使用した絞り込み表示ができません。




シンククライアントの絞り込み表示には、フィルター機能を使用することもできます。詳しくは、本書の「第3章 4.24 フィルターを使用したシンククライアントの検索」を参照してください。

プロファイル一覧、シンククライアント一覧、ログ一覧でクイック検索を使用するには、以下の手順を実行してください。

1. クイック検索を行うプロファイル一覧、シンククライアント一覧、ログ一覧のいずれかを表示します。本書では例としてシンククライアント一覧を表示します。



2. シンククライアント一覧の下に表示されている、「クイック検索」ボタン () をクリックします。



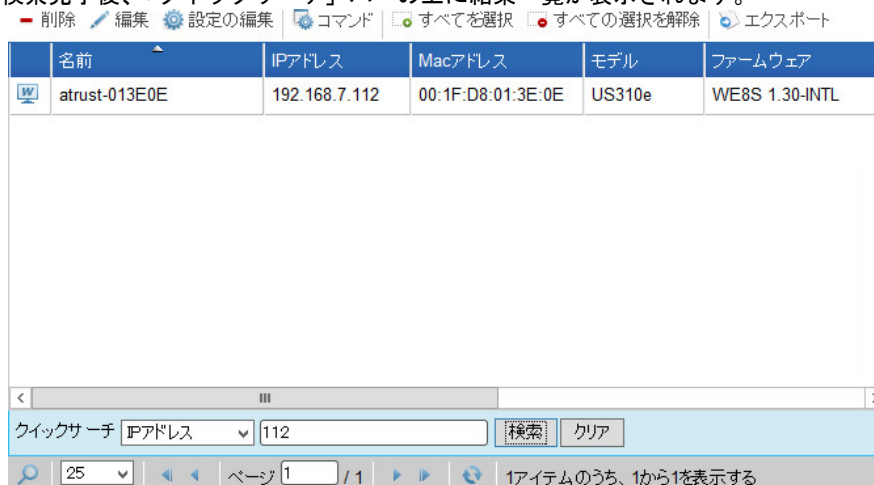
3. 「クイック検索」バーが表示されます。



4. [クイック検索] ドロップダウンメニューから検索対象のタイプ (例: 名前、IP アドレス) を選択し、検索キーワードを入力します。

5. 「検索」ボタンをクリックし、シンククライアントの検索を開始します。

6. 検索完了後、「クイック検索」バーの上に結果一覧が表示されます。



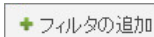
4.24 フィルターを使用したシンククライアントの検索

ADM では、すべての管理対象シンククライアントから特定の条件に合うシンククライアントをするためのフィルターを作成できます。フィルターを使用すると、特定のシンククライアントセットにすばやくアクセスして管理することができます。

4.24.1 フィルターの追加

フィルターを追加するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアで [フィルタ] を右クリックして、メニューを開きます。
3. 「フィルターの追加」を選択します。



4. 管理エリアに [新しいフィルタを追加] と [フィルタプレビュー] ペインが表示されます。

新しいフィルタを追加

名前:

| フィールド名 | オペレータ | 値 | アクション |
|--------|-------|----------------------|-------|
| 名前 | 等しい | <input type="text"/> | 追加 |

使用可能なフィルタ条件

プレビュー 保存 キャンセル

フィルタプレビュー

| 名前 | グループ |
|-----------|------|
| フィルタプレビュー | |

5. フィルターに任意の名前を入力します。
6. 適切な [フィールド名]、[オペレータ] を選択し、フィルター条件の値を入力します。



フィルター条件として使用できるシンククライアントに関する大部分の情報は、「シンククライアント情報」ペインで入手できます。「シンククライアント情報」ペインにアクセスするには、本書の「第3章 4.13 基本情報の編集または表示」を参照してください。

7. 「追加」ボタンをクリックして、フィルターに条件を追加します。
8. 手順6～7. を繰り返し、新しい条件を追加します。
9. 「プレビュー」ボタンをクリックし、「フィルタプレビュー」ペインに表示されるフィルターの結果を確認します。

フィルタの編集

名前:

| フィールド名 | オペレータ | 値 | アクション |
|---------|--------|----------------------|-------|
| 名前 | 等しい | <input type="text"/> | 追加 |
| ファームウェア | パターン一致 | WEBS | 削除 |

使用可能なフィルタ条件

プレビュー 保存 キャンセル

フィルタプレビュー

| 名前 | グループ |
|---------------|--------|
| atrust-013E0E | US310e |
| atrust-013DC3 | US310e |

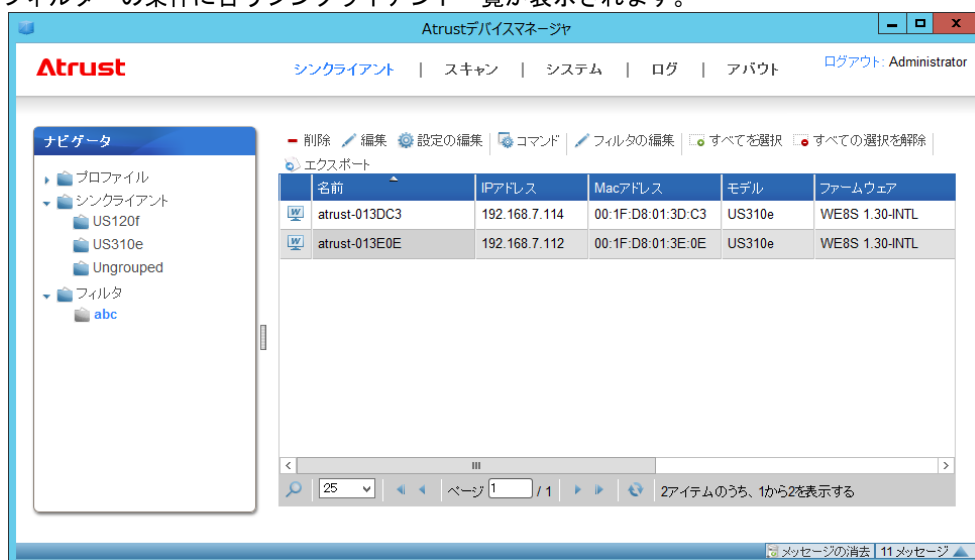
10. 「保存」ボタンをクリックして、フィルターを作成します。

4.24.2 フィルターの使用

フィルターを作成した後は、対応するフィルターをクリックするだけでフィルターに設定したすべての条件に合うシンククライアント一覧にアクセスできます。

フィルターを使用するには、以下の手順を実行してください。

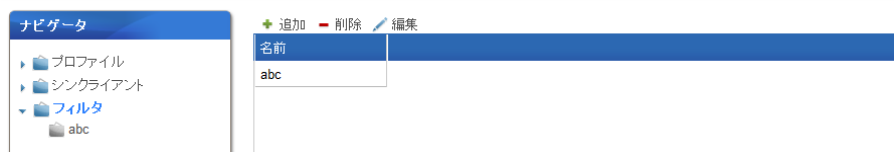
1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアで [フィルタ] をクリックし、フィルターを展開します。
3. 使用するフィルターを選択します。
4. フィルターの条件に合うシンククライアント一覧が表示されます。



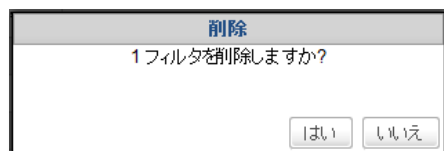
4.24.3 フィルターの削除

フィルターを削除するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアで [フィルタ] をクリックします。
3. 管理エリアにフィルター一覧が表示されます。



4. 削除するフィルターを選択します。
5. フィルター一覧の上にある「削除」をクリックします。
6. 確認のための「削除」ダイアログが表示されます。

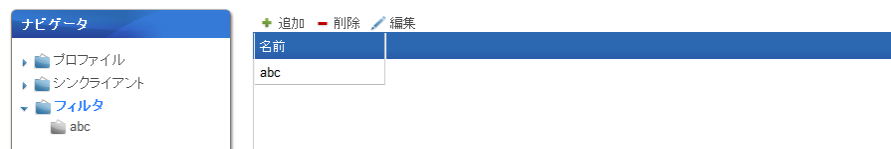


7. 「はい」 ボタンをクリックします。

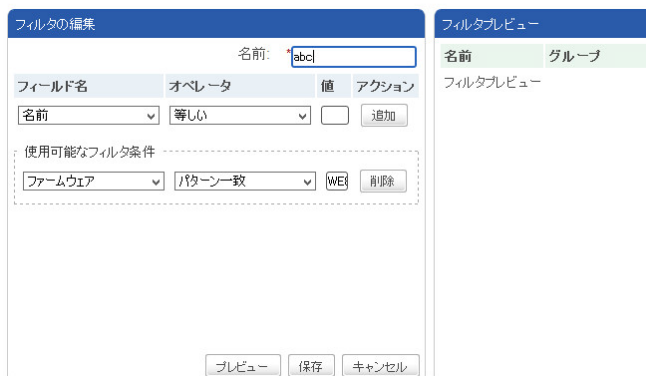
4.24.4 フィルターの編集

フィルターを編集するには、以下の手順を実行してください。

1. [シンククライアント] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアで [フィルタ] をクリックします。
3. 管理エリアにフィルター一覧が表示されます。



4. 編集するフィルターを選択します。
5. フィルター一覧の上にある「編集」をクリックします。
6. 管理エリアに [フィルタの編集] と [フィルタプレビュー] ペインが表示されます。



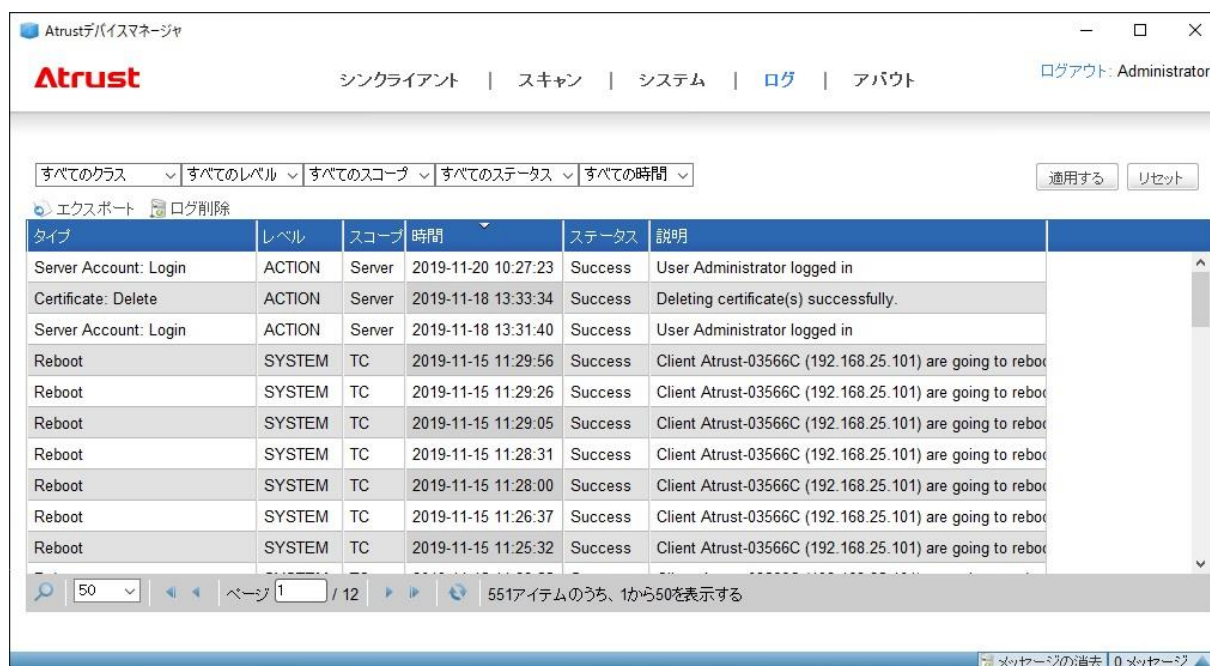
7. フィルターの条件を編集し、「保存」ボタンをクリックします。

5. 「ログ」タブ

「ログ」タブでは、シンククライアント管理のイベントログを管理できます。

5.1 「ログ」タブの概要

図 5 「ログ」タブの概要

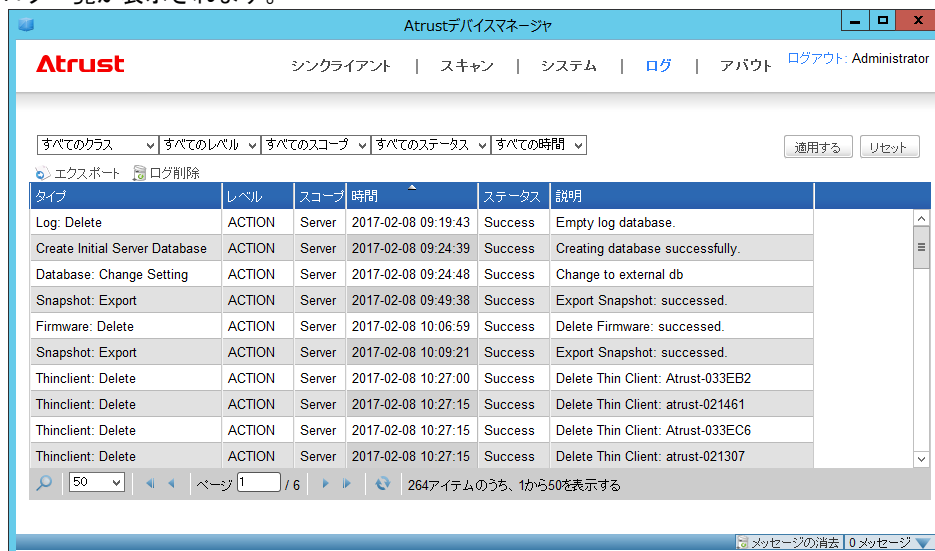


| 番号 | 使用可能なタスク | 参照先 |
|----|---------------|-----------------------|
| 1 | イベントログの表示 | 第3章 5.2 イベントログの表示 |
| 2 | イベントログのエクスポート | 第3章 5.3 イベントログのエクスポート |
| 3 | イベントログの消去 | 第3章 5.4 イベントログの消去 |

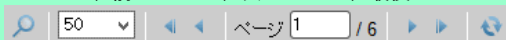
5.2 イベントログの表示

ADM のイベントログを表示するには、以下の手順を実行してください。

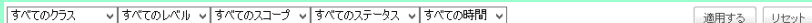
1. [ログ] タブをクリックします。
2. ロガー一覧が表示されます。



- ・ ログが複数ページある場合は、() () () () をクリックして最初のページ、前のページ、次のページ、最後のページに移動することができます。



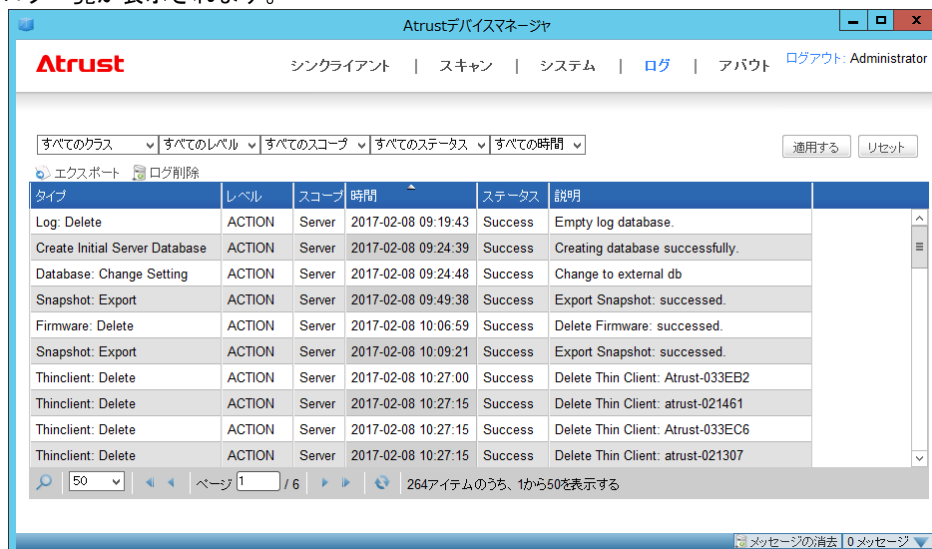
- ・ 特定の範囲内のログエントリを表示するには、ドロップダウンメニューから表示させる範囲を選択し、「適用する」ボタンをクリックします。



5.3 イベントログのエクスポート

イベントログをエクスポートするには、以下の手順を実行してください。

1. ADM で [ログ] タブをクリックします。
2. ロガー一覧が表示されます。

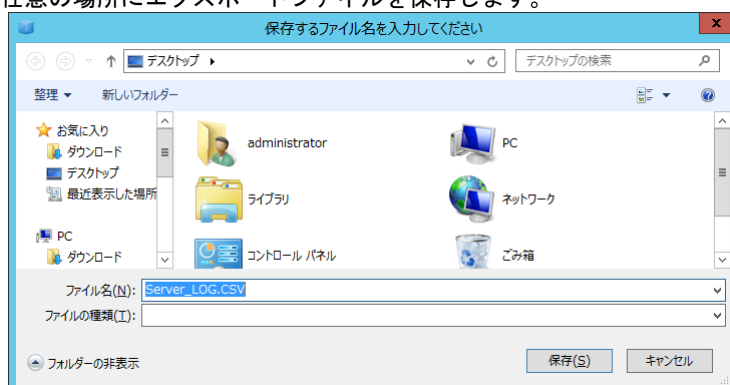


- ・ 特定の範囲内のログエントリをエクスポートするには、ドロップダウンメニューからエクスポートさせる範囲を選択し、「適用する」ボタンをクリックします。
- ・ すべてのログエントリをエクスポートするには、「リセット」ボタンをクリックした後に「適用する」ボタンをクリックします。

3. ロガー一覧の上にある「エクスポート」をクリックします。
4. エクスポート形式を選択する「エクスポート」ダイアログが表示されます。



5. [エクスポート] ドロップダウンメニューからエクスポートファイルの形式 (CSV または XML) を選択します。
6. 選択後、「エクスポート」ボタンをクリックします。
7. エクスポートファイルの保存先を選択するダイアログが表示されます。任意の場所にエクスポートファイルを保存します。



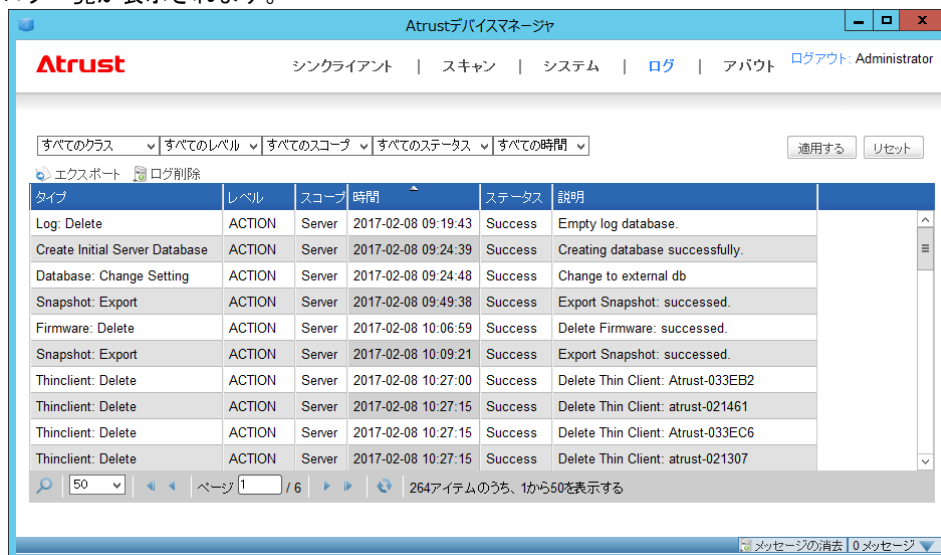
5.4 イベントログの消去



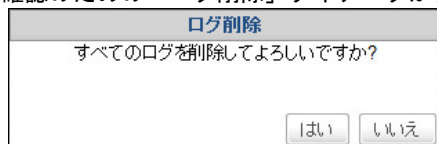
ログを消去すると、すべてのログエントリが削除されます。ログを削除しても問題がないことをご確認ください。ログエントリを部分的に削除することはできません。

システムのイベントログを消去するには、以下の手順を実行してください。

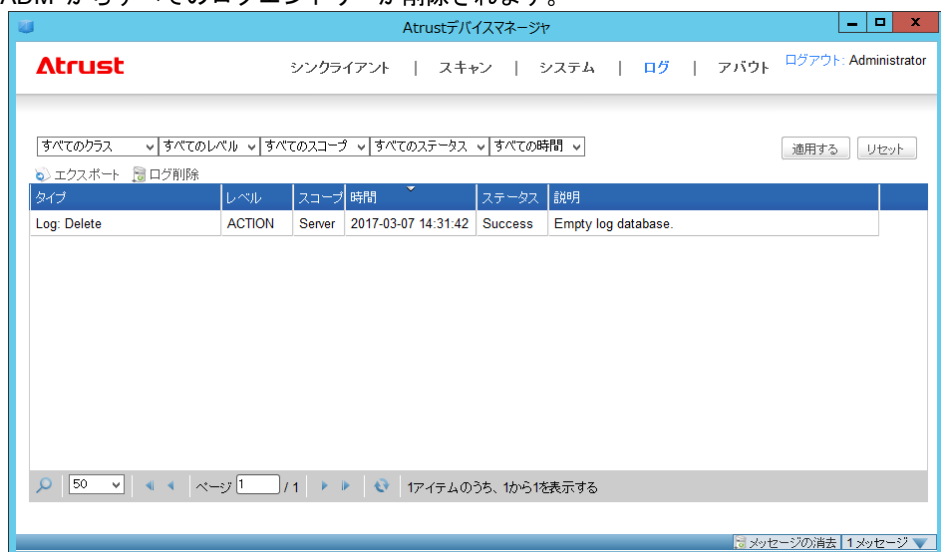
1. ADM で [ログ] タブをクリックします。
2. ログ一覧が表示されます。



3. ログ一覧の上にある「ログ削除」をクリックします。
4. 確認のための「ログ削除」ダイアログが表示されます。



5. 「はい」 ボタンをクリックします。
6. ADM からすべてのログエントリが削除されます。



ログを削除後、ログ削除のログエントリがログ一覧に表示されます。

6. 「アバウト」タブ

「アバウト」タブは、ADM と Atrust Computer Corporation に関する情報を表示します。

6.1 「アバウト」タブの概要

図 6 「アバウト」タブの概要



| 番号 | 使用可能なタスク | 参照先 |
|----|---------------------|-------------------------------|
| 1 | ADM に関する情報の表示 | 第 3 章 6.2 ADM に関する情報の表示 |
| 2 | ADM の問い合わせに関する情報の表示 | 第 3 章 6.3 ADM の問い合わせに関する情報の表示 |
| 3 | ソフトウェアライセンス契約の表示 | 第 3 章 6.4 ソフトウェアライセンス契約の表示 |

6.2 ADM に関する情報の表示

ADM に関する情報を表示するには、以下の手順を実行してください。

1. [アバウト] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [製品] をクリックします。
3. 管理エリアに ADM のバージョン、サポートされているシンククライアントモデル、およびインポートしたファームウェアのバージョンが表示されます。

6.3 ADM の問い合わせに関する情報の表示

ADM の問い合わせに関する情報を表示するには、以下の手順を実行してください。

1. [アバウト] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [連絡] をクリックします。
3. 管理エリアに Atrust 社の Web サイトアドレスと問い合わせ情報が表示されます。

6.4 ソフトウェアライセンス契約の表示

ソフトウェアライセンス契約を表示するには、以下の手順を実行してください。

1. [アバウト] タブをクリックします。
2. ナビゲーションエリアから [ライセンス] をクリックします。
3. 管理エリアにソフトウェアライセンス契約が表示されます。

第4章ADM の応用的な使い方

この章は、ADM の応用的な使い方を示します。

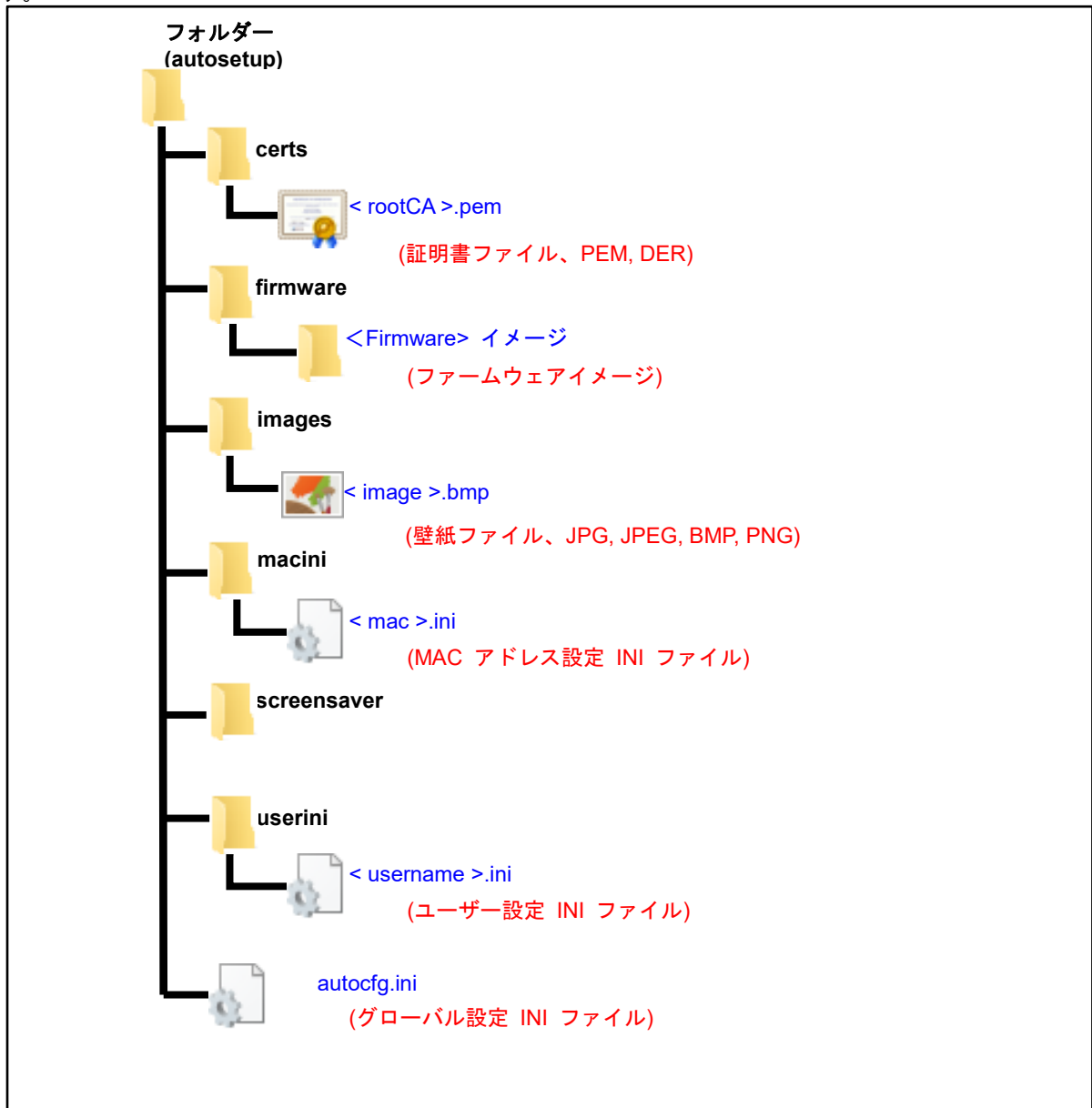
1. オートセットアップのファイルサーバーとして利用する

ADM サーバーを US120f のオートセットアップのファイルサーバーとして利用することができます。



オートセットアップは、US120f でサポートされます。US320f と US310e では使用できません。オートセットアップの詳細は、US120f のユーザズガイドを参照してください。

ADM サーバーをオートセットアップのファイルサーバーとして利用するには、「autosetup」フォルダー配下に設定 INI ファイルなどを事前に格納しておく必要があります。以下は「autosetup」フォルダー配下の構成例です。





- ・ オートセットアップを利用する場合、autocfg.ini (グローバル設定 INI ファイル) は必須です。
- ・ オートセットアップと ADM からシンクライアント設定の反映を同時に使用しないでください。オートセットアップを利用中の US120f に対して ADM からシンクライアント設定の適用を行っても、オートセットアップの設定が優先されます。



「autosetup」フォルダーと配下のフォルダーは、ADM インストール時に自動で作成されます。
デフォルトではフォルダーの場所は "C:\Program Files (x86)\Atrust\autosetup\" です。
ADM インストール時にパスを変更している場合は、適時読み替えてください。

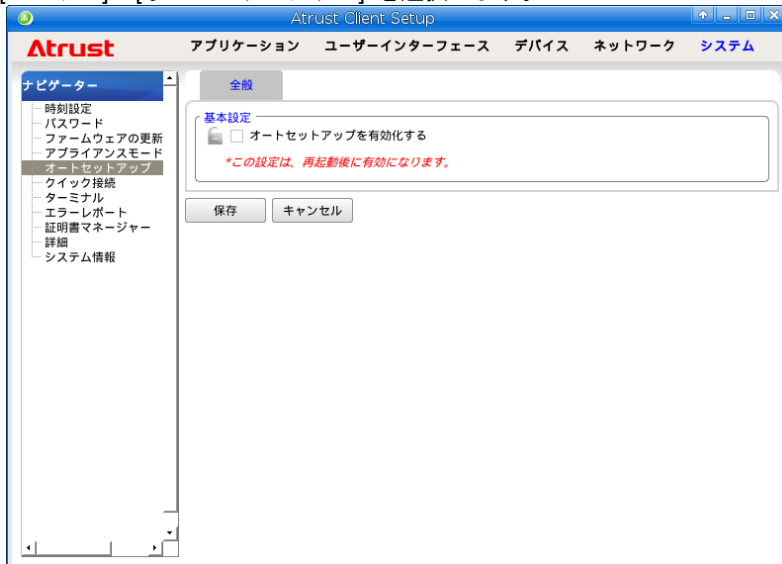
ADM サーバーをオートセットアップのファイルサーバーとして利用するには、以下の手順を実施します。

1. ADM サーバーに管理者アカウントでサインインします。
2. 「autosetup」フォルダー配下に、オートセットアップに必要なファイルを格納します。
3. US120f 上で ACS を起動します。

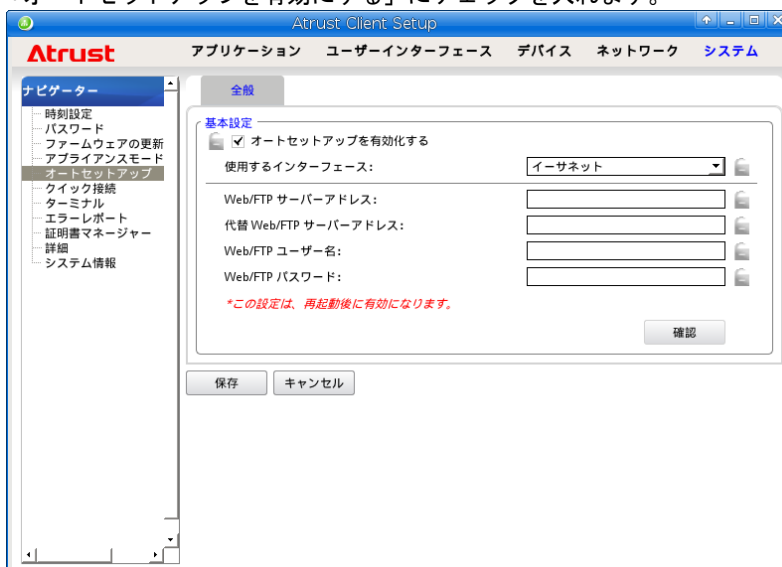


手順 3.~9. の設定は、ADM のグループプロファイル、個別プロファイルを編集してシンクライアントにプロファイルを反映することもできます。グループプロファイルの編集については、本書の「第3章 4.6 グループプロファイルの管理」を参照してください。個別プロファイルの編集については、本書の「第3章 4.7 個別プロファイルの管理」を参照してください。

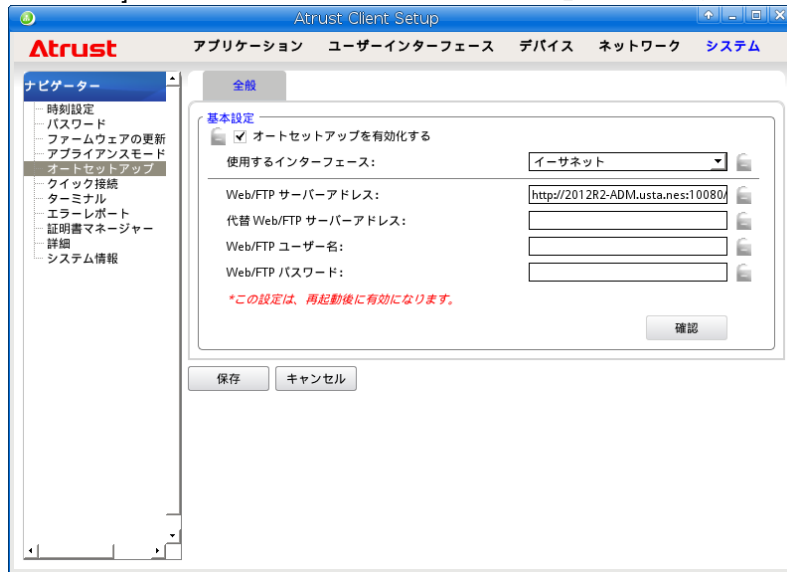
4. [システム] - [オートセットアップ] を選択します。



5. 「オートセットアップを有効にする」にチェックを入れます。

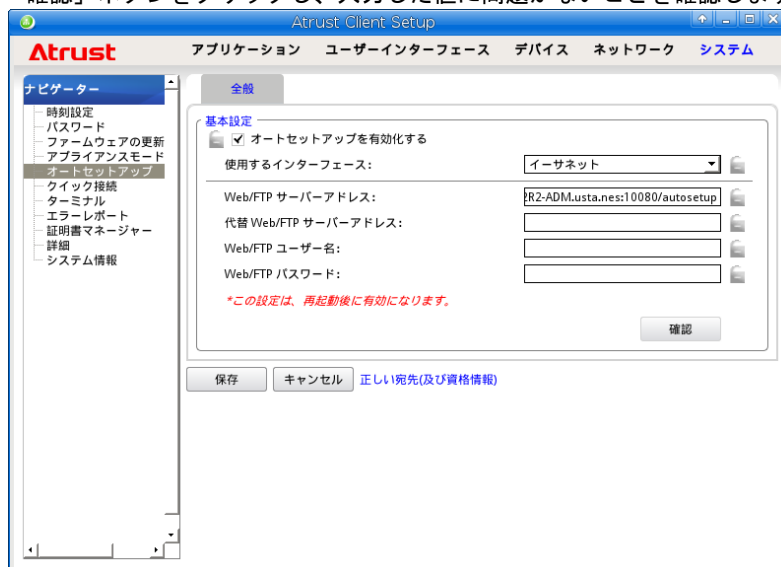


6. [使用するインターフェース] ドロップダウンメニューからネットワーク環境を選択し、[Web/FTP サーバーアドレス] に ADM サーバーのサーバーアドレスを入力します。

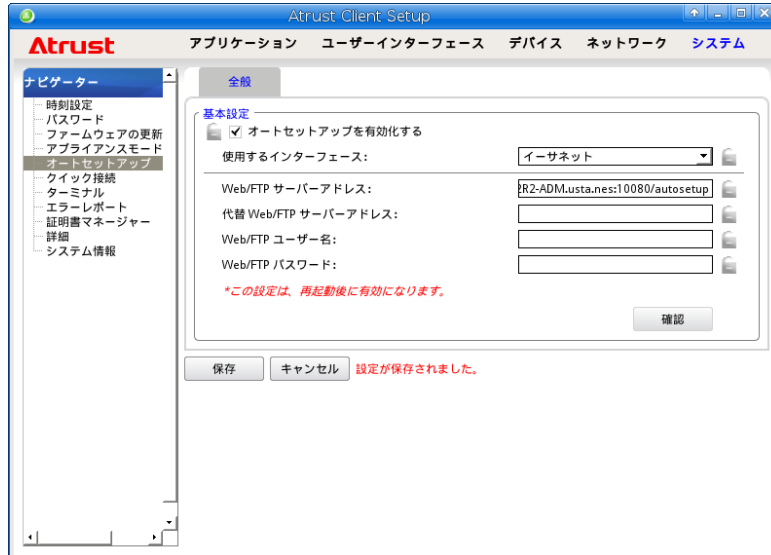


- ADM サーバーのサーバーアドレスを入力する時のフォーマットは、("http://<Server FQDN>:10080/autosetup")です。
- ADM サーバーをファイルサーバーとして利用する場合は、[Web/FTP ユーザー名] と [Web/FTP パスワード] に何も入力しないでください。

7. 「確認」ボタンをクリックし、入力した値に問題がないことを確認します。



8. 「保存」ボタンをクリックします。



9. ACS を終了し、US120f を再起動します。再起動後、US120f はオートセットアップのファイルサーバーとして ADM サーバーを参照するようになります。

2. US120f にカスタム壁紙を設定する

ADM から US120f にカスタム壁紙を設定することができます。



US320f と US310e は、ADM からカスタム壁紙の設定に対応していません。

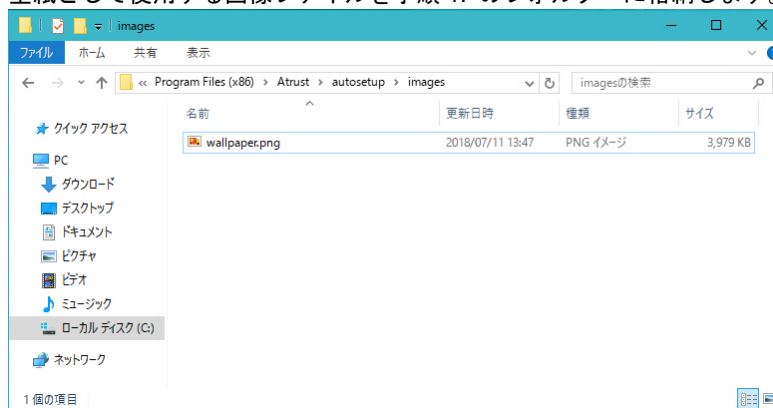
ADM から US120f にカスタム壁紙を設定するには、以下の手順を実施します。

1. ADM サーバーから次のパスを検索します。
“C:¥Program Files (x86)¥Atrust¥autosetup¥images”



上記のパスは、ADM をデフォルトインストールした場合のパスです。インストール時にパスを変更した場合は、適時読み替えてください。

2. 壁紙として使用する画像ファイルを手順 1. のフォルダーに格納します。



画像ファイルとしてサポートされているフォーマットは、JPG、JPEG、BMP、PNG です。ファイルサイズは、5MB 以下です。

3. ADM 管理コンソールを起動します。
4. [シンククライアント] タブをクリックします。
5. ナビゲーションエリアから [シンククライアント] を展開し、カスタム壁紙を設定するシンククライアントが登録されているシンククライアントグループを選択します。
6. 管理エリアにシンククライアント一覧が表示されます。

| <div> <div>削除</div> <div>編集</div> <div>設定の編集</div> <div>コマンド</div> <div>すべてを選択</div> <div>すべての選択を解除</div> <div>エクスポート</div> </div> | | | | | | |
|--|---------------|-------------------|--------|---------------------|--------|--|
| 名前 | IPアドレス | Macアドレス | モデル | ファームウェア | プロフィール | |
| Atrust-033EB2 | 192.168.7.111 | 00:1F:D8:03:3E:B2 | US120f | ARM Linux 8.43-FAKC | N/A | |

7. カスタム壁紙を設定するシンククライアントを選択します。
8. シンククライアント一覧の上にある「設定の編集」をクリックします。

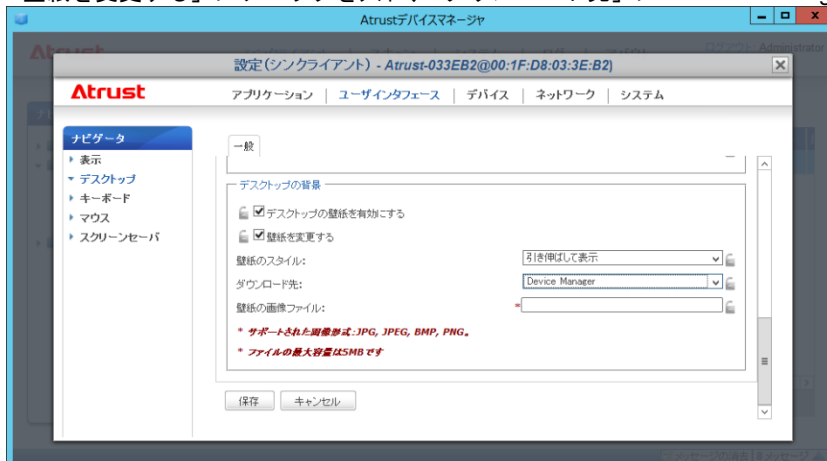
9. 「設定 (シンクライアント)」ウィンドウが表示されます。



10. [ユーザインターフェース] - [デスクトップ] を選択し、画面をスクロールして [デスクトップの背景] セクションを表示します。



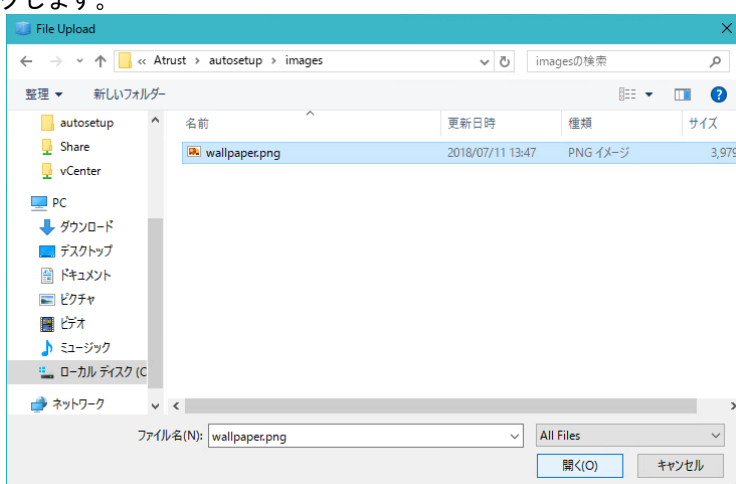
11. 「壁紙を変更する」にチェックを入れ、「ダウンロード先」に “Device Manager” を選択します。



12. 「壁紙の画像ファイル」フィールドをクリックし、「Select Image」ダイアログを表示します。



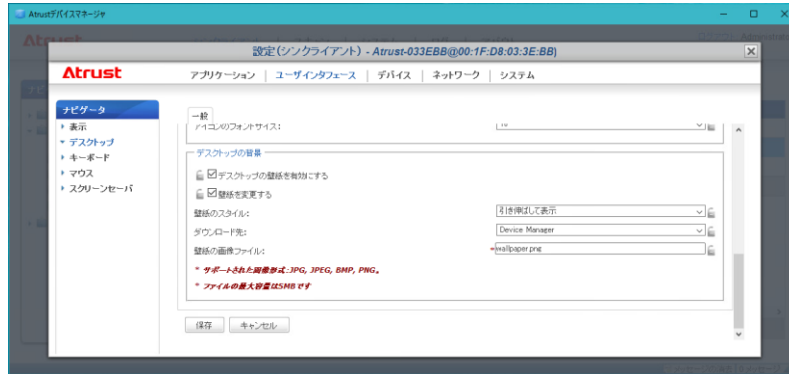
13. 「Browse...」ボタンをクリックし、手順 2. で準備した画像ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。



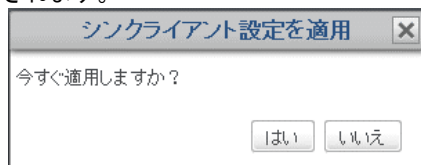
14. 「選択」ボタンをクリックします。



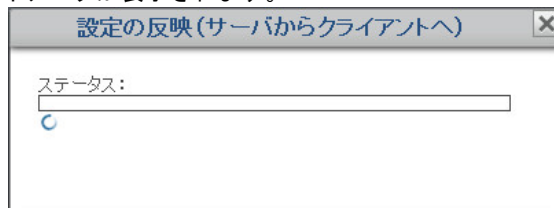
15. 選択した画像ファイルのファイル名が、[壁紙の画像ファイル] フィールドに反映されることを確認します。



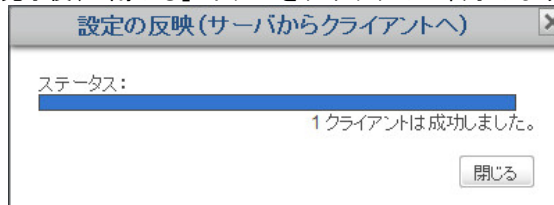
16. 「保存」ボタンをクリックします。
 17. 「設定(シンククライアント)」ウィンドウを終了します。
 18. 「設定(シンククライアント)」ウィンドウを終了すると、「シンククライアント設定を適用」ダイアログが表示されます。



19. 「はい」ボタンをクリックします。
 20. シンククライアント設定の[設定の反映]の進捗と結果を示す「設定の反映(サーバーからクライアントへ)」ダイアログが表示されます。



21. 完了後、「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



22. シンククライアントの左に表示されているステータスアイコンで、シンククライアントの状態を確認します。必要に応じてシンククライアントを再起動し、シンククライアント設定の反映を完了します。



シンククライアントのステータスアイコンの詳細は、本書の「第3章 4.3 ステータスアイコン」を参照してください。

23. シンククライアントに壁紙が反映されていることを確認します。



第5章 注意／制限事項

この章は、ADM の注意／制限事項を示します。

1. 注意事項

本節は、ADM を使用する上で役に立つ、注意すべきポイントについて解説します。

1.1 ADM と ACS とのプロファイルの同期について

管理者が ADM からリモート操作ではなく、シンククライアント上で ACS プロファイルを変更した場合、ADM と ACS 間でプロファイル内容が不一致になります。ADM は ACS との通信時に自動的に設定を更新しません。ADM から「設定の取得(クライアントからサーバー)」を実行することで、ACS でプロファイルを変更したシンククライアントに対して、プロファイルを同期できます。詳細な手順は、本書の「第 3 章 4.10 プロファイルの取得」を参照してください。

1.2 ADM の管理登録と解除について

US310e では、ADM に管理登録されると管理ステータスが有効になり他の ADM から管理登録できない状態になります。これは悪意ある ADM からアクセスできないようにするためのセキュリティ上の仕様です。US320f と US120f では、ADM に管理登録したシンククライアントを別の ADM から管理登録することが可能です。別の ADM から管理登録されると、先に管理登録していた ADM からシンククライアントを制御できなくなります。別の ADM からの管理登録を制限するには、パスワードの保護設定を有効にしてください。詳細は「第 3 章 2.11 管理端末でのパスワード保護の設定」を参照してください。また、シンククライアントが ADM の管理対象として登録されていない場合、意図しない悪意ある ADM から検出され、設定を変更される可能性があります。そのため、本番環境のシンククライアントは必ず ADM の管理対象として登録された状態 (ADM から検出された状態) にしてください。

管理登録を解除するには、管理登録済みの ADM からシンククライアントを「削除」するか、シンククライアント上で「Reset Mode」を実行します。「Reset Mode」については各シンククライアントのユーザーズガイドを参照してください。また US120f では、「Disconnect from ADM」を実行することで、ACS の設定を初期化することなく ADM の管理登録のみを解除することができます。「Disconnect from ADM」については、US120f のユーザーズガイドを参照してください。



- ・ キット環境などの閉じられた環境の ADM (キッティング用) を使用し、クライアント設定 (ACS) を完了させてから本番環境の ADM (本番用) へ移行する場合には注意が必要です。この場合、必ずキッティング環境の ADM から管理登録を解除してから本番環境のネットワークに接続してください。管理登録を解除していない US310e は、本番環境の ADM に管理登録できません。また「Reset Mode」を使用すると管理登録だけでなく、すべてのシンククライアント設定が初期化されます。
- ・ 本番環境の ADM にシンククライアントを登録してから、「設定の取得(クライアントからサーバーへ)」を実行します。これにより、シンククライアントの ACS 設定が ADM に同期されます。「設定の反映(サーバーからクライアントへ)」を実行すると、シンククライアントの ACS 設定が、ADM のプロファイル設定で上書きされることに注意してください。
- ・ US320f または US120f を使用する場合は、「パスワード保護されたデバイスを含むスキャン」の方法で、キッティング環境の ADM から管理登録を解除することなく、本番環境の ADM に US320f / US120f を登録することができます。



- ・ シンククライアントがオフラインの状態、ADM 上からシンククライアントを「削除」しても ACS の管理登録は解除されません。その場合は、シンククライアント上で「Reset Mode」を実行する必要があります。US120f では、「Disconnect from ADM」を実行することで、ACS の設定を初期化することなく ADM の管理登録のみを解除することができます。「Disconnect from ADM」については、US120f のユーザーズガイドを参照してください。
- ・ シンククライアント上で「Reset Mode」を実行しても、ADM 側の登録情報は更新されません。管理者は ADM 側で登録解除したシンククライアントを「削除」する必要があります。

1.3 スナップショットについて

スナップショットを使用すると、組織内で再使用できるカスタマイズされた OS イメージを取得／インストールすることができます。ここではスナップショットの取得とインストールする際の注意事項を示します。



- ・ ADM のスナップショット機能は、Windows OS 搭載シンククライアント (US320f、US310e) のみ利用できます。US120f は利用できません。
- ・ 無線 LAN の場合、スナップショットの取得とインストール機能は利用できません。

1.3.1 システム準備ツール (sysprep) による端末固有情報の初期化について

スナップショットのインストールでは、システム準備ツール (sysprep) が実行されます。システム準備ツールが実行されると、SID、IP アドレス情報、ライセンス認証 (アクティベーション) などの端末固有の情報が初期化されるため、マスターイメージとして複数の端末に展開が可能になります。

シンククライアントのローカルビルトイン Administrator アカウントは再作成されます。Windows プロファイル (ファイル、ショートカット、フォルダーなどのデスクトップのアイテム、マイドキュメント、お気に入り等) はすべて初期化されます。

一方、標準 User アカウントを含む他のローカルユーザーアカウントは、一部例外を除いてスナップショット取得前に変更した Windows プロファイルを保持します。一部例外とは、入力言語、表示言語、形式、場所、ユーザーロケール、システムロケールなどの地域と言語設定、およびタイムゾーンの設定です。これらの設定は、スナップショットインストール後は初期化されます。

これらの設定をスナップショットインストール後も保持したい場合は、Windows セットアップ応答ファイル (C:\¥Windows¥Panther¥unattend.xml) を編集する必要があります。unattend.xml は、Windows セットアップ用の応答ファイルです。

以下は unattend.xml を編集し、スナップショットインストール後も地域と言語およびタイムゾーンの変更を保持するための手順です。

1. 管理者 (Administrator) アカウントでシンククライアントにサインインし、UWF を無効にします。
2. シンククライアントを再起動します。
3. 標準ユーザー (User) アカウントでサインインします。
4. 入力言語、表示言語、形式、場所、ユーザーロケール、システムロケールなどの地域と言語設定、およびタイムゾーンをシンククライアントに設定します。表示言語の設定が必要な場合は、言語パックをインストールしてください (インターネット環境が必要)。設定によってはサインアウト、再起動が必要になります。設定完了後にすべての設定が正常に反映されていることを確認してください。
5. 管理者 (Administrator) アカウントでサインインします。
6. 応答ファイル (C:\¥Windows¥Panther¥unattend.xml) をメモ帳で開き、下記要素の値を編集します。下記の値は日本語 OS の既定値です。使用したいタイムゾーン (たとえば、Eastern Standard Time、Romance Standard Time) と言語コードを指定します。言語は ISO-639 言語コードであり、使用される地域は (たとえば、en-US、fr-FR、または es-ES) ISO 3166-1 国または地域識別子です。

```
<TimeZone>Tokyo Standard Time</TimeZone>
```

```
<InputLocale>ja-jp</InputLocale>
```

```
<SystemLocale>ja-jp</SystemLocale>
```

```
<UILanguage>ja-jp</UILanguage>
```

```
<UILanguageFallback>ja-jp</UILanguageFallback>
```

```
<UserLocale>ja-jp</UserLocale>
```

7. UWF を有効にします。
8. シンククライアントを再起動します。
9. スナップショットを取得します。

1.3.2 ドメイン参加について

ドメインに参加している Windows OS シンククライアントは、スナップショットを取得できません。スナップショットはインストール時にシステム準備 (Sysprep) ツールを実行します。Sysprep を使用すると、インストール済みの Windows イメージから、コンピューターのセキュリティ識別子 (SID) などのシステム固有の情報をすべて削除します。Sysprep ツールが実行されるのは、コンピューターがドメインのメンバーではなく、ワークグループのメンバーである場合だけです。シンククライアントがドメインに参加している場合は、ドメインから削除した後にスナップショットを取得してください。

1.3.3 スナップショットのエクスポートについて

スナップショットをエクスポートする場合には、ディスクサイズの空き容量を 40GB 以上確保してください。スナップショットイメージファイルの圧縮およびファイルコピーと、システムを安定稼働させるには十分なディスクサイズの空き容量が必要になります。

1.4 ACS プロファイルの引き継ぎについて

ファームウェアアップデートとスナップショットのインストールには、ACS プロファイルの保持に以下の違いがあることに注意してください。

ファームウェアアップデート：ファームウェア配信先の ACS プロファイルを引き継ぎます。

スナップショットインストール：スナップショットを取得したシンククライアントの ACS プロファイルを引き継ぎます。

1.5 ライセンス認証(アクティベーション)の解除について

工場出荷時の Windows OS シンククライアントはライセンス認証 (アクティベーション) 済みの状態です。ファームの更新またはスナップショットインストールした場合は、ライセンス認証 (アクティベーション) が解除されます。オンラインまたは電話サポートなどの方法で、再度ライセンス認証 (アクティベーション) する必要があります。

アクティベーションの方法についてはシンククライアントのユーザーズガイドを参照してください。



US120f は、ファームウェアアップグレード後にライセンス認証 (アクティベーション) の必要はありません。

1.6 ADM 管理コンソールへのアクセスについて

ADM は、Apache HTTP Server 上で動作する Web ベースのアプリケーションです。そのサイトへは prism を使用してアクセスします。prism は Web アプリケーションをローカルアプリケーションのように使用でき、さらにブラウザのクラッシュや再起動から隔離してくれます。ADM サーバーのデスクトップに作成される prism ショートカット (ADM ショートカット) から ADM 管理コンソールを簡単に起動できます。

ADM サイトは HTTPS で構成されており、そのサイトへ任意の Web ブラウザからアクセスした場合、トップページ (ログイン画面) へはアクセスできますが、アクセス制限されているため ADM 管理コンソールにログインできません。任意の Web ブラウザから ADM 管理コンソールへのアクセスはサポートされません。

1.7 VNC(リモートシャドウ)について

VNC (リモートシャドウ) は便利である反面、セキュリティへの配慮が必要です。リモートシャドウを有効にすると、パスワードさえ知っていれば、ADM からの接続だけでなく、他の VNC クライアントソフトウェアから接続が可能です。

そのため、ファイアーウォールの内側だけで使用する、また必要のない時は VNC を無効化するなどのセキュリティ対策が必要です。

また、ADM からリモートシャドウする場合、セッション上でキーボードの漢字キーを使用して日本語入力モードに切り替えることはできません。日本語入力モードに切り替えるには、タスクトレイの IME メニューをマウスクリックする等で、入力モードを切り替えてください。

1.8 ADM のバックアップと復元について

ADM サーバーが何らかのトラブルにより故障し、新しく ADM サーバーを設置しなければならない場合、ADM を復元するには下記のバックアップファイルが必要です。

- データベースアーカイブファイル
- ファームウェアファイル
- スナップショットファイル
- パッケージファイル

ファームウェアファイルおよびパッケージファイルは、ADM にインポートする前に、ファイルを別のコンピューターに保存するなどの方法で保管してください。データベースアーカイブファイルとスナップショットファイルは、取得したタイミングで ADM からエクスポートし、ファームウェアファイルおよびパッケージファイルと同様に別のコンピューターに保管してください。

エクスポートの方法については本書の下記項を参照してください。

- 「第3章 2.5.1 スナップショットのエクスポート」
- 「第3章 2.14 管理データベースのバックアップ」
- 「第3章 2.15.1 データベースアーカイブファイルのダウンロード」

新しい ADM に退避したファイルをインポートして復元します。新しい ADM サーバーのコンピューター名、IP アドレスは、旧 ADM サーバーと同一である必要はありません。

各ファイルの復元(インポート)方法については本書の下記項を参照してください。

- 「第3章 2.3.1 ファームウェアファイルのインポート」
- 「第3章 2.4.1 WES パッケージファイルのインポート」
- 「第3章 2.5.2 スナップショットファイルのインポート」
- 「第3章 2.15.4 データベースアーカイブファイルの復元」

1.9 配置サーバーへのファイルインポートについて

ADM の配置サーバーへファームウェア／スナップショット／WES パッケージ等の各種ファイルをインポートする際、Windows 共有ファイルまたは共有フォルダーからネットワーク経由でインポートすることはできません。

1.10 外部データベースの利用について

ADM のデータベースソース設定で外部データベースを指定する場合、既存の ADM のデータベースを指定することはできません。複数の ADM が 1 つのデータベースを参照することはできません。

1.111 その他の注意事項

VMware ESXi の仮想マシン上に ADM サーバーを構築し、ADM から US310e / US320f にファームウェアの更新またはスナップショットのインストールを行うと、ネットワークの遅延が発生してイメージファイルのダウンロードに失敗する場合があります。この場合、VMware ESXi の仮想 NIC のフロー制御を無効に設定することで改善する可能性があります。

VMware ESXi の仮想 NIC のフロー制御を無効に設定する方法については、以下のナレッジを参照してください。

VMware ESXi および VMware ESX 上のフロー制御を構成する
<http://kb.vmware.com/kb/2079125>

2. 制限事項

本節は、ADM を使用する上での制限事項について解説します。

2.1 ADM の制限事項

1. ADM のデータベースをアーカイブして、異なるコンピュータにインストールした ADM で復元すると「設定の取得(クライアントからサーバへ)」、「設定の反映(サーバからクライアントへ)」機能が正常に動作しません。
2. シンククライアントグループの削除で、シンククライアントグループにシンククライアントが 1 件も登録されていない状態でも以下のメッセージが表示されます。
【メッセージ内容】
'<シンククライアントグループ名>'にはアイテムが含まれています。
全てを Ungrouped'に移動するか、全てを削除するか選択してください？
3. グループプロファイルの削除で、グループプロファイルにシンククライアントが 1 件も登録されていない状態でも以下のメッセージが表示されます。
【メッセージ内容】
'<プロファイルグループ名>'にはアイテムが含まれています。
全てを Ungrouped'に移動するか、全てを削除するか選択してください？
4. アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のみの制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名には適用されません。
5. ADM が管理するシンククライアントに US320f が含まれる場合は、Atrust-Multicast サービスを停止する必要があります。Atrust-Multicast サービスを停止すると、ファームウェアの更新およびスナップショットの取得/インストールにはユニキャストが使用され、マルチキャストは使用できません。詳細な手順は、本書の「第 2 章 2 Atrust - Multicast サービスの停止」を参照してください。

2.2 US320f の制限事項

1. ADM からファームウェアの更新またはスナップショットインストール中に、電源断、ネットワーク切断などの理由でイメージの配信が中断した場合は、OS が起動できなくなります。そのため、ADM からリモート操作によりイメージを再配信することはできません。その場合は、シンククライアント起動時に「Esc」キーを押し、「NEC Thin Client Menu」を起動します。メニューから「Firmware Update」を選択して、シンククライアントから ADM サーバーの IP アドレスを指定することでシンククライアントを復元することができます。ADM サーバーのアドレスには DNS 名は使用できません。また、MBR (Master Boot Record) のセクターが破損し、「NEC Thin Client Menu」が起動しない場合は、Atrust Recovery USB Disk Creator を使用してデバイスイメージを復元することも可能です。詳細は、それぞれの機種のユーザーズガイドを参照してください。



ADM 既定のサーバーパスには、ADM サーバーの IP アドレスを指定します。

2. ADM または ACS で Citrix ICA 接続ショートカットを作成時に、[接続の設定] - [ネットワークプロトコル] で SSL/TLS+HTTPS server location を設定するとセッションの接続に失敗します。
3. ADM / ACS では、Citrix ICA セッション追加/編集時のオプションの設定では、暗号化に“RC5 128 ビット (ログインのみ) ”、“RC5 40 bit”、“RC5 56bit”、“RC5 128bit” が使用可能です。
しかし、XenDesktop 7 以降に接続する Citrix ICA 接続ショートカットに暗号化を設定する場合、“RC5 128bit” を使用してください。“RC5 128 ビット (ログインのみ) ”、“RC5 40 bit”、“RC5 56bit” は使用しないでください。これは XenDesktop の仕様です。
4. ADM / ACS での Citrix ICA 接続ショートカットの追加/編集時のオプション設定で、[Window サイズ] に [デフォルト] 以外を設定した場合、Citrix ICA セッションに DesktopViewer ツールバー が表示されません。DesktopViewer ツールバーを表示するには、[Window サイズ] に [デフォルト] を設定するか、Citrix Receiver を使用して Citrix ICA セッションへ接続してください。

- アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のための制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名には適用されません。
- ADM が管理するシンククライアントに US320f が含まれる場合は、Atrust-Multicast サービスを停止する必要があります。Atrust-Multicast サービスを停止すると、ファームウェア更新およびスナップショットの取得/インストールにはユニキャストが使用され、マルチキャストは使用できません。手順の詳細は、本書の「第 2 章 2 Atrust - Multicast サービスの停止」を参照してください。

2.3 US310e の制限事項

- ADM からファームウェアの更新またはスナップショットインストール中に、電源断、ネットワーク切断などの理由でイメージの配信が中断した場合は、OS が起動できなくなります。そのため ADM からリモート操作によりイメージを再配信することはできません。その場合は、シンククライアント起動時に「Esc」キーを押し、「NEC Thin Client Menu」を起動します。メニューから「Firmware Update」を選択して、シンククライアントから ADM サーバーの IP アドレスを指定することでファームウェアを復元することができます。ADM サーバーのアドレスには DNS 名は使用できません。また、MBR (Master Boot Record) のセクターが破損し、「NEC Thin Client Menu」が起動しない場合は、Atrust Recovery USB Disk Creator を使用してシンククライアントを復元することも可能です。詳細についてはそれぞれの機種のユーザーズガイドを参照してください。



ADM 既定のサーバーパスには ADM サーバーの IP アドレスを指定します。

- ADM / ACS で Citrix ICA 接続ショートカットを作成時に、[接続の設定] - [ネットワークプロトコル] で SSL/TLS+HTTPS server location を設定するとセッションの接続に失敗します。
- ADM / ACS では、Citrix ICA セッション追加/編集時のオプションの設定では、暗号化に「RC5 128 ビット (ログインのみ)」、「RC5 40 bit」、「RC5 56bit」、「RC5 128bit」が使用可能です。しかし、XenDesktop 7 以降に接続する Citrix ICA 接続ショートカットに暗号化を設定する場合、「RC5 128bit」を使用してください。「RC5 128 ビット (ログインのみ)」、「RC5 40 bit」、「RC5 56bit」は使用しないでください。これは XenDesktop の仕様です。
- ADM / ACS での Citrix ICA 接続ショートカットの追加/編集時のオプション設定で、[Window サイズ] に [デフォルト] 以外を設定した場合、Citrix ICA セッションに DesktopViewer ツールバー が表示されません。DesktopViewer ツールバーを表示するには、[Window サイズ] に [デフォルト] を設定するか、Citrix Receiver を使用して Citrix ICA セッションへ接続してください。
- アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のための制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名には適用されません。

2.4 US120f の制限事項

- ADM からファームウェアの更新中に、電源断、ネットワーク切断などの理由でイメージの配信が中断した場合は、OS が起動できなくなります。そのため ADM からリモート操作によりイメージを再配信することはできません。その場合は、電源ボタンの長押しでシンククライアントを起動し、「NEC Thin Client Menu」を起動します。メニューから「Firmware Update」を選択して、シンククライアントから ADM サーバーの IP アドレスを指定することでシンククライアントを復元することができます。ADM サーバーアドレスには DNS 名は使用できません。また、USB メモリを使用してシンククライアントを復元することも可能です。詳細は、US120f のユーザーズガイドを参照してください。
- アプリケーション (リモートデスクトップ、Citrix ICA、VMware View、ウェブブラウザ) のセッション名に日本語文字 (マルチバイト文字) を使用しないでください。これは全機種共通の制限です。1 つのセッションがセッション名に日本語文字を使用することで、2 つ以上に重複表示される問題を確認しています。これはセッション名のための制限であり、公開デスクトップ名、公開アプリケーション名には適用されません。

NEC Express ワークステーション

Atrust Device Manager 2.09.001
ユーザーズガイド

2019 年 12 月 第 4 版
日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

©NEC Corporation 2019

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。